HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	唐代南方音の一様相 : 李善『文選』音注に反映せる江都字音について
Author(s)	大島, 正二
Citation	北海道大學文學部紀要, 26(1), 29-185
Issue Date	1977-12-22
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/33416
Type	bulletin (article)
File Information	26(1)_PL29-185.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

唐代南方音の一様相

——李善『文選』音注に反映せる江都字音について——

大　島　正　二

唐代南方音の一様相

——李善『文選』音注に反映せる江都字音について——

大　島　正　二

本　論

1.　はじめに
2.　資料について
3.　江都字音の様相
3.1　声類の混同例
3.2　韻類の通用例
3.3　声調の混同例（省略）
4.　総　括
5.　おわりに
資料表

1.　唐代の北方字音が『切韻』の体系をかなり簡略化した状態に在ったらしいことは，唐代秦音系韻書の反切を伝える慧琳『一切経音義』や，唐代に編まれた諸種の仏典経書についての音義類に見える音注などに拠って推測されるところであるが，同時代の南方字音が果して如何なる状態に在ったかに関しては，資料面の制約も手伝っていま尚不詳の点が少なくない。[1] しかしながら，唐代の南方字音の様相を知ることは，唐代音と総括的に呼ばれる音系の実相とその演変史の研究をより肌理細かいものとするためにも，また唐代を通じて字音の規範として在り続けたと説かれる『切韻』の本質を多角的に考察する上でも肝要と思われる。

2.　唐代南方字音研究のための資料は，しかしながら，上でも些か触れた様に極めて少なく，音韻体系を端的に反映する韻書の如きは皆無である。従って南方字音の全容を探ることは現段階では殆ど望めない。僅かに，残された極く少数の断片的音注例に拠ってその一端を窺い知る以外に方途はない。

この小論はその試みの一つとして，旧稿「史記索隠・正義音韻考」

『東洋學報』55-3，1972．に於て唐代音系の実相解明のための一資料として挙げた李善『文選』音注の整理結果に基づき，そこに反映する南方字音の特色の若干を探ろうとするものである。[2] 李善『文選』音注（以下，李善音[3]と呼ぶ）は，注者李善が揚州江都（江蘇省江都県）の人であること[4]，また李善の手に成る「上文選注表」の末尾に「顯慶三年（注：A. D. 658）九月」と記されていることから，揚子江下流に位置する江都の唐初の字音を反映すると推察される資料である[5]。従って，この音注の整理結果を同時代の北方字音の様相[6]と対比するならば，唐代南方（江都）字音の特色の一端は窺い知れ様かと思う。

3．上述の見地から李善音の一往の整理を試み[7]，そこで明らかとなった字音の状態を北方字音の状態と対比した結果，北方字音には見えない（と概略言い得る）一部声母及び韻母の混同が李善音から得られた他には，両者間に顕著な相違の見られないことが明らかとなった。

以下，李善音に見える混同の具体例を声類・韻類毎に，北方字音には見えないものと北方字音にも見えるものとに大別して示す。尚，声調の混同例は省略し資料表に譲る。

3・1　声　類

3・1・1　北方字音には見えない（と概略言い得る）混同例

3・1・1・1　《從》《邪》両母の混同[8]

蓋　徐刃《邪》／在進《從》[9]　cf. 資　ⅢA・臻・8[10]

燖　徐鹽《邪》／在鹽《從》　cf. 資　ⅢA・深・9

濜[O11]　徐刃《邪》／自吝《從》　cf. 資　ⅢA・臻・9

潭　昨鹽《從》／詳廉《邪》　cf. 資　ⅢA・咸・5

付言すれば，この両母の混同は江東（建康）地方の字音を反映する顧野王『玉篇』(A. D. 543) にも見られ，顔之推『顔氏家訓・音辞篇』でも江南の字音の特徴の一つとして指摘されている。

3・1・1・2　舌頭音・舌上音，歯頭音・歯上音の混同

3・1・1・2・1　《端》《知》両母の混同[12)]

咮　陟救《知》／都遘《端》　cf. 資　Ⅰ・流・5

琢　竹角《知》／都角《端》　cf. 資　Ⅱ・江・2

斲　竹角《知》／丁角《端》　cf. 資　Ⅱ・江・3

揕　知鴆《知》／丁鴆《端》　cf. 資　ⅢA・深・1

眈　丁含《端》／長含《知》　cf. 資　Ⅰ・咸・8

貯　丁呂《端》／知旅《知》　cf. 資　ⅢB・遇・1

鷂　丁滑《端》／陟滑《知》　cf. 資　Ⅱ・山・11

3・1・1・2・2　《透》《徹》両母の混同

超　敕宵《徹》／土弔《透》　cf. 資　Ⅳ・效・5

趠　丑教《徹》／吐教《透》　cf. 資　Ⅱ・效・1

錪　丑甚《徹》／湯錦《透》　cf. 資　ⅢA・深・2

佻　吐彫《透》／勑聊《徹》[A)]　cf. 資　Ⅳ・效・13

淟　他典《透》／勑顯《徹》　cf. 資　Ⅳ・山・10

忝　他典《透》／勑典《徹》　cf. 資　Ⅳ・山・9

湁　他計《透》／勑計《徹》　cf. 資　Ⅳ・蟹・12

孳　他孟《透》／恥孟《徹》　cf. 資　Ⅱ・梗・5

A）李善は同じ語（方言曰儊佻疾也〈巻5〉）に他弔切《透》とも音注している。

3・1・1・2・3　《定》《澄》両母の混同

擢　直角《澄》／達卓《定》　cf. 資　Ⅱ・江・4

黮　徒感《定》／直感《澄》[A)]　cf. 資　Ⅰ・咸・9

墆　特計《定》／音滯《澄》　cf. 資　ⅢA・蟹・4

／直例《澄》　cf. 資　ⅢA・蟹・3

A）李善は同じ語（黯黯黑貌〈巻11〉，黯黯雲色不明貌〈巻19〉）に徒感切《定》とも音注している。

3・1・1・2・4　《從》《崇》両母の混同

崇　徂累《從》／助軌《崇》　cf. 資　ⅢA・止・73

付言すれば，上掲の如き所謂「類隔切」の例は『玉篇』，陸徳明『経典釈文』等に多く見える。

3・1・1・3　《匣》《于》両母の混同

痏　榮美《于》／胡軌《匣》[A)]　cf. 資　ⅢA・止・77

鮪　榮美《于》／乎軌《匣》　cf. 資　ⅢA・止・78

{揘　永兵《于》／音横《匣》}[13)]　cf. 資　Ⅱ・梗・33

{横　戸孟《匣》／于孟《于》}　cf. 資　Ⅱ・梗・34

A）李善は同じ語（蒼頡篇曰痏歐傷也〈巻5〉）に爲軌切《于》とも音注している。

付言すれば，この両母の混同は『玉篇』でも見える。

3・1・1・4　《于》《羊》両母の混同

衍　于線《于》／弋戰《羊》　cf. 資　ⅢA・山・13

延　于線《于》／弋戰《羊》　cf. 資　ⅢA・山・14

羨　于線《于》／弋戰《羊》　cf. 資　ⅢA・山・15

3・1・2　北方字音にも見える混同例

3・1・2・1　全濁母と全清・次清母の混同

3・1・2・1・1　《並》《幫》両母の混同

沛　博蓋《幫去》／蒲蓋《並去》　cf. 資　Ⅰ・蟹・3

{拔　蒲撥《並入》／方割《幫入》}　cf. 資　Ⅰ・山・1

爆○　北角《幫入》／蒲角《並入》　cf. 資　Ⅱ・江・1

3・1・2・1・2　《並》《滂》両母の混同

{溯　扶冰《並平》／疋冰《滂平》}　cf. 資　ⅢA・曾・2

{泙　符兵《並平》／普彭《滂平》}　cf. 資　Ⅱ・梗・1

{苹　符兵《並平》／芳耕《滂平》}　cf. 資　Ⅱ・梗・16

{叛　薄半《並去》／音判《滂去》}　cf. 資　Ⅰ・山・17

{泊○　傍各《並入》／匹各《滂入》}　cf. 資　Ⅰ・宕・3

3・1・2・1・3　《定》《端》両母の混同

{敦　都昆《端平》／徒昆《定平》}　cf. 資　Ⅰ・臻・3

3・1・2・1・4　《定》《透》両母の混同

投　度侯《定平》／他豆《透去》　cf. 資　Ⅰ・流・6

{廷　特丁《定平》／他定《透去》}　cf. 資　Ⅳ・梗・3

鶲○　杜奚《定平》／吐雞《透平》　cf. 資　Ⅳ・蟹・5

鮐　土來《透平》／待來《定平》　cf. 資　Ⅰ・蟹・1

朓　土了《透上》／大鳥《定上》　cf. 資　Ⅳ・效・6

鞜　他合《透入》／音沓《定入》　cf. 資　Ⅰ・咸・5

{汰○　他蓋《透去》／徒蓋《定去》}　cf. 資　Ⅰ・蟹・4

3・1・2・1・5　《従》《精》両母の混同

琗[A)]　子對《精去》／字憒《従去》[B)]　cf. 資　Ⅰ・蟹・18

霽　子計《精去》／才計《従上》　cf. 資　Ⅳ・蟹・14

／音薺《従上》　cf. 資　Ⅳ・蟹・13

{呰　將此《精上》／疾移《従平》}　cf. 資　ⅢA・止・13

A）『広韻』は「綷」に作る。

B）李善は同じ語（綷以藻詠〈巻6〉）に子對切《精》，（丹臆蘭綷〈巻9〉）に音最《精・泰合》とも音注している。

3・1・2・1・6　《従》《清》両母の混同

鰌　自秋《從平》／且由《清平》　cf. 資　ⅢB・流・4

戕　在良《從平》／七良《清平》　cf. 資　ⅢB・宕・3

{萃　秦醉《從去》／音翠《清去》}　cf. 資　ⅢA・止・70

{緁　七接《清入》／音捷《從入》}　cf. 資　ⅢA・咸・3

3・1・2・1・7　《羣》《見》両母の混同

忌　渠記《羣去》／音㠯《見去》　cf. 資　ⅢA・止・46

懼　其遇《羣去》／居具《見去》　cf. 資　ⅢB・遇・23

{偈　渠列《羣入》／居竭《見入》}　cf. 資　ⅢA・山・16

揵　居偃《見上》／巨偃《羣上》　cf. 資　ⅢB・山・2

蟜　居夭《見上》／其夭《羣上》[A)]　cf. 資　ⅢA・效・16

／巨表《羣上》[A)]　cf. 資　ⅢA・效・17

璣　居依《見平》／音祈《羣平》　cf. 資　ⅢB・止・2

{兢　居陵《見平》／鉅陵《羣平》}　cf. 資　ⅢA・曾・5

A）本例に於ける「蟜」の義は投影の対象とする『広韻』に見える義注と異なるが，李善は同じ語（夭蟜頻申也〈巻8〉）に音矯《見》とも音注している。

3・1・2・1・8　《晓》《匣》両母の混同

閾　況逼《晓入》／胡洫《匣入》　cf. 資　ⅢA・曾・6

硡[A)]　戸萌《匣平》／火宏《晓平》　cf. 資　Ⅱ・梗・36

蠵[B)]　戸圭《匣平》／呼圭《晓平》　cf. 資　Ⅳ・蟹・17

穴　胡決《匣入》／音血《晓入》　cf. 資　Ⅳ・山・15

A）『広韻』は「硡」に作る。

B）『広韻』は「蠵」に作る。

3・1・2・1・9　《澄》《知》両母の混同

謫　陟革《知入》／丈厄《澄入》　cf. 資　Ⅱ・梗・26

阺　直尼《澄平》／丁兮《知平》　cf. 資　Ⅳ・蟹・3

3・1・2・1・10　《崇》《莊》両母の混同

齰　鋤陌《崇入》／詐白《莊入》　cf. 資　Ⅱ・梗・7

咋　鋤陌《崇入》／阻格《莊入》　cf. 資　Ⅱ・梗・6

鑿　莊華《莊平》／士瓜《崇平》　cf. 資　Ⅱ・假・10

3・1・2・1・11　《崇》《初》両母の混同

錚　楚耕《初平》／士度《崇平》　cf. 資　Ⅱ・梗・8

籍　士角《崇入》／楚角《初入》　cf. 資　Ⅱ・江・8

3・1・2・2　全清母と次清母の混同

3・1・2・2・1　《非》《敷》両母の混同[14)]

裶　芳非《敷》／音非《非》　cf. 資　ⅢB・止・6

3・1・2・3　舌頭音と舌上音の混同

3・1・2・3・1　《泥》《娘》両母の混同

橈　奴教《泥》／女教《娘》　cf. 資　Ⅱ・效・3

拏　女加《娘》／奴加《泥》　cf. 資　Ⅱ・假・2

拏　女加《娘》／奴家《泥》　cf. 資　Ⅱ・假・3

譊　女交《娘》／奴交《泥》　cf. 資　Ⅱ・效・2

{柅　女履《娘》／乃禮《泥》}　cf. 資　Ⅳ・蟹・7

3・2　韻　類

3・2・1　北方字音には見えない通用例[15)]

3・2・1・1　『切韻』に於ける一等韻と三等韻の通用

3・2・1・1・1　《東一・入》《鍾入》両韻の通用

睩　盧谷《東入》／音録《鍾入》　cf. 資　ⅢB・通・6

3・2・1・1・2　《侯》《尤》両韻の通用（但し，《明》母字以外）

篦　初救《尤去》／初遘《侯去》　cf. 資　Ⅰ・流・9

咮　陟救《尤去》／都遘《侯去》[A)]　cf. 資　Ⅰ・流・5

{阪　側鳩《尤》／側溝《侯》}　cf. 資　Ⅰ・流・8

A）李善は同じ語（郭璞爾雅注曰咮鳥口也〈巻18〉）に音晝《尤去》とも音注している。

3・2・1・1・3　《侯》《虞》両韻の通用

鵡　文甫《虞上》／莫口《侯上》　cf. 資　Ⅰ・流・3

{嘔　烏后《侯上》／紆武《虞上》}　cf. 資　ⅢB・遇・29

3・2・2　北方字音にも見える通用例

3・2・2・1　『切韻』に於ける一等重韻の通用

3・2・2・1・1　《覃》《談》両韻の通用

黕　都感《覃上》／丁敢《談上》　cf. 資　Ⅰ・咸・21

慘　七感《覃上》／七敢《談上》[A)]　cf. 資　Ⅰ・咸・23

嗒　吐盍《談入》／土合《覃入》　cf. 資　Ⅰ・咸・1

鰈　吐盍《談入》／他合《覃入》　cf. 資　Ⅰ・咸・2

{𦍒[B)]　徒盍《談入》／徒合《覃入》}　cf. 資　Ⅰ・咸・4

A）李善は同じ語（慘怛憂勞也〈巻13〉）に錯感切《覃上》とも音注している。

B）『広韻』は「𦍒」に作る。

3・2・2・1・2　《泰》《灰去》両韻の通用

繪　黄外《泰合》／胡對《灰去》　cf. 資　Ⅰ・蟹・24

／胡憒《灰去》　cf. 資　Ⅰ・蟹・25

沬　莫貝《泰中》／音妹《灰去》[A)]　cf. 資　Ⅰ・蟹・8

／音昧《灰去》[B)]　cf. 資　Ⅰ・蟹・9

綷　子對《灰去》／音最《泰合》[C)]　cf. 資　Ⅰ・蟹・29

A）李善は同じ語（説文曰沬水…〈巻12〉）に武蓋切《泰中》とも音注している。

B）本例に於ける「沬」の義は『広韻』に見える義注と異なるが，

李善は同じ語（廣雅曰沬舒也〈巻31〉）に亡貝切《泰中》とも音注しているので両韻通用の例として挙げる。

C）李善は同じ語（小雅曰雜采曰綷〈巻12〉）に字憒切《從・灰去》とも音注している。

3・2・2・1・3 《咍》《灰》両韻の通用（但し，脣音字を除く）

{[A)]黥 徒耐《咍去》／徒對《灰去》} cf. 資 Ⅰ・蟹・10

磑 五灰《灰》／牛哀《咍》 cf. 資 Ⅰ・蟹・2

A）『広韻』は「黥」に作る。

3・2・2・1・4 《寒入》《桓入》両韻の通用

○聒 古活《桓入》／公達《寒入》 cf. 資 Ⅰ・山・13

3・2・2・2 『切韻』に於ける二等重韻の通用

3・2・2・2・1 《夬》《皆去》両韻の通用

侏 莫話《夬中》／莫芥《皆中去》 cf. 資 Ⅱ・蟹・6

喝 於犗《夬開》／一介《皆開去》 cf. 資 Ⅱ・蟹・10

{蠆 丑犗《夬開》／丑介《皆開去》} cf. 資 Ⅱ・蟹・7

3・2・2・2・2 《庚》《耕》両韻の通用

磅 撫庚《庚中》／普萌《耕中》 cf. 資 Ⅱ・梗・14

／怖萌《耕中》 cf. 資 Ⅱ・梗・15

／芳宏《耕中》 cf. 資 Ⅱ・梗・18

{恲 撫庚《庚中》／普耕《耕中》} cf. 資 Ⅱ・梗・13

{硎 客庚《庚開》／口耕《耕開》} cf. 資 Ⅱ・梗・29

鐄 戸盲《庚合》／音宏《耕合》 cf. 資 Ⅱ・梗・38

謦 虎横《庚合》／呼宏《耕合》 cf. 資 Ⅱ・梗・35

／火宏《耕合》 cf. 資 Ⅱ・梗・37

錚 楚耕《耕開》／士庚《庚開》 cf. 資 Ⅱ・梗・8

{倖 胡耿《耕開上》／胡冷《庚開上》} cf. 資 Ⅱ・梗・32

3・2・2・2・3 《咸》《銜》両韻の通用

攙　士咸《咸》／士銜《銜》　cf. 資　Ⅱ・咸・8

厭　苦咸《咸》／去巖《銜》　cf. 資　Ⅱ・咸・12

揷　楚洽《咸入》／楚甲《銜入》　cf. 資　Ⅱ・咸・7

嶄　鋤銜《銜》／士咸《咸》　cf. 資　Ⅱ・咸・3

檻　胡黯《銜上》／胡黯《咸上》　cf. 資　Ⅱ・咸・5

3・2・2・3 『切韻』に於ける一等韻と三等韻の通用

3・2・2・3・1 《侯》《尤》両韻の通用（但し，《明》母字）

侔　莫浮《尤》／莫侯《侯》　cf. 資　Ⅰ・流・4

棓　縛謀《尤》／蒲溝《侯》　cf. 資　Ⅰ・流・1

蝥　莫浮《尤》／莫侯《侯》　cf. 資　Ⅰ・流・2

袤　莫候《侯去》／莫又《尤去》　cf. 資　ⅢB・流・1

3・2・2・3・2 《唐入》《陽入》両韻の通用

蠖　鳥郭《唐合入》／於縛《陽合入》　cf. 資　ⅢB・宕・14

3・2・2・4 止摂諸韻の通用

3・2・2・4・1 《支》《脂》両韻の通用

昏[A)]　是支《支開・甲》／昌夷《脂開・甲》　cf. 資　ⅢA・止・40

鷙　呂支《支開・中》／音利《脂開去・中》　cf. 資　ⅢA・止・33

仳　匹婢《支開上・甲》／匹視《脂開上・甲》　cf. 資　ⅢA・止・30

庳　音婢《支開上・甲》／貧美《脂開上・乙》　cf. 資　ⅢA・止・31

易　以豉《支開去・甲》／弋示《脂開去・甲》　cf. 資　ⅢA・止・43

{寫　章委《支合上・乙》／于軌《脂合上・乙》}　cf. 資　ⅢA・止・79

胝　丁尼《脂開・中》／竹施《支開・甲》[B)]　cf. 資　ⅢA・止・11

槌　房脂《脂開・甲》／頻移《支開・甲》[C)]　cf. 資　ⅢA・止・4

纍　力追《脂合・中》／力委《支合・中》　cf. 資　ⅢA・止・56

郙　豎軌《脂合上・乙》／音跪《支合上・乙》　cf. 資　ⅢA・止・65

墻　以水《脂合上・甲》／以委《支合・乙》　cf. 資　ⅢA・止・62

A）『広韻』は「眡」に作る。

B）李善は同じ語（重繭累胝也〈巻14〉〈巻40〉）に竹遲切《脂開・甲》，竹尼切《脂開・甲》とも音注している。

C）李善は同じ語（聲類曰檐屋連緜也〈巻2〉）に婢祇切《脂開・甲》とも音注している。

3・2・2・4・2 《支》《之》両韻の通用

{戲　許羈《支開・乙》／許其《之乙》}　cf. 資　ⅢA・止・54

3・2・2・4・3 《脂》《之》両韻の通用

台　與之《之甲》／音夷《脂開・甲》　cf. 資　ⅢA・止・42

鬻　語其《之乙》／魚飢《脂開・乙》　cf. 資　ⅢA・止・47

梓　卽里《之上・甲》／音姊《脂開上・甲》　cf. 資　ⅢA・止・38

忌　渠記《之去・乙》／音奠《脂開去・乙》　cf. 資　ⅢA・止・46

{滂　里之《之中》／音梨《脂開・中》}　cf. 資　ⅢA・止・34

{耗　仍吏《之去・中》／耳利《脂開去・中》}　cf. 資　ⅢA・止・35

3・2・2・4・4 《支》《微》両韻の通用

蟣　居稀《微開上》／居綺《支開上・乙》　cf. 資　ⅢA・止・22

{倚　於義《支開去・乙》／音衣《微開去》}　cf. 資　ⅢB・止・4

3・2・2・4・5 《脂》《微》両韻の通用

墜　直類《脂合去・中》／直魏《微合去》　cf. 資　ⅢB・止・8

蓄　力軌《脂合上・中》／力鬼《微合上》　cf. 資　ⅢB・止・7

晞　許既《微開去》／許奠《脂開去・乙》　cf. 資　ⅢA・止・48

巍　語韋《微合》／五軌《脂合上・乙》　cf. 資　ⅢA・止・76

3・2・2・4・6 《之》《微》両韻の通用

{乭　於記《之去・乙》／於既《微開去》}　cf. 資　ⅢB・止・5

{斬　渠之《之乙》／巨衣《微開》}　cf. 資　ⅢB・止・1

3・2・2・5 止摂諸韻以外の三等韻の通用

3・2・2・5・1 《清入》《庚三・入》両韻の通用

蹢　直炙《清入》／馳戟《庚三・入》　cf. 資　ⅢA・梗・13

3・2・2・5・2　《真》《欣》両韻の通用

{隱　於靳《欣去》／於瑾《真開去・乙》}　cf. 資　ⅢA・臻・19

{闇　語巾《真開・乙》／魚斤《欣開》}　cf. 資　ⅢB・臻・1

3・2・2・5・3　《幽》《尤》両韻の通用

艛　力求《尤中》／力幽《幽》　cf. 資　ⅢA・流・1

狖　余救《尤去・甲》／余幼《幽去》[A)]　cf. 資　ⅢA・流・4

鷚　力救《尤去・中》／力幼《幽去》　cf. 資　ⅢA・流・3

觩　渠幽《幽》／音求《尤乙》　cf. 資　ⅢB・流・6

A）李善は同じ語（蒼頡篇曰狖似狸〈巻1〉）に與救切《尤去》，（廣雅曰狖蜼也…〈巻9〉）に弋又切《尤去》，（蝯狖羣嘯兮…〈巻33〉）に余救切《尤去》とも音注している。

3・2・2・5・4　《脂》《祭》両韻の通用

槻[A)]　餘制《祭開・乙》／楊至《脂開去・甲》[B)]　cf. 資　ⅢA・止・45

篲　祥歳《祭合・甲》／音遂《脂合去・甲》　cf. 資　ⅢA・止・72

鱖　居衞《祭合・乙》／居遠《脂合去・乙》　cf. 資　ⅢA・止・74

A）『広韻』は「枻」に作る。

B）李善は同じ語（郭璞曰槻船舷樹旌於上〈巻7〉）に音曳《祭開・乙》とも音注している。

3・2・2・5・5　《塩》《厳》両韻の通用

鉗　巨淹《塩乙》／其嚴《厳》　cf. 資　ⅢB・咸・2

拚　衣儉《塩上・乙》／於儼《厳上》　cf. 資　ⅢB・咸・4

葉　與葉《塩入・甲》／於劫《厳入》　cf. 資　ⅢB・咸・5

曄　筠輒《塩入・乙》／于怯《厳入》　cf. 資　ⅢB・咸・6

3・2・2・5・6　《仙》《元》両韻の通用

變　力兖《仙合上・中》／力婉《元合上》　cf. 資　ⅢB・山・6

揵　渠焉《仙開・乙》／巨言《元開》　cf. 資　ⅢB・山・1

3・2・2・6 『切韻』に於ける三等韻と四等韻の通用

3・2・2・6・1 《支》《齊》両韻の通用

髀　傍禮《齊開上》／裨爾《支開上・中》[A)]　cf. 資　ⅢA・止・3

○藥　如累《支合上・中》／而體[B)]《齊開》　cf. 資　Ⅳ・蟹・11

A）李善は同じ語（兩髀爲脅〈巻26〉）に歩米切《齊開上》とも音注している。

B）胡克家『文選考異』には「體當作髓」と見える。

3・2・2・6・2 《脂》《齊》両韻の通用

阺　直尼《脂開・甲》／丁兮《齊開》　cf. 資　Ⅳ・蟹・3

{○柅　女履《脂開上・中》／乃禮《齊開上》}　cf. 資　Ⅳ・蟹・7

3・2・2・6・3 《祭》《齊去》両韻の通用

瞻　七計《齊開去》／千例《祭開・中》　cf. 資　ⅢA・蟹・5

／七祭《祭開・甲》　cf. 資　ⅢA・蟹・6

墆　特計《齊開去》／音滯《祭開・中》　cf. 資　ⅢA・蟹・4

／○直例《祭開・中》　cf. 資　ⅢA・蟹・3

3・2・2・6・3 《仙》《先》両韻の通用

悁　於緣《仙合・甲》／烏玄《先合》　cf. 資　Ⅳ・山・16

／於玄《先合》　cf. 資　Ⅳ・山・17

迾　良嶘《仙開入・中》／旅結《先開入》　cf. 資　Ⅳ・山・8

淺　則前《先開》／音俴《仙開上・甲》　cf. 資　ⅢA・山・8

齞　研峴《先開上》／牛善《仙開上・甲》　cf. 資　ⅢA・山・19

擎　普蔑《先開入》／疋設《仙開入・甲》　cf. 資　ⅢA・山・2

撇[A)]　普蔑《先開入》／匹列《仙開入・中》　cf. 資　ⅢA・山・3

眩　黃練《先合去》／戶徧《仙中去・甲》　cf. 資　ⅢA・山・20

A）『広韻』は「擎」に作る。

3・2・2・6・4 《宵》《蕭》両韻の通用

嶕　昨焦《宵甲》／茲堯《蕭》　cf. 資　Ⅳ・效・15

熛　甫遙《宵甲》／俾堯《蕭》[A)]　cf. 資　Ⅳ・效・1

髟　甫遙《宵甲》／方料《蕭》　cf. 資　Ⅳ・效・2

超　敕宵《宵中》／土[B)]弔《蕭去》　cf. 資　Ⅳ・效・5

要　於霄《宵甲》／烏堯《蕭》　cf. 資　Ⅳ・效・17

{鷅　撫招《宵甲》／孚堯《蕭》}　cf. 資　Ⅳ・效・3

{漅　子小《宵上・甲》／祖了《蕭上》}　cf. 資　Ⅳ・效・14

么　於堯《蕭》／於遙《宵甲》　cf. 資　A・效・20

獠　落蕭《蕭》／力笑《宵去・甲》　cf. 資　A・效・8

瞭　盧鳥《蕭上》／力小《宵上・甲》　cf. 資　A・效・9

A）李善は同じ語（説文曰熛火飛也〈巻7〉に必遙切《宵甲》とも音注している。

B）胡刻本は「士」に，尤本は「土」に作る。

3・2・2・6・5　《清》《青》両韻の通用

兢　普丁《青開》／普楹《清開》　cf. 資　ⅢA・梗・4

礔[A)]　普擊《青開入》／敷赤《清開入》　cf. 資　ⅢA・梗・5

磧　七迹《清開入》／且歴《青開入》　cf. 資　Ⅳ・梗・7

A）『広韻』は「霹」に作る。

3・2・2・6・6　《塩》《添》両韻の通用

焱　以贍《塩去・甲》／塩念《添去》[A)]　cf. 資　Ⅳ・咸・5

厭　於葉《塩入・甲》／於頰《添入》[B)]　cf. 資　Ⅳ・咸・8

壓　於葉《塩入・甲》／烏牒《添入》　cf. 資　Ⅳ・咸・9

A）李善は同じ語（説文曰焱火華也〈巻1〉）に弋斂切《塩去・甲》とも音注している。

B）李善は同じ語（何休公羊傳注曰厭服也〈巻9〉）に一涉切《塩入・甲》とも音注している。

3・2・2・7　一部牙喉音字の開合の混同

烱[A)]　古迥《青合上》／公冷《青開上》　cf. 資　Ⅳ・梗・9

殺　呼臭《青合入》／呼狄《青開入》　cf. 資　Ⅳ・梗・10

跬　丘弭《支開上》／空藥《支合上》　cf. 資　ⅢA・止・63

A）『広韻』は「炯」に作る。

4.　以上が李善音に反映せる唐初江都字音の状態の一端であるが，ここで得られた混同例に拠って見る限り，一部声母の混同（3・1・1）及び一部韻母の混同（3・2・1）を除き，ほぼ同時代の北方字音の在り方と同様の様相を示すと言えよう。[16] 換言するならば，上掲の一部声母及び韻母の混同のみが李善音固有の特徴と言えそうである。

では，上述の如き状況は何を物語るものと解されようか。それは，例えば，(1)『切韻』に示される様な字音が当初江都に於ても標準音として存在したが，次第にその地の語音[17]によって侵蝕を蒙った結果としての様相なのか，或は，(2)『切韻』の体系を簡略化した状態に在った北方字音が江都にも及んでいた結果としての様相であって，北方字音では区別されていた幾つかの声母及び韻母の混同は，江都語音の露呈なのであろうか。

この様な問題を本格的に論ずるためには，幾つかの前提的作業が尚残されているので臆断は慎しむべきであるが，現段階での一往の推測が許されるならば，(2) の様に解するのが穏当と思われる。それは，(1) の如き解釈を採るには，北方及び江都に於ける語音の体系が一部声母と韻母を除き極似していたことが先ず前提となろうが，初唐に於ける両所の語音の状態に関しては不詳であってこの様に解する積極的根拠が得られないのに対し，(2) の解釈は，士大夫階級の手に委ねられた字音の言わば上部構造的な性格を考えるならば左程的外れとも思えないからである。とすれば，李善音の反映する様相はまた字音の地域的単一性とも呼び得る特徴を示すと解されるのではあるまいか。[18]

5.　以上，『切韻』成書後約60年を経て撰進された李善音について概略見た。恐らくは江都語音の露呈と思われる一部声母の混同が六朝末期

の江東語音と共通し[19]，いわゆる濁母の有声性を示すと解される混同例[20]が見えるのも興味深いが，同時に，李善音と北方字音との間に声類・韻類の混同の様相に拠って見る限り大きな相違のないことは，唐代字音の実相とその演変史を探る上でも，『切韻』の本質やその唐代に示める位置などを考察する上でも参考になるであろう。

（文部省科学研究費による研究の一部）

註

1）今日までのところ，管見の及ぶ限り，狩野充徳氏の「文選集注所引音決の韻類」と題する口頭発表（昭和48年度日本中国学会大会，於九州大学）が参考とされるに過ぎない。付言すれば，氏は当初この音決を唐公孫羅の作と推測し，従って唐初の揚子江下流を中心とした南方音を反映する資料とした（『日本中国学会会報』26．p．224 所掲の研究発表要旨に拠る）が，その後同じく集注本に引く鈔を公孫羅の撰と推定，その関係に於て音決の撰者を不詳とする説に改めながらも（「文選集注所引音決撰者についての一考察」『小尾博士退休記念中国文学論集』所収，第一学習社，昭51），結果的に見て「音決の音韻体系は長江下流一帯の方言音の特徴を示している」（同論文 p．454）と氏は解することから，音決の撰者は長江下流地方の出身で，7C．後半に音決を著したと推測している。

2）狩野氏の上掲研究発表当日配布されたプリント（当日出席された丸尾常喜氏から借覧した）には音決の韻類に見える通用例が提示されているが，例えば，そこには見えない支韻と他の止摂諸韻との通用例が李善『文選』音注からは得られるなど必らずしも特徴を一にしないこと，また後述の如く江都語音の露呈とも解される一部声母の混同など氏の研究を補う事例も得られたのでここに発表することにした。尚，狩野氏によって明らかにされた音決の音韻的特徴と本稿で示す李善音の特徴の対比・解釈は今後に譲る。

3）李善音は李善本の旧を存すると説かれる『清胡克家重雕宋淳熙本李善注文選』60巻（民国61年芸文印書館印行のものを用いた）に拠って採集したが，近時，宋刻尤袤本（民国65年石門図書有限公司印行のものを用いた），明州刊本『六臣注文選』（足利学校遺蹟図書館蔵，汲古書院．昭和49-50）が刊行されたので，李善音総てについてそれ等による校合を行なった。尚，文選刊本に関する研究に拠れば，胡刻本などで李善注とするものの中には誤って五臣注を混ずるところも少なくない様であるが，本稿では「善曰」の語の後に見えて明らかに他の字書，注釈家などの音と知れるもの以外の音釈，及び「善曰」の語は見えなくても注の末尾などに置かれ，

李善による音釈と解されるものは李善音として採った。また胡刻本では正文中に夾記されていて李善音とは解し難い数多い音注の中，胡克家『文選考異』に於て校勘の結果，李善音とされている231例についてはその旨を当該音注に註記して一往採った。（以上『文選』の刊本については，主として斯波六郎『文選諸本の研究』斯波博士退官記念事業会，昭32．に拠った。）

尚，李善音を示す反切は，極く少数例を除き，何れも○○切となっているが，これは後人の改作によるもので本来は○○反であったらしい。（cf.『文選考異』巻一に見える「袁本茶陵本切作反案反字是也凡善本云反合併以後改為切…」など。）

4）李善の伝については『旧唐書』巻一百八十九，『新唐書』巻二百二を参照。尚，李善は単に貫籍を江都とするだけではなく，実際に江都に於て曹憲に師事して文選の学を修め，後年は汴鄭の間に講学したことに留意すべきである。

5）李善が音を注するに当って，（他の音義類の撰者も同様と推測されるが）一々韻書を参看し，そこに示される字音に従いつつ作業を進めたとは思われない。韻書の示す押韻上の規範を尊守すべき作詩とは異なり，音義注は難語の読音を編者の標準とする音によって注したものであろうから，そこに反映する音は概ね編者が実際に使用している字音と考えて大過ないであろう。

因に，李善が『切韻』を引いてその音を示しているのは，管見の及ぶ限り，巻十九に見える「廣雅曰頫色也匹零切方言曰頫怒色青貌切韻匹迥切歛容也…」に過ぎない。また，帰字が『広韻』に求められない43例を除いた反切総数1878（延べ1992）例の内，『広韻』と反切用字を上下とも同じくするのは299（延べ348）例に過ぎない。（但し，上掲反切総数には『文選考異』に拠って補った李善音は含まれていない。）

6）北方字音を反映すると解される幾つかの資料の中，ここで比較の対象とするのは李善音と成書時をほぼ斉しくする，顔師古『漢書音義』A. D. 641（cf. 拙稿「顔師古音義韻類考」『言語研究』59，1971.「顔師古漢書音義の研究（下）」『北海道大学文学部紀要』19-4，1971），同『急就篇注』A. D. 627-644 迄の或る年に成書（cf. 拙稿「顔師古急就篇注音韻考」『北海道大学文学部紀要』22-1，1974），李賢等『後漢書音義』A. D. 676（cf. 拙稿「後漢書音義音韻考」『北海道大学文学部紀要』25-1，1976）に一往限る。

7）李善音の整理はこれ迄の拙論（註6を参照）に於ても試みた如く，『切韻』（『広韻』）の体系上に音注例を投影してその間の「ずれ」の有無を見る言わば「投影法」に拠る。また，「ずれ」を示す音注例の中から『切韻』（『広韻』）では別字で表記される語を示すと解されるもの，或は『切韻』（『広韻』）には採録されていない又音を示すと解されるもの，などを除き，音韻体系上の「ずれ」を示すと解される例のみを採って考察の対象とする。

8）『後漢書音義』に邪母の切字を以て従母字を注した例が一つ（萬　似宗反）見える。

9）帰字 『広韻』の反切／李善音　の順に示す。以下同様。

10）資料表のⅢA韻類，臻摂，註8を参照の意。以下同様。

11）胡克家『文選考異』に拠って補った李善音は帰字の右肩に○印を付して他と区別する。cf. 註5

12）『漢書音義』に知母の切字を以て端母字を注した例（鷄　竹滑反），定母の切字を以て澄母字を注した例（謫　徒冗反）が見える。

13）『広韻』の義注とは合致しないが，音韻体系上の「ずれ」が音韻変遷に添った様相を呈する音注は傍証例として｛ ｝内に入れて示す。

14）幫滂両母の混同は考え難いので一応非敷両母の混同とするが，或は諧声声母による類推の読音と見做されようか。

15）ここで示す例の他に，例えば，鍾韻所切字を東$_1$韻の下字によって注する例，また，東$_3$・入韻所切字を東$_1$・入韻の下字によって，江上韻所切字を東$_1$・上韻の下字によって，冬韻所切字を鍾韻の下字によって，庚$_2$・入韻所切字を江入韻所切字によって，文入韻所切字を魂韻の下字によって注する例なども見られ，その様な例は何れも，狩野氏によるプリント（cf. 註2）では通用を示すものとして扱われている如くであるが，李善音から得られる上掲例に関しては，意味との関連に於ける検討の結果何れも音韻体系上の「ずれ」を示すとは解し難いことが明らかとなったのでここには挙げない（cf. 資料表）。尚，断片的音注例を扱うに当って，意味との関連に於ける検討の必要なことについては，前引拙稿「顔師古漢書音義韻類考」p. 45 を参照。

16）但し，北方字音の特徴的様相の一つとも言うべき魚虞両韻の通用例は李善音からは得られない。或は李善音では明瞭に区別されていたのであろうか。因に，現代江都方言ではこれ等両韻は共に一uで区別されていない。cf. 江蘇省和上海市方言調査指導組編『江蘇省和上海市方言概況』江蘇人民出版社，1960.第1部份下，方言地図18図，など。

17）字音と語音の別，及びその相互関係などについては，河野六郎「書評・故有坂秀世博士著『上代音韻攷』」『国語研究』5，1956. pp. 67–68，『朝鮮漢字音の研究』著者自印，1968. pp. 34–37，pp. 44–46 など，三根谷徹「中古漢語の韻母の体系—切韻の性格—」『言語研究』31. 1956. p. 20，『越南漢字音の研究』東洋文庫，1972. pp. 44–45，pp. 61–62 などを参照。

18）『切韻』の音韻体系と江東音を映す『玉篇』のそれとに大きな相違の見られないこと（cf. 周祖謨「萬象名義中之原本玉篇音系」『問学集』上），また，調査対象が押韻資料という質的な相違は有るものの，時代の前後は用韻に対して大きな影響を見せているが地理的な差異は影響が小さいこと（cf. 王力「南北朝詩人用韻考」『清華学報』11–3，1936）などが想起される。

尚，李善『文選』注は「文選注上表」の「上」の語によっても推察される様に，皇帝に撰進されたものであるから，そこに見える字音が長安に於けるのと著しく異なるものでは有り得ないであろうとは或る程度予想されたことであったが，ここに

その予想の裏付けを得たことになろう。

19) 『玉篇』の反切上特徴の一つである神（牀$_3$）禅両母の混同例は李善音からは得られない。

20) 從邪両母の混同はそれ等が有声音でないと理解できないことは，つとに河野六郎博士によって指摘されている。最近では「「日本呉音」について」『言語学論叢』最終巻 1970，p. 16 を参照。

資　料　表

凡　例

1. この表は、李善『文選』音注を『広韻』の体系に準拠して整理・配列したものである。

2. 配列の方法・順序は次の如くである。

2.1　韻類を便宜上、Ⅰ・Ⅱ・ⅢA・ⅢB・Ⅳの5類に大別する。

Ⅰ韻類：東$_1$屋$_1$・冬沃・模・咍・泰・灰・痕没・魂没・寒(桓)曷(末)・豪・歌・戈$_1$・唐鐸・侯・登德・覃合・談盍の諸韻より成る。

Ⅱ韻類：江覺・佳・皆・夬・刪鎋・山黠・肴・麻$_2$・耕麥・咸洽・銜狎の諸韻より成る。

ⅢA韻類：支・脂・之・祭・真(諄)質(術)・臻櫛・仙薛・宵・麻$_3$・清昔・庚$_3$陌$_3$・蒸職・幽・侵緝・塩葉の諸韻より成る。

ⅢB韻類：東$_3$屋$_3$・鍾燭・微・魚・虞・廢・欣迄・文物・元月・戈$_3$・陽藥・尤・嚴業・凡乏の諸韻より成る。

Ⅳ韻類：齊・先屑・蕭・青錫・添帖の諸韻より成る。

尚、ⅢA韻類は、声母が脣・牙喉音(但し于母は除く)で韻図の四等欄に配されているものには甲の、同じく三等欄に配されているものには乙の小字を付して区別する。本表ではこれを声母に付して示す。

2.2　各韻を十六韻摂に従い分類する。

2.3　各韻摂内に於て韻部に分類し、縦欄に韻目を平・上・去・入の順に配す。

2.4　各韻摂内に於て横欄に声母を配す。

声母名及び配列の順序は次の如くである。

脣音		幫・滂・並・明
舌音	舌頭音	端・透・定・泥・来
	舌上音	知・徹・澄・娘
齒音	齒頭音	精・清・從・心・邪
	正齒音二等	莊・初・崇・生・俟
	正齒音三等	章・昌・船・書・常・日・羊
牙喉音		見・溪・羣・疑・曉・匣・影・于

3. 表中に音注を配する場所は、音注字の音が『広韻』の音韻体系に於て占める位置に拠る。それが帰字の音の『広韻』の音韻体系に於て占める位置と一致しない場合には注記する。見える音注の延べ回数(但し2以上)を記す。

3.1　注記は、当該音注が『清胡克家重雕宋淳熙本李善注文選』60巻(藝文

印書館印行、民国61年）に見える頁・段・行 及び義注など、帰字の『広韻』に見える反切、帰字の韻図に占める位置（声母・韻目・開合・等位）、をこの順に示す。

3.2 『広韻』の体系と「ずれ」を見せる帰字の内、

(1) 意味上それ等の仮借字と解されるものが求められる場合にはその仮借字を＊印を左肩に付して示す。

(2) 『広韻』には見えない又音と解される場合にはその旨を記す。

(3) 本論で扱われている例については本論で見える場所を矢印の次に記す。

4. 胡刻本では正文中に夾記されていて李善音と解し難いが、胡克家『文選考異』に於て校勘の結果、李善音とされている231例については、当該音注字の左肩に△印を付して他と区別する。また、『広韻』に見えない文字は｛ ｝内に入れる。

尚、『広韻』で別の字体に作るもの、他の版本で別の字体に作るものなどについては、当該字の表中に見える個所に注記する。

I 韻 類

通 摂

	東	董	送	屋
幫				補木 樸 2
滂				普卜 菖 1)
並	薄工 逢 2)			蒲卜 暴
				步木 曝
				步角 △瀑
明	莫公 幪	莫孔 㾓 3)		
	武功 雺	濛		
	音蒙 幪	蠓		
		莫董 °庞 4)	°広韻「庞」に作る	
端		音董 蝀		

定 泥 来	東 筩 徒 童 °朣 音 鮦 東 朧 力 瓏 公 蘢 力 朧 蘢	董 龍 力		谷 {䚟} 奴 鹿 麗 音
精 清 心	公 椶 子 縱 △蝬 葱 緦 音	董 鯔[5] 蘇	°胡刻本は「鬻」に作るが尤本に従い改める.	鹿 蔌 素 °鬻 音 速
溪 曉 匣 影	東 洶 胡 洞 虹 胡 虹 音 紅	孔 澒 胡 鴻[2] 董 鴻 孔 塕 孔 塕 孔 △翁 胡 一 烏 於	送 鞚 胡 貢 港 胡 弄 鴻[6] 於 貢 甕	木 △穀 呼

	冬		宋	沃

端 定	徒冬 佟			音督 裻
從	在宗 賨 2(1) 裁宗 棕 昨宗 △淙			
見				音告 梏

(1) 菡（説文曰蕖荷菡萏也 72下2）〔広〕方六切（幫屋開三）.
(2) 逢（本文：歗霧逢滓 85下6）〔広〕符容切（並鍾合三）.
(3) 痏（痏鴻未分之象也 226下5）〔広〕莫江切（明江開二）。 *曚〔広〕莫孔切（明董開一）.
(4) 庞（本文：紛庞鴻兮 176上13）〔広〕「厖」莫江切（明江開二）.
(5) 鍾（説文曰鍾大鑿中木也 257上3）〔広〕倉江切（清東開一）.
(6) 鴻（鴻洞相連貌也 135上10）〔広〕胡孔切（匣董開一）又戸公切（匣東開一）.

遇　　摄

	模	姥	暮	
滂 明	普胡 鋪 莫奴 模 暮 音模 △○暮	音普 浦 莫古 姥 ○広韻「謨」に作る		
端 透 定	音都 闍 他乎 嶲 音塗 菟 2	丁古 賭 他杜 △徐	音妬 秺	

来	音途 驢 力都 驢 力胡 驢 良都 △鸕 音盧 瀘 △顱		音路 璐 △輅	
精 清 從		資都 △箱 徂古 粗 2 才古 粗	千故 錯 2 七故 錯	
見 溪 疑	鼓胡 蛄 計狐 罷 公都 △筑 音孤 觚 △菰 音吾 鱧 齬 部	音古 賈 蠱	古護 酤 音袴 綣 五故 迕 牾 逻 1)	

	音忤 △梧		午故 遻[2)] 音梧 梧[3)]	
曉	音呼 戲			
匣	户徒 糊 音胡 {㗂} 猢 △鶘	音户 酤2(△1) 盱2 音怙 祜	胡故 °沍 音護 濩 音互 枑 音瓠 雘[4)]	°広韻「沍」に作る.
影	於孤 {穿} 音烏 於 汙 惡2(△1) 杇[6)] 音洿 △盂	烏古 塢 鄔	倚瓠 △雘[5)]	

(1) 遻（郭璞穆天子傳注曰遻觸也 257上16）〔広〕五各切（疑鐸開一）。* 遻〔広〕五故切（疑暮合一）. cf. 正字通.

(2) 遻（爾雅曰遻見也 272上6）〔広〕cf.(1). * 遻〔広〕cf.(1).

(3) 梧（梧柱也 178下7）〔広〕五乎切（疑模合一）.

(4) 雘（郭璞曰雘黝屬 70下7）〔広〕烏郭切（影鐸合一）.

(5) 雘（丹雘二色也 209下20）〔広〕cf.(4).

(6) 杇（…又曰鄯善國本名樓蘭、王治杇泥城 328上4）〔広〕羽俱切（于虞合三）.

盤　摂

	咍	海	代	

滂	普來 °坏	○広韻「坯」に作る		
	莫來 莓			
明				
透	音邵 鰲			
定	待來 鮐[1]	音殆 駘		
	音臺 薹	紿		
清	千才 猜			
從			才再 裁	
昌		齒改 蓋		
見	古才 胲		古愛 槩	
			°概	○広韻「槩」に作る.
溪			古載 溉	
疑		音愷 闓		
曉	牛哀 皚[2]			
	磑[2][2]			
匣	呼來 咍			
影			何戴 △劾	
			音愛 曖	
			蔓	

			泰開	

幫 滂 並 明			音貝　狽 浦大　霈 蒲蓋　沛[3)] 武蓋　沫[2(*1)] 亡蓋　△沫 亡貝　沫	
透 定			達蓋　汰 徒蓋　△汰[4)] 音大　軑	
清			七大　纍[5)]	
見 溪 影			古賴　°匄 古蓋　°磕[6)] 音蓋　丐 口蓋　°磕 苦蓋　°磕 　　愒 一大　°竇 於害　堨[7)]	○広韻「匄」に作る ○広韻「磕」に作る ○広韻「竇」に作る

	灰	賄	隊	
並			步内　孛	

明	莫迴 歷 莫回 枚 音梅 蔓		房妹 {睜} 音妹 痗 沫[8] 音昧 沫[9]	
端	都迴 堆 丁迴 △磓 都回 敦		都隊 碓	
透 定		他賄 岁	徒對 憝 蔇 𩃬 2 隊 {瞡} 。𩃬[10] 杜對 𩃬 徒内 隊 大内 隊	。広韻「𩃬」に作る.
泥 来	奴迴 挼[11] 音雷 礧[12]	乃罪 {腝} 力罪 磥 礧 磈[13] 洛罪 儡 2	力對 礧 2	

		魯罪 壘[14] 盧罪 壘[15]		
精 清 從 心	徂回 崔 茲瑰 崔 才迴 嵬[19]	子罪 摧[16] 七罪 漼 2 璀 音罪 巋 音皐 °嶵	子漬 接 子對 綷 子妹 焠[17] 倉憤 啐 2 字憤 °琗[18] °広韻「巋」に作る 息對 訊[20]	°広韻「綷」に作る
見 溪 疑 曉	古回 傀 音瑰 傀 苦回 魁 口回 詼 枯灰 △悝	枯罪 {嵔} 五賄 隗	苦對 塊 呼漬 頪 呼憤 沬[21] 音悔 沬[22] 痗	

匣		胡罪　磈[23]	胡對　潰 繪[24] 胡憒　繪[25] 績	
影	於回　隈 烏瓌　煨 於迴　碨[27] 音隈　°隗	烏罪　猥 嵔[26] 一罪　腲 於賄　碨	°広韻「颶」に作る	

			泰合	
透 定 来			他外　侻[28] 音兌　峴 力外　酹	
精 從			音最　綷[29] 在外　蕞	
影			烏外　濊	

(1) 鮐（ 說文曰鮐海魚也 506上9 ）〔広〕土來切（透咍開一）魚也. → 3·1·2·1·4

(2) 磑（ 方言曰磑磑堅也 223下6, 本文：白刃磑磑矛戟交錯 49/上10 ）〔広〕五灰切（疑灰合一）又五對切（疑隊合一）磨也. → 3·2·2·1·3

(3) 沛（ 滯沛奔揚之貌也 127上1 ）〔広〕普蓋切（滂泰開一）又音貝（幫泰開一）流皃亦滂沛又水名…. → 3·1·2·1·1

(4) 汰（ 王逸曰汰水波也 74上2 ）〔広〕他蓋切（透泰開一）太過也. → 3·1·2·1·4

(5) 縩（漢書班婕妤賦曰紛綷縩兮紈素聲 119下16）〔広〕七曷切（清曷開一）.

(6) 磕（磅磕雷霆之音如天之威怒 49上9）〔広〕「磕」〔広〕苦蓋切（溪泰開一）. 李善音の上字「古」は「苦」の誤字か.

(7) 塲（本文：軼埃塲之混濁 27下20）〔広〕烏葛切（影曷開一）。* 壒〔広〕於蓋切（影泰開一）. cf. 許慎淮南子注曰塲埃也、塲與壒同（27下20）.

(8) 沬（張揖曰沬水出蜀西徼外… 638上5）〔広〕莫貝切（明泰開一）水名. → 3·2·2·1·2

(9) 沬（沬已也 481下5）〔広〕cf. (8). → 3·2·2·1·2

(10) 黤（聲類曰…黤亦黑也 101下13）〔広〕「黤」徒耐切（定代開一）黤黤雲狀. → 3·2·2·1·3

(11) 挼（說文曰挼摧也 258上14）〔広〕素回切（心灰合一）。* 揉〔広〕乃回切（泥灰合一）. cf. 段玉裁『說文解字段氏注』.

(12) 礧（相礧相擊也 189下16）〔広〕落猥切（来賄合一）又盧對切（来隊合一）。* 轠〔広〕魯回切（来灰合一）. cf.『集韻』

(13) 磈（本文：磈磈磈磈澥澥浒浒 85上18）〔広〕五罪切（疑賄合一）.

(14) 壘（本文：上林岑以壘巖 42下1）〔広〕力軌切（来旨合三）。* 壘〔広〕落猥切（来賄合一）. cf.『集韻』

(15) 壘（高峻之貌 173上7）〔広〕力追切（来脂合三）。* 壘〔広〕力罪切（来賄合一）.

(16) 摧（摧嗺林木崇積貌也 115下16）〔広〕昨回切（從灰合一）.

(17) 焠（郭璞三蒼解詁曰焠作刀鋈也 671下10）〔広〕七内切（清隊合一）、李善音の上字「子」は「七」の誤字か。

(18) 琗（小雅曰雜采曰綷、琗與綷同 192下9）〔広〕「綷」子對切（精隊合一）說文曰會五繰繒也. → 3·1·2·1·5

(19) 嵬（王逸楚辭注曰嵬高也 25下5）〔広〕五灰切（疑灰合一）又五罪切（疑賄合一）.

(20) 訊（訊告也 222下16）〔広〕息晉切（心震開四）。* 誶?〔広〕蘇内切（心隊合一）.

(21) 沬（沬洒面也 643下16）〔広〕cf. (8)。* 頮〔広〕荒内切（曉隊合一）. cf. 如淳注：如淳曰沬或作頮（210上19）.

(22) 沬（本文：膺門沬赭 210上19）〔広〕cf. (8). * 頮 cf. (21).

(23) 磈（磈磈石在山中之貌 85上18）〔広〕口猥切（溪賄合一）又於鬼切（影尾合三）.

(24) 繪（鄭玄曰績讀曰繪、凡畫者爲繪 179下14）〔広〕黃外切（匣泰合一）繪五采也. → 3·2·2·1·2

(25) 繪（孔安國尚書傳曰繪會五彩也 262上8）〔広〕cf. (24). → 3·2·2·1·2

(26) 嵬（嵬嵬不平之貌 100下16）〔広〕「嵬」五灰切（疑灰合一）。* 鬼〔広〕烏賄切（影賄合一）.

(27) 碨（皆衆聲鬱積競出之貌 257下8）〔広〕乙皆切（影皆開二）又烏賄切

(28) 侻（說文曰侻好也與婞同 273上17）〔広〕他括切（透末合一）。＊婞〔広〕他外切（透泰合一）. cf.『說文』

(29) 綷（綷同也 144上6）〔広〕cf.(18). → 3·2·2·1·2

臻　　摂

	痕	很	恨	没開
見 匣	音根　跟			下没　齕

	魂	混	恩	没合
幫 滂 並 明	音門　捫	音本　苯 畚 莫本　懣	普頓　溢 普寸　噴 敷悶　歕 步寸　坋 2 坌	步忽　茀 1) 音勃　茀 2) 蒲没　△渤
端				丁兀　吐 丁忽　吐 2(△1)

透			○広韻「㦸」に作る	他没 ○㦸
定	徒昆 恪	徒損 沌		
	敦[3]	徒本 沌		
		庵		
来		カ本 淪[4]		虜骨 碌
精		子本 撙		
		尊 2		
清		七本 忖		七忽 卒 2
心		蘇本 膞		先忽 窣
見	音昆 鯤	古本 緄		公紇 扢
	鵾			古没 汨 2
	鶤			音骨 滑
	琨			△鶻
				△滑
溪		苦本 壺		苦骨 顝
		悃		矻
		△閫		苦滑 {傶}
疑			○広韻「兀」に作る	五忽 ○兀
			○広韻「瓆」に作る	○瓆
暁				呼没 曷
				音忽 曷

匣	胡奔 渾	胡本 揮 2 渾 2 焜 後袞 渾 乎本 混 下本 棍	胡困 溷 2	胡忽 淈
影			一頓 榲	烏骨 殟 烏沒 嗢 於忽 嗢

(1) 茀（茀彗星也 692下13）〔広〕敷勿切（滂物合三）又方味切（幫未合三）。*字〔広〕蒲沒切（並沒合一）. cf.『集韻』

(2) 茀（本文：晻藹咇茀 128上12）〔広〕cf.(1)。*𦼮〔広〕蒲沒切（並沒合一）.

(3) 敦（敦圉盛怒貌也 116下1）〔広〕都昆切（端魂合一）又都困切（端慁合一）.
→ 3·1·2·1·3

(4) 淪（混淪輪轉之貌 190下13）〔広〕力迍切（来諄合三）.

山　　摄

	寒	旱	翰	曷
幫				方割 拔[1)]
				補達 撥 2
並				扶割 拔
				扶葛 △魃
				蒲葛 胈

明	莫干 繻[2]		莫幹 曼[3] 莫旦 曼[4]	
端			音旦 鵰	丁達 炟 △怛
				都達 靼
透		吐誕 嘽[5]		他曷 闥
定	徒蘭 △壇	音誕 噠[6]	徒旦 澶 壇[7]	
			力旦 爛 闌[8]	力達 剌
精			音贊 湔[9]	
從				才曷 嚽
				才鳴 啐[10]
心	先安 姍			蘇割 撒
見	古寒 竿	古旱 旰	古旦 °汗 3	音葛 °鞨
	音干 幹[11]	△簳	△旰	公達 △聒[13]
		公旱 竿[12]	○広韻「汗」に作る	○広韻「鞨」に作る
溪			苦旦 衎	音渴 鴉[14]
				五曷 枿
				五割 枿
暁			呼但 △暵	

匣	音寒 幹[15]		胡旦 閈 戶旦 悍 戶但 悍 何旦 扞 音捍 扞	音昜 鷃
影			音按 安	於達 頞

	桓	緩	換	末
幫 滂 並	音盤 般 槃		音判 叛[17]	方末 跋[16] 蒲昧 浡[18] 步末 跋 茇 音跋 茇
明			莫半 漫	
端		丁管 裶[19]	丁亂 斷 都亂 鍛	都活 掇
透 定	他鸞 △湍 大丸 剸 徒歡 團 徒完 摶			音奪 脫

泥 来	段丸 摶 盧端 鑾		奴亂 軟[20]	
精 清 從 心	子丸 鑽 作官 鑽 先丸 狻 音酸 狻		七玩 竄 音攢 僝[21]	租括 撮 麤括 △撮
莊	壯栾 跧[22]			
見 匣	胡官 莞2(△1) 音桓 綄 音丸 紈	公緩 盥 音管 莞 莞[23]	工喚 觀 音換 涫[25]	古活 括 括 音括 鴰 括 會[24]

(1) 拔（拔剌彎弓貌 226上10）〔広〕蒲撥切（並末合一）迴拔又虜複姓三氏…，又蒲八切（並黠合二），房越切（並月合三）。→ 3·1·2·1·1

(2) 鑾（孟康漢書注曰鑾視也 257下7）〔広〕武板切（明潸合二）。

(3) 曼 （ 壇曼平博也 123上8 ）〔広〕母官切（明桓合一）又無販切（明願合三）.

(4) 曼 （ 本文：平原唐其壇曼兮 115下8 ）〔広〕cf.(3).

(5) 嘽 （ 本文：嘽嗹逸豫〔注〕舒緩自放縱之貌 251上17 ）〔広〕他干切（透寒開一）又昌善切.

(6) 嗹 （ 嘽嗹逸豫舒緩自放縱之貌 251上17 ）〔広〕徒干切（定寒開一）。* 誕. cf.『集韻』.

(7) 壇 （ 本文：平原唐其壇曼兮 115下8，壇曼平博也 123上8 ）〔広〕徒干切（定寒開一）.

(8) 闌 （ 本文：如玉之闌 354上17 ）〔広〕落干切（来寒開一）。* 彰〔広〕郎旰切（来翰開一）. cf.『集韻』

(9) 湔 （ 杜預左氏傳注曰揮湔也 250上7 ）〔広〕子仙切（精仙開四）又昨先切、則前切、子賤切。* 濺?〔広〕則旰切（精翰開一）. cf.『集韻』.

(10) 啐 （ 埤蒼曰嘈啐聲貌 257上17 ）〔広〕子聿切（精術合四）又倉夫切、七内切、蘇内切。* 嘬〔広〕才割切（從曷開一）嘈嘬鼓聲或作啐.

(11) 幹 （ 薛君韓詩章句曰幹正也 38下13 ）〔広〕古案切（見翰開一）.

(12) 竿 （ 竿箭幹也 410下12 ）〔広〕古寒切（見寒開一）.

(13) 聒 （ 説文曰聒讙譁也 80下14 ）〔広〕古活切（見末合一）聲擾. → 3·2·2·1·4

(14) 鴣 （ 本文：朝則鸛黄鴣鳴鳴焉 488下3 ）〔広〕古寒切（見寒開一）.

(15) 幹 （ 本文：攀井幹而未半 27下3 ）〔広〕cf.(11)。* 韓〔広〕胡安切（匣寒開一）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(16) 跋 （ 鄭玄曰跋本也 179上15 ）〔広〕蒲撥切（並末合一）。* 茇〔広〕北末切（幫末合一）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(17) 叛 （ 叛猶煥也 39下20 ）〔広〕薄半切（並換合一）奔他國. → 3·1·2·1·2

(18) 滭 （ 本文：歊霧滭滭 85下6 ）〔広〕蒲没切（並没合一）.

(19) 袒 （ 韋昭曰短爲袒袒襦也 731下20 ）〔広〕臣庾切（常麌合三）。* 短〔広〕都管切（端緩合一）. cf. 韋昭注.

(20) 軟 （ 本文：咨余軟弱 363下15 ）〔広〕而兖切（日獮合三）.

(21) 僨 （ 楊雄覈靈賦曰… 會賢僨智 565上16 ）〔広〕作管切（精緩合一）。* 攢?

(22) 跧 （ 説文曰跧蹴也 174下17 ）〔広〕阻頑切（莊刪合二）又將倫切、莊緣切.

(23) 莞 （ 漢書曰高都縣莞谷… 416上6 ）〔広〕古丸切（見桓合一）又胡官切、户板切.

(24) 會 （ 莊子曰…會撮指天… 385下3 ）〔広〕古外切（見泰合一）又黄外切.

(25) 涫 （ 楚辭曰…又曰心涫沸其若湯 225上19 ）〔広〕古玩切（見換合一）又古丸切.

效　　摂

	豪	晧	號	
幫 並		音保　鴇	蒲到　蹧 瀑	
端 透 定 来	音刀　△忉 吐刀　韜 徒刀　鞀 音逃　陶 音勞　簩 {浒} 寥[1] 膏[2] 唠 △澇 音牢　{唠}	梁道　橑 閤草　恅 音老　橑 蓼[3] △潦	徒到　燾 音導　△纛	
清 從 心	音曹　嘈 2 {山曹}	麤老　懆 先早　掃 蘇老　掃	音操　造	

見		古皓 鎬[4)]		
		古老 °暠	○広韻「暠」に作る	
		縞 2		
		{滈}		
		浩[5)]		
		槁[6)]		
		°皓[7)]	○広韻「皓」に作る	
溪			苦到 犒	
疑	牛高 △○敖	○広韻「敖」に作る	五告 槀	
曉			呼到 耗	
匣	胡高 嗥	胡道 鎬		
		胡暠 顥		
影		烏老 奧	烏到 夭[8)]	
		媼	於到 隩 2	
		㝡[9)]	於報 隩	

(1) 寥（窒寥空深貌 271下20）〔広〕落蕭切（来蕭開四）又郎撃切.
(2) 膋（南越志曰膋石縣有銅澗 412上7）〔広〕落蕭切（来蕭開四）.
(3) 蓼（本文：摎蓼滓浪 48下4）〔広〕盧鳥切（来篠開四）又力竹切.
(4) 鎬（皆謂光顥昭明也 177下17）〔広〕胡老切（匣皓開一）.
(5) 浩（本文：河汾浩汗而皓溔 100下7）〔広〕胡老切（匣皓開一）又古沓切.
(6) 槁（形體枯槁悲悴之甚也 233上2）〔広〕苦浩切（溪皓開一）.
(7) 皓（廣雅曰浩溔大也 100下7）〔広〕「皓」胡老切（匣皓開一）.
(8) 夭（本文：澤不伐夭 108上14）〔広〕烏皓切（影皓開一）又於喬切. 於兆切.
(9) 㝡（廣雅曰㝡長也 87上1）〔広〕烏到切（影号開一）.

果　　摂

	歌	哿	箇	
並 明	蒲河 皤	莫可 麽		
透 定 泥 来	音他 拖[1] 徒何 佗 °酡[2] 徒多 鼉 度羅 △°沱	徒我 °沱 拖[3] 徒可 拖[4] 2 奴可 娜 洛可 砢	◦広韻「沱」に作る ◦広韻「酡」に作る	
清 従 心	七何 蹉 材何 嵯	蘇可 娑		
渓 疑 匣 影	五哥 睋 音俄 莪 峩 °峨 賀多 苛	◦広韻「莪」に作る 烏可 °婀	苦賀 軻 ◦広韻「㚸」に作る	

	戈	果	過	
幫	音波 嶓 磻[5]			
端 透 来	來戈 蠡 力戈 蠡 䚄	丁果 揣 他果 妥 湯火 嬇	他臥 嬇 音唾 䜌	
精 清	七戈 蓬		祖過 挫	
見 溪 疑 匣 影	苦和 邁 五戈 訛	音禍 夥	古臥 裹 烏臥 △堁	

(1) 拖（廣雅曰拖引也 135下16）〔広〕移爾切（影紙開四）又弋支切。* 拕〔広〕託何切（透歌開一）. cf.『集韻』.

(2) 酡（王逸曰酡著也 200下3）〔広〕「酏」弋支切（羊支開四）又移爾切。* 酡〔広〕徒河切（定歌開一）. cf.『集韻』.

(3) 拖（本文：懷金拖紫 535下8）〔広〕託何切（透歌開一）又吐邏切。*拕〔広〕cf.(1). cf. 朱駿声『說文通訓定声』.

(4) 拖（説文曰拖曳也 28下20）〔広〕cf.(3)。*拕 cf.(3).
(5) 磻（説文曰磻似石著繳也 48上1, 355上14）〔広〕薄官切（並桓合一）。*潘〔広〕博禾切（幫戈合一）. cf.『集韻』.

宕　摂

	唐開	蕩開	宕開	鐸開
幫			補浪 △榜[1]	補洛 搏
滂	普郎 滂			普莫 魄[2]
	普忙 △滂			匹各 △泊[3]
並	步浪 旁			蒲各 柏[4]
	並[5]			音薄 魄[6]
	蒲忙 彷			
	音傍 旁			
明	莫郎 芒	莫朗 漭		音莫 鏌
	莫浪 莽[7]	音莽 茫[8]		
端		音黨 讜		
透	託郎 闓	佗朗 儻	他浪 盪	音託 橐
		土黨 爌	○広韻「跨」に作る	音拓 °跅
定	徒郎 蹋	大朗 漾	徒浪 宕	大各 度
	碭		碭 2	
	音唐 盪[9]			
泥		乃朗 △瀼[10]		
來	力唐 △琅	音朗 閬[11]	音浪 閬	來各 絡

	音郎 桹 硠 2 浪 2(*1) 莨 閬 △椰 音琅 浪		{罠}	音洛 硌 絡
精 從		子朗 駔		子落 柞 音作 柞 在洛 莋 音鑿 笮
見 溪 疑 匣	公郎 迒 古郎 伉[13] 音剛 阬[14] 苦郎 硿[15] 我郎 卬 五郎 卬 2 五剛 卬 吾郎 柳 音卬 △軿[16] 胡剛 {盺}	音康 °窵 胡朗 沆 2	苦浪 頏	音各 矐[12] °広韻「窵」に作る。 五各 愕 五洛 鰐 胡落 涸

影	△吭 胡郎 荒 行2 烏郎 ○挾(刃) ○広韻「梜」に作る	烏黨 坱 △泱 烏朗 坱2 映 泱	烏浪 盎	

	唐合	蕩合	宕合	鐸合
見 溪 曉 匣 影	音光 横 △桄 音黄 湟 趪 音皇 湟 隍 煌 音榥 橫 烏黄 汪2	苦晃 爌 呼廣 {炕}		音霍 濯 胡郭 濩2 音穫 濩 音鑊 檴 △濩 烏郭 蠖

(1) 榜 (王逸楚辭注…一曰榜併船 193上2) 〔広〕北朗切 (幫蕩開一) 又薄庚切 北孟切.

(2) 餽 (輪扁曰然則君之所讀者聖人之糟餽耳… 248下5) 〔広〕普伯切 (滂陌開二) 又他各切.

(3) 泊 (紛泊飛薄也 81下13) 〔広〕傍各切 (並鐸開一) 止也: → 3·1·2·1·2

(4) 怕 (説文曰怕無爲也廣雅曰憺怕靜也 124下19) 〔広〕普伯切 (滂陌開二) 又普駕切。* 泊 〔広〕傍各切 (並鐸開一).

(5) 並 (本文: 蚩尤並轂 135上19) 〔広〕蒲迥切 (並迥合四)。* 傍 〔広〕蒲浪切 (並宕開一). cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(6) 餽 (張揖曰常餽布衍也 689下16) 〔広〕cf. (2)。* 薄. cf. 『正字通』.

(7) 莽 (莽罠廣大貌 92下10) 〔広〕模朗切 (明蕩開一) 又莫補切、莫厚切.

(8) 茫 (本文: 鴻蒙沆茫 134下15) 〔広〕莫郎切 (明唐開一).

(9) 逿 (逿突也 226下1) 〔広〕徒浪切 (定宕開一).

(10) 瀼 (決瀼渟淤也 184下6) 〔広〕汝陽切 (日陽開三).

(11) 閬 (爐炕爌朗皆寬之貌 173下10) 〔広〕魯當切 (來唐開一) 又來宕切。* 朗. cf. 李善注.

(12) 矐 (秦帝矐其目使擊斑 161上4) 〔広〕虛郭切 (曉鐸合一) 又呵各切 (曉鐸開一).

(13) 伉 (伉當也 47上1) 〔広〕苦浪切 (溪宕開一).

(14) 阬 (本文: 絶阬踰斥 46下10) 〔広〕苦浪切 (溪宕開一) 又客庚切.

(15) 硿 (硿磕雷聲也 226下2) 〔広〕苦浪切 (溪宕開一) 又客庚切.

(16) 軼 (龍軼凶飾也 812上18) 〔広〕居悚切 (見腫合三) 又渠容切 (奉鍾合三).

(17) 挾 (本文: 充屈鬱律瞋菌碨挾 257下8) 〔広〕「挾」於兩切 (影養開四).

流　　摂

	侯	厚	候	
幫 並 明	蒲溝 梧[1] 莫侯 蝥[2] 侔[4]	方部 掊 步苟 培 莫口 鵡[3]	莫遘 瞀	
端 透	丁侯 兜	佗斗 黜	都遘 咮[5] 他豆 投[6]	

定	音頭 揄		徒鏤 脰 音豆 脰 2 逗 投 7) 竇	
泥			奴豆 耨	
来	力侯 蝼 2 力頭 摟	路苟 壕		
精	子侯 △陬		音奏 走 2	
清		蒼苟 取	音湊 楼	
莊	側溝 陬 8)			
初			初溝 遘 9)	
見	古侯 句	古后 苦	古候 彀	
	△夠	音垢 詬		
	音溝 句			
溪		枯後 鉤		
		五苟 偶		
		五口 髑		
疑				
曉		火口 牿	火逗 訽	
			火豆 蔻	
匣	胡溝 鍭		音候 黨	

影	鄔侯 區 於侯 謳			

(1) 梧（廣雅曰梧棰也 803上16）〔広〕縛謀切（並尤開三）杖也…. → 3·2·2·3·1

(2) 蜜（本文：無異蛛蜜之網 112上4）〔広〕武夫切（明虞合三）爾雅云蠶蠶蜜、又音牟（明尤開三）. → 3·2·2·3·1

(3) 鵡（本文：鸚鵡賦 204下10）〔広〕文甫切（明虞合三）鸚鵡、鳥名、能言. → 3·2·1·1·3

(4) 侔（鄭玄周禮注曰侔等也 199上2）〔広〕莫浮切（明尤開三）等也均也齊也、→ 3·2·2·3·1

(5) 咮（說文曰喙口也…或爲咮鳥口也 251下20）〔広〕陟救切（知宥開三）鳥口. → 3·1·1·2·1，3·2·1·1·2

(6) 投（本文：突倒投而跟絓 49下10）〔広〕度侯切（定侯開一）託也弃也 … → 3·1·2·1·4

(7) 投（本文：察變於句投 258上18）〔広〕cf. (6). * 逗〔広〕田候切（定候開一）.

(8) 陬（廣雅曰陬角也 271下16）〔広〕側鳩切（莊尤開三）鄉名一曰隅也. → 3·2·1·1·2

(9) 遒（本文：屬車之遒 45下18）〔広〕初救切（初宥開三）遒倅一曰齊也. → 3·2·1·1·2

曾　摂

	登開	等開	嶝開	德開
並				蒲北 棘 2 {跋} 薄北 踣
端 透 定	土登 磴[1]		丁鄧 隥 △磴 都亘 °墱 音鄧 △蹬	°広韻「隥」に作る

来	落登 稜			
精 清 從	子能 罾 慈登 層 音曾 噌[2]		七鄧 △蹭	七則 堿
見			古鄧 亘 緪 古贈 鰋	

(1) 磴（磴猶盆也 192上9）〔広〕都鄧切（端嶝開一）.
(2) 噌（噌吰聲也 233下3）〔広〕楚耕切（初耕開二）.

咸　　摂

	覃	感	勘	合
透 定	大合 醰 音覃 潭	徒感 苔 。蠶 窓 譚 黮 2	音探 撢 。広韻「霆」に作る 。広韻「翾」に作る	土合 嗒[1] 他合 鰈[2] 徒合 嚏 遝 雪[3] 。翗[4] 徒荅 沓 音沓 鞜[5]

泥 来	音南 柟 力含 婪 力南 婪 禄含 嵐	来感 廩[6]	◦広韻「翊」に作る	音納 蒻 力合 摺 力荅 摺 ◦翊[7] 朗荅 莅 音臘 拉
知 澄	長含 沈[8]	直感 黮[9]		
清 心		七感 憯 參[10] 趁[11] 錯感 憯 慘 蘇感 慘	◦広韻「颯」に作る	先合 馺 素合 馺 鞈 ◦颯 2 雪 思合 ◦颯
見 溪	古含 弇 枯耿 △龕		苦闇 轗	苦合 {峇}

疑		五感 頷[12] 碪[14] 牛感 頷[16]	。広韻「岌」に作る	五荅 岌[13] 五合 。岐[15]
暁	火含 谽			火合 欲 呼合 欲
匣	音含 涵 。函 。広韻「頷」に作る	胡感 頷 撼 頷 菡	下闇 含[17]	
影		烏感 黯 晻 暗[19] 2 闇[20] 於感 晻		烏合 郃[18] 2

	談	敢	闞	盍
端		丁敢 黕[21]		
透			吐暫 談	音榻 鞈[22]
定		徒敢 淡 3 大敢 淡	徒濫 澹 2 憺 達濫 澹	

来		音覽　欖 　　攬	力暫　濫 力𩜁　△纜	
清		七敢　慘[23]		
見 溪 暁 匣	呼甘　憨 △蚶 户甘　°𧊒[25] *胡甘　°𧊒[27]	音敢　橄 火敢　嵌[24] 胡敢　泔[26] 湖敢　澉[28]	苦暫　瞰 °広韻「𧊒」に作る.	苦闔　榼 * 胡刻本.尤本共に「明」に作るが誤写と認め之を改む. cf.户甘切(同義)

(1) 嗒 (郭璞曰嗒焉解體若失其配匹也 624下11)〔広〕吐盍切(透盍開一) 嗒然忘懷也. → 3·2·2·1·1

(2) 鰈 (爾雅曰東方有比目魚焉不比不行.其名謂之鰈 29下11)〔広〕吐盍切(透盍開一) 比目魚別名. → 3·2·2·1·1

(3) 霅 (鞀霅走疾皃 92上8)〔広〕丈甲切(澄狎開二)又蘇合切.之涉切.胡甲切.

(4) 翣 (趁趯翣翣相隨驅逐衆多貌 92下10)〔広〕徒盍切(定盍開一)「翔」櫼翣. → 3·2·2·1·1

(5) 鞜 (服虔曰踏爲也 140下10)〔広〕他合切(透合開一)革履. → 3·1·2·1·4

(6) 廩 (慘廩寒貌也 115下5)〔広〕力稔切(来寝開三).

(7) 翣 (趁趯翣翣相隨驅逐衆多貌 92下10)〔広〕「翣」與職切(羊職開四).

(8) 沈 (本文:眈眈帝宇〔注〕應劭曰沈沈宮室深邃之貌 99下15)〔広〕直深切(澄侵開三)又直禁切.式任切。* 眈〔広〕丁含切(端覃開一)又徒含切(定覃開一). → 3·1·1·2·1

(9) 黮 (聲類曰黮深黑色也 101下12)〔広〕徒感切(定感開一)霍霅雲皃. → 3·1·1·2·3

(10) 參 (參譚相隨貌 263下2)〔広〕倉含切(清覃開一)又七紺切.蘇甘切.楚簪切.所今切.

(11) 趁 (正文:趁趯翣翣 92下10)〔広〕倉含切(清覃開一)趁趯.

(12) 頷 (廣雅曰頷動也 314下12)〔広〕胡男切(匣覃開一)又胡感切(匣感開一). *頷〔広〕五感切(疑感開一). cf.『集韻』.

(13) 岌 (顔師古曰岌岌危動貌 281上9)〔広〕魚及切(疑緝開三).

(14) 碪 （ 碪磥高貌 100下6 ）〔広〕知林切（知侵開三）。* 嶜〔広〕五感切（疑感開一）cf.『集韻』

(15) 岋 （ 韋昭曰岋動貌也 135下13 ）〔広〕「岌」cf.(13).

(16) 頷 （ 杜預左氏傳注曰頷揺頭也 174下12 ）〔広〕cf.(12)。* 頷 cf.(12).

(17) 含 （ 本文：并包吐含 251上3 ）〔広〕胡男切（匣覃開一）。* 㕣〔広〕胡紺切（匣勘開一）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(18) 郃 （ 魏志曰…紹使張郃高覽攻曹洪… 633上20，應劭漢官儀曰… 以執金吾營郃為左僕射 667上10 ）〔広〕古沓切（見合開一）又侯閤切（匣合開一）.

(19) 暗 （ 暗暗深空之貌 117上4，暗蔼衆盛貌也 118上16 ）〔広〕烏紺切（影勘開一）.

(20) 闇 （ 闇蔼衆盛貌 136上5 ）〔広〕烏紺切（影勘開一）.

(21) 黕 （ 黕黑貌也 119上6 ）〔広〕都感切（端感開一）滓垢也黑也. → 3·2·2·1·1

(22) 鞈 （ 闥鞈鼓音也 131下10 ）〔広〕古沓切（見合開一）又古洽切。* 鞳〔広〕吐盍切（透盍開一）. cf.『集韻』.

(23) 慘 （ 字林曰慘毒也 264下13 ）〔広〕七感切（清感開一）慘慼也説文毒也. → 3·2·2·1·1

(24) 嵌 （ 嵌開張之貌也 116上5 ）〔広〕口銜切（溪銜開二）又才敢切（從敢開一）.

(25) 虓 （ 爾雅曰虓白虎 171下5 ）〔広〕「虓」莫狄切（明錫開四）. cf. 沈兼士『廣韻聲系』：…爾雅釋獸虓白虎.釋文引字林.虓.下甘反.又亡狄反…

(26) 泔 （ 應劭曰泔淡滿也 118上10 ）〔広〕古三切（見談開一）.

(27) 虓 （ 爾雅曰虓白虎 93上6 ）〔広〕cf.(25).

(28) 澉 （ 澉澹猫洗滌也 491下16 ）〔広〕古覽切（見敢開一）又吐濫切

Ⅱ 韻 類

江 摂

	江	講	絳	覚
滂				芳邀 擽
並		蒲講 蚌		蒲角 △爆[1]
		步項 △蜂		
明	莫江 厖			音邀 藐
	△哤			

	篆江 駹			
端 定 来				都角 琢[2)] 丁角 斲[3)] 達角 擢[4)] 力角 躒[5)] 呂角 躒[6)]
知 徹 澄	直江 橦 撞		＊胡刻本、尤本共に「句」に作るが誤字と認め之を改む。cf. 丁角切(同義)	竹*角 斲 音卓 椓 逴[7)] 音啄 諑 勑角 踔
莊 初 崇 生				側角 穱 △翦 楚角 蔑[8)] 齪 助角 捔 所學 捎[9)] 山角 啾 音朔 箭

見	古雙 釭			工卓 較
	古尨 扛			音角 慤
溪				苦角 殼 2
曉				呼學 〔蒐〕
匣			○広韻「樂」に作る	胡角 °濯
				音學 樂
影				烏學 渥
				音握 喔

(1) 爆 (説文曰爆灼也 190上8) [広] 北角切 (幫覚開二) 火烈. → 3·1·2·1·1
(2) 琢 (爾雅曰理玉曰琢 73上7) [広] 竹角切 (知覚開二) 治玉. → 3·1·1·2·1
(3) 斲 (莊子曰輪扁斲輪於堂下 248下5) [広] 竹角切 (知覚開二) 削也. → 3·1·1·2·1
(4) 擢 (方言曰擢抽也 27下19) [広] 直角切 (澄覚開二) 拔也抽也出也. → 3·1·1·2·3
(5) 躍 (卓躍絶異也 525下5) [広] 盧各切 (来鐸開一) 又郎擊切。*擽 [広] 呂角切 (来覚開二). cf. 『集韻』.
(6) 躍 (逴躍猶超絶也 24上6) [広] cf. (5)。*擽 cf. (5).
(7) 逴 (逴躍猶超絶也 24上6) [広] 敕角切 (徹覚合二) 又丑略切。*卓 cf. 『史記』索隱注.
(8) 蔟 (本文: 又蔟之所攙角 46下7) [広] 千木切 (清屋開一) 又倉奏切。*簪 [広] 士角切 (崇覚開二) 取魚箔也、測戟切 (初陌開二) 刺也國語曰簪魚鱉也. → 3·1·2·1·11
(9) 捎 (本文: 攙搜澤捎 [注] 水聲也 252上7) [広] 相邀切 (心宵開四) 又所交切.

盤　摂

	佳開	盤開	卦開	
幫		*布買 捌 2 補買 捌	薄懈 稗 2	*胡刻本, 尤本共に「希」に作る (385上16例) が誤字と認めこれを改む.
從			在賣 皆[1]	

崇生	音柴 °蕈	°広韻「蕈」に作る 所解 躧 鞋 所盤 灑2(^1) 所買 灑 纚2) 洒3)		
見 疑 匣 影	音佳 街 於佳 哇	古買 罫4) 蘚 嶰5) 五解 睚 音解 嶰 音盤 澥		

	皆開	駭開	怪開	
並 明	簿階 排 音埋 霾		莫芥 侏6)	
徹			丑芥 薑7)	
莊	側皆 齊8)			

崇	士階 儕			
見 溪 曉 匣 影	音皆 芠 音喈 嚌[9] 口階 揩 許皆 俙		音介 玠 鮚 下介 蠏 乙戒 噫 一介 喝[10]	

	佳合	盤合	卦合	
見 匣 影	胡蝸 蠹 烏佳 △蠅	○広韻「蠹」に作る	音卦 絓[11] 胡卦 絓	

	皆合	駭合	怪合	
見 溪 影	故乖 褱[12] 烏乖 嵔		古怪 魁[13] 苦怪 蒯	

			夬	
見			古邁 犗	

匣			胡快 話	

(1) 眥 (説文曰眥目匡也 43下12) 〔広〕疾智切(從寘開四)又在詣切(從霽開四).

(2) 纚 (纚網如箕形狹後廣前 48上12) 〔広〕所綺切(生紙開二).

(3) 洒 (毛萇曰洒灑也 693上4) 〔広〕先禮切(心薺開四)又所賣切(生卦開二).洒埽…。

* 灑 〔広〕所蟹切(生蟹開二). cf.『集韻』.

(4) 罫 (剛罫弩矢鏃也… 144上14) 〔広〕古賣切(見卦合二).

(5) 嶰 (爾雅曰小山別大山曰嶰 94上1) 〔広〕胡買切(匣蟹開二).

(6) 休 (孝經鈎命決曰東夷之樂曰休… 33下20) 〔広〕莫話切(明夬合二)僕休. → 3·2·2·2·1

(7) 薑 (張揖子虛賦注曰帶介刺鯁也薑與蔕同 43下13) 〔広〕丑犗切(徹夬開二)毒蟲. → 3·2·2·2·1

(8) 齊 (本文:相與齊乎陽靈之宮 117上20) 〔広〕徂奚切(從齊開四)又在詣切(從霽開四).

* 齋 〔広〕側皆切(莊皆開二). cf.『広韻』.

(9) 嚌 (嚌嚌衆聲也 147下8) 〔広〕在詣切(從霽開四).

(10) 喝 (本文:榜人歌聲流喝 124下12) 〔広〕於犗切(影夬開二)嘶聲. → 3·2·2·2·1

(11) 絓 (本文:磻不特絓 48上1) 〔広〕苦緺切(溪佳合二)又胡卦切。* 挂 〔広〕古賣切(見卦合二)、cf.『漢書』顔師古注.

(12) 褢 (埤蒼曰嵗褢不平也又重累貌 89上9) 〔広〕户乖切(匣皆合二).

(13) 魁 (鄭玄禮記注曰魁猶首也大魁謂匏首插定所也 265下14) 〔広〕苦回切(溪灰合一)魁師一曰北斗星. 〈『広韻』に見えない又音〉.

山　摂

	刪開	潸開	諫開	鎋開
見 匣 影	古顔 菅			居點 拮[1] 音轄 磕[2] 一轄 轄[3] 碣[4]

	山開	産開	襇開	黠開

滂 並			白莫 辦	普八 △汃
莊 初 崇		初産 鏟 士簡 傽[5] 士眼 棧 戗 音棧 °巏 音産 嵯	°広韻「戔」に作る	阻黠 札 音殺 △薩
見 溪 疑 影	音閑 瞷 閒 4	音眼 齴[8]	工莫 閒 古莫 閒	古八 揳[6] 革黠 △楔 苦札 △鶈[7] 於八 猰 烏黠 窫 圠 2 烏八 圠 音軋 乙[9]

	刪合	潸合	諫合	鎋合
幫	音斑 辦			

明	音班 般	莫版 繁		
初			乂患 簒	
見 疑 匣	胡關 闗	胡綰 睆 下板 〔攔〕	古患 串 五患 鬣 胡慢 擐 音宦 豢	古滑 刮 五刮 刖

	山合	產合	襇合	黠合
知				張滑 窋[10] 陟滑 △鷚[11]
見 匣	古頑 綸		下辨 幻	

(1) 拮（章昭曰拮擽也 142上19）〔広〕居質切（見質開四）又古黠切.

(2) 碏（本文：建碣碏之虞 142上18）〔広〕枯鎋切（溪鎋開二）又古黠切.

(3) 轄（幽轄車聲也 136上12）〔広〕古達切（見曷開一）.

(4) 碣（本文：建碣碏之虞 142上17）〔広〕其謁切（羣月開三）又渠列切（羣薛開三）.

(5) 僻（孔安國尚書曰僻見也 461下18）〔広〕士山切（崇山開二）又士戀切。*僻〔広〕士限切（崇產開二）.

(6) 揳（揳鼓也 485上11）〔広〕先結切（心屑開四）。*戛〔広〕古黠切（見黠開二）. cf.『集韻』.

(7) 鷃（說文曰鷃鴳鳧屬 72上9）〔広〕古黠切（見黠開二）又古屑切（見屑開四）.

(8) 齴（本文：坻岷罔鱗眴棧齴巉巉 39下5）〔広〕魚蹇切（疑獮開三）.

(9) 乙 （方言曰…乙抽也.乙難出之貌 249上12）〔広〕於筆切（影質開三）。* 軋

(10) 窋 （説文曰窋物在穴中兒 174下5）〔広〕竹律切（知術合三）.

(11) 鶅 （爾雅曰…郭璞曰鶅大如鴿羣飛出北方沙漠 72下12）〔広〕丁滑切（端黠合二）鶅雀. → 3·1·1·2·1

效　摂

	肴	巧	效	
幫 滂 並 明	音包 苞 薄交 泡 　　 炮 步包 △咆 音庖 颮 音咆 狍	 亡絞 △茆	 匹孝 礮	
透 泥 来	 奴交 譊[2)] 力交 翵 郎交 窌	 奴巧 獠 乃鮑 △撓	吐教 趠[1)] 奴教 橈 乃孝 淖	
知 徹	竹交 △鵰		 丑孝 踔 直教 櫂 2	

娘			直孝 櫂 女教 橈[3]	
莊 崇 生	鉏交 {𦍒} 所交 {𦍒} 梢 旁 髫[2]	音爪 蚤[4] 所卯 搜[5]		
見 溪 曉	音交 咬 苦交 窐[7] 庠[8] 骹 *枯交 敲 呼交 庠 鵁[9] 尰 哮 *顥 嗃	古巧 摎[6] 絞 古飽 狡 ＊胡刻本、尤本共に「祐」に作るが誤字と認め之を改む。 ＊胡刻本、尤本共に「所切」字を「鵁」に作るが誤字と認め、正文に従い之を改む。	音校 較	

匣	火交 虓 嗥	胡卯 攪[10] 胡狡 齩[11] 胡巧 槩		
影	烏交 咬2(^1) {鷂}	烏絞 鴢		

(1) 趭 (本文:騰趭飛超 88上4) 〔広〕丑教切(徹效開二)行皃. → 3·1·1·2·2

(2) 譊 (本文:譊譊讙咋異端斯起 762上18) 〔広〕女交切(娘肴開二)爭也又恚呼也. → 3·1·2·3·1

(3) 橈 (張揖曰…橈靡也 123下9, 雲橈如雲屈橈也 126下18, 本文:柔橈嫚嫚〔注〕郭璞曰皆骨體與弱長豔貌也 132上4) 〔広〕奴教切(泥效開二)木曲. → 3·1·2·3·1

(4) 蚤 (淮南子曰鴟鴞夜撮蚤察毫末… 777上14) 〔広〕子晧切(精晧開一)。*爪

(5) 搜 (本文:攪搜澤捎〔注〕水聲也 252上7) 〔広〕所鳩切(生尤開二).

(6) 搔 (所求徧也 48下4) 〔広〕古肴切(見肴開二)又力求切.

(7) 窐 (窐寥空深貌 271下20) 〔広〕古攜切(見齊合四)又户圭切(匣齊合四).

(8) 㝢 (本文:㝢窮巧老〔注〕深空之貌 255下12) 〔広〕許交切(曉肴開二).

(9) 鵊 (本文:黃鵊鵊鶴 29上20) 〔広〕古肴切(見肴開二).

(10) 攪 (本文:攪搜澤捎〔注〕水聲也 252上7) 〔広〕古巧切(見巧開二).

(11) 齩 (説文曰齩齧骨也 503下14) 〔広〕五巧切(疑巧開二).

假　　摄

	麻開	馬開	禡開	
滂	普華 葩 音葩 辨[1]			
明			莫亞 䵼	

泥	奴加 拏[2)] 奴家 拏[3)]			
知 徹 澄	丑加 侘		竹亞 咤 除嫁 蛇	
精	子加 擅[4)]		子夜 嗜	
初	楚加 杈			
崇		仕雅 柞[5)] 士雅 槎	音蜡 蛇[6)]	
見 溪 疑 曉 匣	音加 駕 音牙 枒 街[8)] 呼加 颯 火加 °嚇 胡加 瑕 2(△1) 音遐 鰕 蝦	古雅 △暇[7)] 呼雅 閘 °広韻「谺」に作る.	音稼 幏 口亞 髂 火嫁 赫 火亞 呼[9)] 呼亞 △鏬	

	麻合	馬合	禡合	
知	竹瓜　邁			
崇	士瓜　髽[10]			
溪	口哇　華[11] 枯瓜　蓊[12] 烏瓜　窊 於瓜　窊			

(1) 辦（辦華敷大也　41上6）〔広〕布還切（幫刪合二）駁也文也.〈『広韻』に見えない又音〉?

(2) 挲（挲攫相搏持也　49上12）〔広〕女加切（娘麻開二）絲絮相牽…. → 3·1·2·3·1

(3) 拏（蒼頡篇曰拏捽也引也　258上14）〔広〕女加切（娘麻開二）牽也. → 3·1·2·3·1

(4) 擅（擅批皆謂戟撮之　47上8）〔広〕女加切（娘麻開二）.

(5) 柞（貫逵國語注曰槎邪斫也柞與槎同…　45下2）〔広〕則落切（精鐸開一）又在各切。
＊槎〔広〕士下切（崇馬開二）.

(6) 蛇（南越志曰…又曰海岸閒頰有水母東海謂之蛇　190下4）〔広〕除駕切（澄禡開二）.

(7) 暇（貫逵國語注曰暇閑也　166上15）〔広〕胡駕切（匣禡開二）。＊假〔広〕古疋切（見馬開二）.

(8) 街（酈元水經注曰允街谷水…　299下10）〔広〕古膎切（見佳開二）又古諧切（見皆開二）.

(9) 呼（呼皮曰甲根曰宅　79上19）〔広〕荒烏切（曉模合一）又火故切（曉暮合一）.

(10) 髽（本文：朱髮鬟髽　47上4）〔広〕莊華切（莊麻合二）婦人喪髻. → 3·1·2·1·10

(11) 華（本文：鉓華離以矜然　99上10）〔広〕呼瓜切（曉麻合二）又户花切（匣麻合二）、胡化切（匣禡合二）.

(12) 蓊（爾雅曰蓊榮也　87上1）〔広〕芳無切（滂虞合三）又況于切（曉虞合三）.

梗　摄

	庚開	梗開	映開	陌開
幫			方孟　榜	

滂 明	普彭 泙[1)] 莫衡 蝨 武行 茴		補孟 榜 ◦広韻「貊」に作る	普白 拍 浦百 漠[2)] 普格 △拍 亡百 泊[3)] 莫白 貉 音陌 ◦貊
徹 澄	丑庚 ◦瞠[4)] 宅庚 棖 直庚 ◦撐	◦広韻「瞠」に作る ◦広韻「撐」に作る	恥孟 掌[5)]	
莊 初 崇 生	义行 鎗 士庚 錚[8)]		＊上字を「祖」に作るが誤字と認めそを改む.	阻格 迮 ＊咋[6)] 詐白 齰[7)] 仕白 咋 士白 齰 助格 岝 所白 索
見 溪	工衡 更 古衡 更 苦庚 阬	古杏 梗		音格 骼[2(^1)] 矐[9)]

疑			○広韻「峇」に作る	五格 °嶺
匣	胡庚 行 2 音行 ^珩		下孟 行	胡格 輅[10]

	耕開	耿開	諍開	麥開
幫	甫耕 抨[11]		波諍 迸	補革 擘
滂	普耕 鄸[12] 小并[13] {軯} {駢} 砯 普萌 漰 {駢} 2 磅[14] 怖萌 磅[15] 披萌 砯 芳耕 革[16] 軿[17] 芳宏 °磄[18]	○広韻「磅」に作る		
並	薄萌 輣			房隔 薄[19]
明	莫耕 暝[20] 蓂[21]	莫耿 黽		莫革 脈 音脉 霹

来	力耕 琅[22] 崢[23] 力萌 輳[24] 力莖 聆[25]			
澄	直耕 瞪 除耕 橙			丈厄 謫[26]
初 崇 生	乂耕 錚 士耕 崝			楚責 冊 助革 蕀[27] 所隔 槭[28]
見 溪 匣	口耕 硎[29] 苦耕 鏗		◦広韻「軏」に作る	居責 檡 宏麥 嚄[30] 音核 濡 於責 搤 於革 軛 音厄 搤

	庚合	梗合	映合	陌合
見		古猛 礦		

曉	呼横 諻	*獷 3	*胡刻本，尤本共に上字を「子」に作る（92下9例）が誤字と認め文を改む．呼．古猛切（同義）．	
	呼盲 謦			
匣	音横 衡[31]	胡冷 倖[32]	胡孟 横	
	揘[33]			
影				於白 擭
于			于孟 横[34]	

	耕合	耿合	諍合	麥合
滂				普麥 擴
曉	呼萌 鞲			呼麥 繣 2
	鍧			
	呼宏 謦[35]			
	火宏 訇			
	°砊[36]	°広韻「砊」に作る		
	°嶸[37]	°広韻「謦」に作る		
匣	胡萌 嶸			胡麥 檴
	紘			音畫 嬇 2
	侯萌 耾			
	音宏 浤			
	嶸			
	濙			

影	吆 鐄[38] 烏宏 {霐}			

(1) 泙 (司馬彪曰…泙漫名也 506上20) 〔広〕符兵切 (並庚開三) 水名説文谷也. →3·1·2·1·2

(2) 漠 (説文曰漠岫竹密貌 250上13) 〔広〕莫各切 (明鐸開一).

(3) 泊 (説文曰漠岫竹密貌 250上13) 〔広〕傍各切 (並鐸開一).

(4) 瞫 (字林曰瞫直視貌蒼頡篇曰瞫直下視貌 259下10) 〔広〕「瞫」除更切 (澄映開二)。* 瞠 〔広〕丑庚切 (徹庚開二). cf.『集韻』.

(5) 掌 (掌柱也 174上16) 〔広〕他孟切 (透映開二) 邪柱也. → 3·1·1·2·2

(6) 咋 (本文:譊譊讙咋異端斯起 762上18) 〔広〕鉏陌切 (崇陌開二) 吠咋多聲…,側革切 (莊麥開二) 大聲, 側駕切 (莊禡開二) 咋語聲. → 3·1·2·1·10

(7) 齰 (張揖曰囊積簡齰也 124上14) 〔広〕鉏陌切 (崇陌開二) 同齰. → 3·1·2·1·10

(8) 錚 (説文曰錚金聲 256上14) 〔広〕楚耕切 (初耕開二) 金聲. → 3·1·2·1·11, 3·2·2·2·2

(9) 矐 (本文:奉帝矐其目使擊筑 161上4) 〔広〕虛郭切 (曉鐸合一) 又呵各切 (曉鐸開一).

(10) 輅 (漢書音義應劭曰輅謂以木當胷以輓輦也 38下13) 〔広〕洛故切 (来暮合一)。* 輅 〔広〕胡格切 (匣陌開二).

(11) 抨 (抨使也 224下20) 〔広〕普耕切 (滂耕開二)。* 拼 〔広〕北萌切 (幫耕合二).

(12) 鄭 (本文:鄭琅磊落駢田磅礴 〔注〕衆聲宏大四布之貌 257下9) 〔広〕敷空切 (滂東開三).

(13) 㽔 (廣雅曰㽔抗慨也 395下7) 〔広〕撫庚切 (滂庚開二) 滿也. → 3·2·2·2·2

(14) 磅 (司馬彪曰砰磅訇礚皆水聲也 127上3) 〔広〕撫庚切 (滂庚開二) 小石落聲. →3·2·2·2·2

(15) 磅 (磅礚雷霆之音如天之威怒 49上9) 〔広〕cf. (14). → 3·2·2·2·2

(16) 苹 (苹縈迴旋之貌 255下20) 〔広〕符兵切 (並庚開二) 葭一曰蒲白… . → 3·1·2·1·2

(17) 輧 (本文:奮隼歸鳧沸卉輧訇 45上10) 〔広〕部田切 (並先開四) 又薄經切 (並青開四).

(18) 磞 (本文:磞磕震隱 269上8) 〔広〕「磅」cf. (14). → 3·2·2·2·2

(19) 薄 (説文曰薄櫨柱上枅也 116下18) 〔広〕傍各切 (並鐸開一)。* 櫥 〔広〕蒲革切 (並麥開二). cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(20) 瞑 (本文:屹鏗瞑以勿罔 174上2) 〔広〕莫經切 (明青開四) 又莫賢切、莫甸切.

(21) 瞢 (瞢視不審諦也 252上1) 〔広〕莫中切 (明東開三) 又莫鳳切、武登切.

(22) 琅 (本文:鄭琅磊落駢田磅礴 〔注〕衆聲宏大四布之貌 257下9) 〔広〕魯當切 (来唐開一).

(23) 崢 (郭璞方言注曰崢嶸高峻也 27下17) 〔広〕助庚切 (崇庚開二) 又士耕切 (崇耕開二).

(24) 輟 （ 輟鞠大聲也 257上7 ）〔広〕魯登切（来登開一）.
(25) 聆 （ 本文：驥馹聆磕 135下12 ）〔広〕郎丁切（来青開四）.
(26) 譎 （ 通俗文曰罰罪曰譎 723上3 ）〔広〕陟革切（知麥開二）責也… . → 3·1·2·1·9
(27) 剪 （ 左氏傳…季剪因之 405下17 ）〔広〕阻力切（莊職開二）又士力切（崇職開二）.
(28) 槭 （ 槭枝空之貌 197下2 ）〔広〕子六切（精屋開四）.
(29) 硎 （ 本文：左稱鑾碕右號臨硎 90上10 ）〔広〕客庚切（溪庚開二）同阬, → 3·2·2·2·2
(30) 嚄 （ 聲類曰嚄大喚也…獲與嚄古字通 196上20 ）〔広〕胡伯切（匣陌合二）。* 獲 〔広〕胡麥切（匣麥合二）.
(31) 衡 （ 本文：…其外連衡 721上14 ）〔広〕户庚切（匣庚開二）。* 横 cf. 朱駿声『説文通訓定声』.
(32) 倖 （ 倖引也 223上2 ）〔広〕胡耿切（匣耿開二）僥倖. → 3·2·2·2·2
(33) 揘 （ 本文：竿殳之所揘畢 46下6 ）〔広〕永兵切（于庚合三）拔也, → 3·1·1·3
(34) 横 （ 横瀆旁決貌 257上13 ）〔広〕户孟切（匣映合二）非理來, 又音宏. → 3·1·1·3
(35) 嚶 （ 聲類曰嚶音大也 29下8 ）〔広〕虎横切（暁庚合二）嚶嚶小聲. → 3·2·2·2·2
(36) 硡 （ 本文：鼓鞞硡隱以砰磕 120上8 ）〔広〕「硡」户萌切（匣耕合二）噌吰鐘音. → 3·1·2·1·8
(37) 嶸 （ 嶸聲也 271上10 ）〔広〕「嶸」cf. (35). → 3·2·2·2·2
(38) 鐄 （ 本文：錚鐄嶸嗃 256上14 ）〔広〕户盲切（匣庚合二）大鐘. → 3·2·2·2·2

咸　　摂

	咸	豏	陷	洽
定	杜咸 °霮[1]	音湛 {嗿}	°広韻「霮」に作る	
初 崇	士咸 灒[2] *嶄[3] 仕咸 鏨 音讒 鬼	士減 灒 *胡刻本, 尤本共に上字を「七」に作る(29上2例)が誤字と認めこれを改む		初洽 扱
見	古咸 緘			古洽 袷 俠[4]

溪	五咸 品2	胡黯 檻[5]		苦洽 掐
疑		於減 黯		於洽 圔
匣				
影				

	銜	檻	鑑	狎
知				智甲 柙[6]
澄			○広韻「喋」に作る	丈甲 °嗜
初	*仕銜 獑	＊胡刻本、尤本共に「在」に作るが誤写と認め之を改む		楚甲 插[7]
崇	士銜 攙[8]		○広韻「鰈」に作る	士甲 獵[9]
生				助甲 °鰈[10]
				所甲 °唼
見				音押 {鉀}
溪	口銜 嵌[11] 2		○広韻「硤」に作る	古押 °岬
晓	去嚴 儉[12]			呼甲 呷
				火甲 呷
			＊胡克家『文選考異』：案呀當作呼	*呀甲 △呷
匣				胡甲 柙
				狎

影				於甲 雹[13] 挹[14]

(1) 霾（本文：雲覆霾霧 176上16）〔広〕「霾」徒感切（定感開一）.

(2) 澹（澹穴注陳穴也 255下19）〔広〕士減切（崇豏開二）.

(3) 嶄（嶄巖高峻之貌也 29上2，本文：嶄巖以嵒齬 42下1）〔広〕鉏銜切（崇銜開二），士減切（崇豏開二）又士咸切．又音下字「咸」について：cf. 周祖謨『廣韻校勘記』．→ 3·2·2·2·3

(4) 俠（本文：列寺七里俠棟陽路 90下1）〔広〕胡頰切（匣怗開四）。* 夾〔広〕古洽切（見洽開二）．cf.『正字通』.

(5) 檻（王逸楚辭曰檻楯也 27下4）〔広〕胡黯切（匣檻開二）．闌也 説文曰 櫳也一曰圈．→ 3·2·2·2·3

(6) 柙（劉逵吳都賦注曰柙香木也 71上10）〔広〕胡甲切（匣狎開二）.

(7) 插（鄭玄曰搢插也 495下9）〔広〕楚洽切（初洽開二）刺入．→ 3·2·2·2·3

(8) 擪（擪捕賈刺之 46下7）〔広〕士咸切（崇咸開二）刺也…．→ 3·2·2·2·3

(9) 獵（本文：琢琱狎獵金銀琳琅 73上7）〔広〕良涉切（来葉開三）.

(10) 鰈（鯉鰈裝飾重疊貌 265下20）〔広〕「鰈」吐盍切（透盍開一）.

(11) 嶔（嶔岩深貌也 115下12，巖岸側嶔巖之處也 137上8）〔広〕去金切（溪侵開三）。* 嵌〔広〕口銜切（溪銜開二）.

(12) 厥（厥岸側空處也 192上2）〔広〕苦咸切（溪咸開二）山崖空穴間見．→ 3·2·2·2·3

(13) 雹（晉灼曰…雹散也 115上11）〔広〕丈甲切（澄狎開二）又蘇合切、之涉切、胡甲切.

(14) 挹（晉灼曰東夷傳肅慎今挹婁地是也 509上5）〔広〕伊入切（影緝開四）.

ⅢA 韻　類

止　摄

	支開	紙開	寘開	
幫甲乙	方 彌 梐		彼 寄 波	

滂甲		芳婢 △尨		
乙		丕蟻 披	披義 被[1]	
	芳皮 鈹			
	擺[2]			
並甲	婢移 裨	裨尓 髀[3]		
	△陴	音婢 埤		
	頻移 槌[4]			
乙	音皮 罷		皮義 被[2]	
明甲	音瀰 △罘	莫爾 瀰[5]		
乙	忙皮 縻	音靡 {嶘}		
	亡皮 靡[7]			
来	音離 纚[6]	力氏 邐		
	驪	纚[8]		
	麗	力爾 刓		
	灘	離[9]		
	音麗 °磨[10]	°広韻「磨」に作る		
	音离 麗			
知	竹施 胝[11]			
徹	敕知 摛			
	敕施 摛			
	敕離 摛			

澄 娘	螭 踟 褫 腸知 直示	直氏 °陁 直紙 °陁 音豸 [12] 旄 女氏 旄	◦広韻「陁」に作る	
精 清 從 心	子移 觜 疾移 呰[13] 賜移 澌[14]	子爾 呰 且爾 跐		
莊 初 生	史宜 [16] 2 [17] 灑 所宜 灑 灑	側倚 [15] 柴 初蟻 [15] 柴 所綺 [15] 縗 所氏 [15] 縗 師蟻 [15] 麗 所倚 [15] 灑 山綺 [15] 灑 山爾 [15] 灑 音屣 [15] 灑		
章	音支 [18] 豉 提	之氏 [18] 軹 音紙 [18] 抵 △抵		

		△軹		
昌	充支 眇	昌氏 夥[19]		
		音侈 哆		
書	式支 施	施紙 °弛	◦広韻「弛」に作る	
		詩紙 °弛	升豉 △翅	
		式氏 °陁	◦広韻「陁」に作る	
常	時移 提			
羊	音移 蛇3(△1)	弋爾 °陁[20]	盈豉 易	
	杪	施	弋豉 °貤	◦広韻「貤」に作る
		°袘施[21]	◦広韻「袘」に作る	
見甲		居紙 枳		
乙	居宜 奇	居蟻 掎		
		居綺 蟣[22]		
		△剞		
		記被 覊		
溪甲	丘知 敧		去豉 企	
乙	去奇 崎	音綺 崎2[23]		
	去皮 嗶[24]			
	丘宜 △崎			
羣甲	音祇 翅[25]			
乙	音奇 歧	其綺 倚[26]		
	巨宜 △魃			

疑乙	音儀 鷲	音蟻 °山義 齮 錡 2 △犧	°広韻「義」に作る	
曉乙	許宜 犧 音義 戲			
影乙	於宜 猗 於綺 猗 猗	於蟻 輢 一伎 輢		
于		于彼 葩[27]		

	脂開	旨開	至開	
幫甲			俾利 △痺[28]	
乙	°広韻「駜」に作る	音鄙 °駜[29]	音祕 泌 祕	
滂甲			普利 嚊 匹視 仳[30]	
乙	普悲 髭			
並甲	婢祇 槐 音毗 芘		扶至 比 2	
乙		貧美 埤[31]	扶祕 鼻	

明乙	靡飢 楣 音眉 蒲		蒲祕 糒	
来 日	力遲 徽[32] 音梨 弩[34]		音利 °鷍[33] 耳利 △耗[35]	○広韻「鷍」に作る
知 澄 娘	竹指 {樞} 竹尼 胝 竹遲 胝 直尸 蚳 丈夷 迟[36] 音尼 跜	音雉 △淫	竹利 躓 竹二 °轗 音致 躓 躔	○広韻「輊」に作る
精 清	子夷 粢 音資 齊[37]	音姊 梓[38]	音次 佽	
章 昌 常 羊	音祇 泜 音脂 泜 昌夷 °昏[40] 音夷 台[42]	音旨 △氐[39] ○広韻「眡」に作る 音視 △眡	音嗜 °耆[41] 弋示 易[43]	○広韻「耆」に作る

	鮐[44]		楊至 °棧[45]	°広韻「枻」に作る
見甲			居致 穊	
			羈致 覬	
乙			音冀 覬	
			音冀 忌[46]	
羣甲	渠祇 鬐			
乙	仇悲 馗	奇几 跽2		
疑乙	牛飢 狋			
	魚飢 °鬵[47]	°広韻「鬵」に作る		
曉乙			許備 屃	
			虛祕 °泗	°広韻「㴱」に作る
			許冀 唏[48]	
影甲	音伊 咿		因利 擨	

	之	止	志	
並乙	薄碁 離[49]			
来	力之 狸			
	犛			
	釐2			
	音貍 釐			
微			敕吏 眙2	

澄		直里　峙	佁	
精 從 心 邪	音茲　嵫 音磁　°鷀 音思　緦	°広韻「碁」に作る °広韻「鷲」に作る 思子　猥 音似　汜		
莊 崇	音菑　緇 {巿} 助緇　狋[50] 仕淄　漦	壯里　滓 音俟　騃 　　戺	側吏　剃	
章 昌 常 日 羊	音時　榯 音而　°轜 髓 鮞 臑[51] 音怡　詒	之以　沚 音止　待 °広韻「轜」に作る	昌志　△熾 時吏　蒔 上吏　蒔 人志　珥 　　佴	
羣乙	音其　騏		音忌　惎	

疑甲			五支 儗	
			魚里 儗	
乙	音疑 嶷			
曉甲			許支 °恤[52]	◦広韻「咽」に作る
乙	火其 熺			
	許其 嘻[53]			
	娛[54]			
	欣碁 譆			
	虛疑 熺			
	音熙 鶩[55]			

	支合	紙合	寘合	
来	力委 纍[56]		力瑞 累	
			音累 △漯[57]	
知	竹隨 箠			
澄			直瑞 腄	
精	子規 觜[58]			
初	楚危 衰	初委 揣		
		初毀 揣		
章	紙移 趨[59]	之瑞 △捶[60]		

常	音垂 倕			
日		而髓 蘂		
		忍[61]		
		如捶 ◦蘂	◦広韻「蘂」に作る	
羊	以規 蠵	爲詭 ◦鶯	◦広韻「鶯」に作る	
		以委 墮[62]		
見乙		君委 倭		
		居毀 垝		
溪甲	鈇規 窺	丘蘂 頍		
		空蘂 跬[63]		
		欺捶 奎[64]		
羣乙		渠委 跪		
		音跪 郤[65]		
疑甲		五累 娩		
曉甲	許規 隳			
	△睢			
乙	音麾 戲[66]	音燬 烜		
影乙	於危 倭	於詭 骫		
	蜲 2			
	猊[67]			
	於爲 倭			
	紆危 △蜲			

于			于偽 爲	

	脂合	旨合	至合	
並乙 明乙		平鄙 圯 房鄙 圯	莫愧 魅	
来	力追 纍 樏[68]	力水 藟 音壘 蠕	。広韻「猥」に作る	
澄	直追 椎		直類 墜	
精清 従心邪	相惟 菱	子水 嗺	七悴 綷[69] 音翠 萃[70] 音悴 頩 蘇類 彗[71] 詞醉 隧 音遂 隧 簪[72]	
崇		助軌 巂[73]		
常日	音*誰 脽 汝誰 蕤 2	* 胡刻本、尤本共に「雖」に作るが足利本に従い改む		

見乙	居逵 鰥[74]	音軌 匭	京媚 騩	
溪乙		羌軌 嵦[75]		
羣甲		求癸 △揆	其翠 揆	
			渠季 悸	
乙	音逵 騤			
	蹻			
	求悲 跰			
疑乙		五軌 巍[76]		
曉甲	許惟 睢 2			
	火隹 睢			
匣乙		胡軌 痏[77]		
		乎軌 鮪[78]		
于		于軌 洧		
		爲[79]		
		爲軌 痏		

(1) 被（本文：張甲乙而襲翠被 48下11）〔広〕平義切（並寘開三）又皮彼切。* 帔〔広〕披義切（滂寘開三）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(2) 擺（擺謂破磔懸之 47下6）〔広〕北買切（幫蟹開二）.

(3) 髀（説文曰髀股外也 506上6）〔広〕傍禮切（並薺開四）髀股，并弭切（幫紙開四）股也 → 3·2·2·6·1

(4) 槐（説文曰槐柜奉名屋縣聯 179上19）〔広〕房脂切（並脂開四）楣. → 3·2·2·4·1

(5) 瀰（瀰彎按行貌 136上13）〔広〕武移切（明支開四）。* 弭〔広〕綿婢切（明紙開四）.

(6) 纚（綝纚盛貌 225上14）〔広〕所綺切（生紙開二）.

(7) 靡（説文曰靡爛也…靡與糜古字通也 641上19）〔広〕文彼切（明紙開三）。* 糜〔広〕

靡爲切（明支開三）.

(8) 纚（纚相連之貌 177下19）〔広〕cf.(6).

(9) 離（離靡離而邪靡不絶之貌也 128上8）〔広〕呂支切（来支開三）又力智切（来寘開三）, 郎計切（来霽開四）.

(10) 麾（呂氏春秋曰…於是翦其髮麾其手… 610下1）〔広〕「麾」莫婆切（明戈合一）又模臥切.

(11) 胝（郭璞三蒼解詁曰胝躪也 637下4）〔広〕丁尼切（知脂開四）皮厚也…. → 3·2·2·4·1

(12) 㡿（本文：柴㡿參差 115上4）〔広〕息移切（心支開四）.

(13) 呰（本文：呰孝元於渭瑩 162下6）〔広〕將此切（精紙開四）口毀説文苛也. → 3·1·2·1·5

(14) 澌（字書曰澌水索也 637下1）〔広〕斯義切（心寘開四）.

(15) 柴（張揖上林賦注曰柴㡿不齊也 115上4）〔広〕士佳切（崇佳開二）.

(16) 灑（離灑鏤鏤之貌 250下1, 張揖曰灑分也 637下2）〔広〕所綺切（生紙開二）又所寄切（生寘開二）, 所蟹切, 砂下切.

(17) 纚（灑摩袴纚龍輸下垂之貌也 115上10）〔広〕cf.(6).

(18) 抵（説文曰抵側聲也 643下12）〔広〕都禮切（端薺開四）. * 抵〔広〕諸氏切（章紙開三）, cf.『集韻』.

(19) 㐱（本文：心㐱體怵 37上13）〔広〕陟加切（知麻開二）又陟駕切. * 侈〔広〕尺氏切（昌紙開三）, cf.『声類』.

(20) 陁（司馬彪曰陁靡邪靡也 123上8）〔広〕「陁」池爾切（澄紙開三）又施是切.

(21) 施（封巒觀施靡相連貌也 115下14）〔広〕式支切（書支開三）又施智切.

(22) 蟣（本文：鞮鍪生蟣蝨 140下3）〔広〕居稀切（見尾開三）蟣蝨. → 3·2·2·4·4

(23) 崎（崎嶇危嶮貌 174上19, 崎錡不安貌 247上6）〔広〕去奇切（溪支開三）又渠希切.

(24) 嗎（通俗文曰嗎口不正也 765上4）〔広〕許爲切（暁支合三）.

(25) 眡（本文：眡眡精衛 109下16）〔広〕施智切（書寘開三）, 同翅.（『広韻』に見えない又音）.

(26) 倚（還倚一高一下一屈一直也 42上11）〔広〕於綺切（影紙開三）又於義切.

(27) 葩（本文：若象葩數榮曜 263下16）〔広〕普巴切（滂麻開二）.

(28) 痺（説文曰濕病也 613下17）〔広〕府移切（幫支開四）.

(29) 駏（薛君韓詩章句曰趨曰駏 44上17）〔広〕「駏」敷悲切（滂脂開三）.

(30) 仳（毛萇曰仳別也 371上5）〔広〕匹婢切（滂紙開四）仳離別之意. → 3·2·2·4·1

(31) 埤（鄭玄周禮注曰埤短也…與庳古字通 145下2）〔広〕符支切（並支開四）又音婢（並紙開四）附也增也. * 庳〔広〕便俾切（並紙開四）下也或作埤…. → 3·2·2·4·1

(32) 黴（皯黴黑也 479上7）〔広〕武悲切（明脂開三）黴蠶蚰腐皃…

(33) 鸍（爾雅曰倉庚黄鸍也 227下14）〔広〕「鸍」呂支切（来支開三）同鸝. → 3·2·2·4·1

(34) 蓼（本文：蓼櫟銚憧〔注〕皆分別節制之貌 258下14）〔広〕里之切（来之開三）剥也 →

3·2·2·4·3

(35) 耗 (耗與葦皆草花也 191下15) 〔広〕仍吏切 (日志開三) 鬱耗羽毛飾也 → 3·2·2·4·3

(36) 迟 (辽迟即棲遲也 118下11) 〔広〕奴計切 (泥霽開四)。*遲 〔広〕直尼切 (澄脂開三). cf. 『玉篇』.

(37) 齊 (毛萇詩傳曰器實曰齊 121下19) 〔広〕徂奚切 (從齊開四) 又在詣切 (從霽開四).

(38) 梓 (梓如果而小 44下2) 〔広〕即里切 (精止開四). 木名楸屬. → 3·2·2·4·3

(39) 氐 (本文: 作者大氐舉爲憲章 76上7) 〔広〕丁尼切 (知脂開四) 又都奚切.

(40) 眥 (眥視 256上8) 〔広〕是支切 (常支開三) 又常利切 (常至開三).

(41) 耆 (本文: 騁耆奔欲 〔注〕善曰言各隨其耆欲而奔騁也 135下15) 〔広〕「耆」渠脂切 (羣脂開三). *嗜 cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(42) 台 (爾雅曰台我也 221下7) 〔広〕與之切 (羊之開四) 我也… . → 3·2·2·4·3

(43) 易 (閭易衣長大貌也 132上6) 〔広〕以豉切 (羊寘開四) 難易也簡易也…. → 3·2·2·4·1

(44) 鮐 (本文: 鯸鮐 86上3) 〔広〕土來切 (透咍開一).

(45) 棧 (善曰棧女鼓棧之女. 漢書音義韋昭曰棧揖也 48上6) 〔広〕「木世」餘制切 (于祭開三). → 3·2·2·5·4

(46) 忌 (毛萇曰…忌辭也 254下12) 〔広〕忌諱又畏也… . → 3·1·2·1·7, 3·2·2·4·3

(47) 臀 (本文: 兀臀狋臀 255下11) 〔広〕「臀」語其切 (疑之開三) 臀臀獸角皃. → 3·2·2·4·3

(48) 唏 (王逸楚辭注曰歔欷唏皃方言曰哀而不泣曰欷 487上16) 〔広〕許既切 (曉未開三) 唏也. → 3·2·2·4·5

(49) 離 (本文: 輪囷離奇 〔注〕委曲盤戾也 559下16) 〔広〕cf. (9).

(50) 狋 (本文: 兀臀狋臀 〔注〕嵰峻之貌 255下11) 〔広〕牛肌切 (疑脂開三) 又巨負切.

(51) 臑 (方言曰臑熟也 489上6) 〔広〕人朱切 (日虞合三)。* 臑 〔広〕如之切 (日之開三).

(52) 㣊 (小㣊息也 221下15) 〔広〕「㣊」虛器切 (曉至開三) 息也…. (『広韻』に見えない又音).

(53) 唉 (方言曰唉歎辭也 280下6) 〔広〕烏開切 (影咍開一) 又於其切. 於駭切。* 誒 〔広〕許其切 (曉之開三). cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(54) 娛 (説文曰娛戲也 129下20) 〔広〕遇俱切 (疑虞合三) 又五故切。*戲? 〔広〕許羈切 (曉支開三). → 3·2·2·4·2

(55) 釐 (服虔曰釐福也 117上17) 〔広〕里之切 (来之開三)。*禧 〔広〕許其切 (曉之開三). cf. 『集韻』.

(56) 纍 (本文: 木擁擁纍以爲儲胥 139下18) 〔広〕力追切 (来脂合三) 纍索也…. → 3·2·2·4·1

(57) 漯 (滀漯攢聚貌 185上9) 〔広〕他合切 (透合開一).

(58) 眥 (本文: 摸蟘瑁捫眥螞 95上7) 〔広〕即移切 (精支開四) 又姊宜切. 即委切.

(59) 趨 (廣雅曰趨多也 178下9) 〔広〕七逾切 (清虞合四).

(60) 捶（李顒莊子音義曰捶排口鐵以灼火也 771上10）〔広〕之累切（章紙合三）.

(61) 䓖（字書曰藥垂也謂垂下也䓖與藥同 112上18）〔広〕姊宜切（精支開四）又才捶切、蘇果切。＊藥〔広〕如累切（日紙合三）.

(62) 壝（鄭玄曰…壝謂壇及墠埒也 119上4）〔広〕以水切（羊旨合四）埒也.…→3·2·2·4·1

(63) 跬（如淳曰跬以一足行爲 370下10）〔広〕丘弭切（溪紙開四）舉一足 → 3·2·2·7

(64) 奎（奎蹏開足也 47上5）〔広〕苦圭切（溪齊合四）。＊蹏〔広〕丘弭切（溪紙開四）. cf.『集韻』.

(65) 郎（山海經曰陸郎之山其下多垩若之山其上多赭 70下5）〔広〕壓軌切（羣旨合三）山名, 過委切（見紙合三）陸郎山名出山海經. → 3·2·2·4·1

(66) 戲（本文:戲八鎮而開關 135下3）〔広〕許羈切（曉支開三）。＊麾?

(67) 猊（猶猊柔弱下垂貌 271下6）〔広〕女氏切（娘紙開三）.

(68) 樏（孔安國曰所載者四謂水乘舟陸乘車泥乘輴山乘樏 323下3）〔広〕力委切（來紙合三）又音縲

(69) 綷（本文:綃紈綷縩 119下16）〔広〕子對切（精隊合一）.

(70) 萃（萃萃衣聲也 124上18）〔広〕秦醉切（從至合四）集也聚也. → 3·1·2·1·6

(71) 彗（說文曰…又曰彗掃竹也 32下9）〔広〕徐醉切（邪至合四）又祥歲切. 于歲切.

(72) 篲（如淳曰若以篲掃於汜灑之處也 671下12）〔広〕祥歲切（邪祭合四）掃帚爾雅曰箭王篲… → 3·2·2·5·4

(73) 巋（本文:巋巋穹崇〔注〕皆峻嶮之貌 176上12）〔広〕徂累切（從旨合四）巋巋山皃 → 3·1·1·2·4

(74) 鰣（山海經曰鰣其狀如鰣 190上2）〔広〕居衛切（見祭合三）魚名…. → 3·2·2·5·4

(75) 嵬（本文:嵬巍壘嵍〔注〕皆高峻之貌 173上7）〔広〕五罪切（疑賄合一）又五灰切.

(76) 巍（本文:嵬巍壘嵍〔注〕皆高峻之貌 173上7）〔広〕語韋切（疑微合三）高大皃. → 3·2·2·4·5

(77) 痏（蒼頡曰痏毆傷也 43下19）〔広〕榮美切（于旨合三）瘡痏. → 3·1·1·3

(78) 鮪（毛萇詩傳曰鮪似鮎 45上4）〔広〕榮美切（于旨合三）魚名. → 3·1·1·3

(79) 寪（崎嶇開寪險阻儘也 486上6）〔広〕韋委切（于紙合三）說文云屋皃. → 3·2·2·4·1

蟹　　摂

			祭開	
滂乙			匹曳　滭	

			擎[1] 匹洩 瞥[2]	
来			力制 °列	°広韻「帢」に作る
徹 澄			耻曳 跇 丑世 傺 直制 滯 直例 △墀[3] 音滯 墀[4]	
清			千例 瞕[5] 七例 瞕[6]	
生			所例 鎩 山例 鎩	
章 昌 常 羊			之逝 晰 2 °晰 之曳 {晰} 充制 △掣 音誓 噬 2 音逝 △遞[7] 弋制 跇 音裔 潃	°広韻「晳」に作る

			枻	
溪乙 影甲 于			音憩 偈[8] 猗例 瘞 音曳 絏[9] °栧	°広韻「枻」に作る

			祭合	
知			知衛 畷 張衛 輟	
清			清歲 脆	
章 日 羊			之銳 贅 2 昌芮 膬[10] 充芮 毳[11] 失銳 稅 而銳 芮 °蚋 以稅 蕊	°広韻「蚋」に作る
見乙 于			居衛 蹶 厭[12] 音衛 °轗	°広韻「喜」に作る

(1) 擎（漂擎餘響少騰相擊之貌 252上12）〔広〕普蔑切（滂屑開四）.

(2) 瞥（瞥栽見也 220上6）〔広〕普蔑切（滂屑開四）又芳滅切（滂薛開四）.

(3) 墿（墿貯也 80下6）〔広〕特計切（定霽開四）墿貯也…. → 3·1·1·2·3, 3·2·2·6·3

(4) 墿（本文：賓幏積墿 106上2）〔広〕cf.(3). → 3·1·1·2·3, 3·2·2·6·3

(5) 瞕（説文曰瞕察也 102下20）〔広〕七計切（清霽開四）視也. → 3·2·2·6·3

(6) 瞕（瞕察也 263下13）〔広〕cf.(5). → 3·2·2·6·3

(7) 遞（鄭玄春秋緯注曰遞去也 825上1）〔広〕徒禮切（定薺開四）又特計切（定霽開四）。* 逝 cf.『集韻』.

(8) 偈（韋昭曰偈息也 118上18）〔広〕其憩切（羣祭開三）又渠列切。* 憩.

(9) 緶（緶袖也 132上5）〔広〕私列切（心薛開四）。* 袂 〔広〕餘制切（羊祭開三）. cf.『集韻』.

(10) 臘（説文曰臘腴易破也 487下6）〔広〕此芮切（清祭合四）.

(11) 竁（本文：月竁來賓 396下15）〔広〕楚税切（初祭合二）又此芮切, 尺銳切.

(12) 蹶（廣雅曰蹶踶跳也 28下14）〔広〕其月切（羣月合三）又音厥。* 蹶 〔広〕居衛切. cf.『集韻』.

臻　摂

	真開臻	軫開	震開	質開櫛
幫甲				音畢　畢
乙	方珉　彬			音筆　必
	方旻　邠			畢[1]
滂甲	疋人　{賓}			音匹　△鶉
	匹人　繽			
並甲				步必　郁
				扶必　埤
				頻一　佖
明甲				亡必　汐

乙	貧 罠 無 旻 罠 音 閩			汐[2] 亡 筆 蓋 音 密 謐[3] △滵
来	神 璘 力 辰 瞵 力 鄰 嶙 音 轔	怜 軫 轔[4] 栗 忍 轔[5]	力 振 °躪 力 刃 撊 。広韻「躪」に作る	理 吉 慄 音 栗 慄
知 徹 澄	丑 珍 獵 勑 陳 {獵}	勑 忍 {鼲} 直 軫 朕[6]	。広韻「座」に作る	竹 栗 窒 座 張 栗 °座 丑 乙 挾
精 從 心 邪	音 津 瑨[7]		音 晉 {瞬} 在 進 藎[8] 自 吝 △燼[9] 音 信 迅 似 進 燼	
莊 初	側 鄰 △榛		楚 鎮 櫬	音 櫛 節 楚 乙 泐[10]

崇生	人仕 巾所 陳使 榛[11] 莘3 詵			乙所 蝨
章	人之 真音 震[12] 甄 振	賑之 鬢 忍 真之 忍 引 畛 畛	倀之 刃	一之 栗之 質音 蛭 桎 晊 郅 鑕
昌書常	鄰尺 神音 辰音 瞋 魁[13] 宸2 椹	蜃音 腎音 蜃音 引	眒式 刃 軔如弋 振 刃 演[14]	逸而 質餘 日余 日 軼 軼 {昳}
見甲 溪甲 羣乙	貧巨 困 菌[15] 旻其 菌[16]			吉音 質去 桔 詰

疑乙 曉甲 影甲 乙 于	巨巾 槿[17] 其殪 △菌 音銀 圄 於申 茵 音因 閨2(△1) 媚 {緷}		魚覲 愁 於瑾 隱[19]	牛乙 耴 許一 肸[18] 于筆 汨4 畢[20] 于密 汨 爲畢 汨[21]

	真合諄	軫合準	震合稕	質合術
来	音倫 輪 *山侖[22]	*胡刻本、尤本共に「倫」に作るが正文に従い改む		
知 徹	敕倫 柶			張律 遝 音黜 怵
精 從	子旬 噂			情律 崒

心	音苟　郇		思俊　鷄 峻	慈恤　崒[23] 材律　踤 音崒　踤 音郵　戌 音戌　珹 　　沐[24] 音旬　峋[25]
章 昌 書 羊	之純　諄 之倫　窀[26] 以純　畇	之允　純 充尹　倩	尸閏　瞬	以出　鬲
見甲 溪甲 乙 羣甲 乙	音均　袀 去倫　囷 　　菌[27]	丘隕　△麕[28] 求隕　菌 求殞　窘 　　儒		其出　△獨[29]

疑乙 曉甲		五隕　頵[30]		呼橘｛馘｝ 許律　欻[31]
影乙 于	於旻　奫 于貧　筠			

(1) 畢（揑畢謂揑拯也 46下6）〔広〕畢吉切（幫質開四）.

(2) 沕（顔師古曰沕穆微深也 203上10）〔広〕文弗切（明物合三）沕穆微也.

(3) 謐（爾雅曰謐靜也 108下19）〔広〕彌畢切（明質開四）靜也慎也安也.

(4) 轔（本文：崒隱轔鬱律〔注〕山形容也 38上9）〔広〕力珍切（来真開三）又良刃切.

(5) 轔（本文：振殷轔而軍裝 114下16）〔広〕cf.(4).

(6) 朕（許慎曰朕兆也 100下18）〔広〕直稔切（澄寝開三）.

(7) 瑨（張璠漢記曰南陽太守弘農成瑨… 377下15）〔広〕即刃切（精震開四）.

(8) 藎（方言曰燼餘也藎與燼同 257下12）〔広〕徐刃切（邪震開四）進也…. cf. 燼〔広〕徐刃切，燭餘. → 3·1·1·1

(9) 濜（水經注曰濜水出襄鄉縣東北陽中山 71下9）〔広〕徐刃切（邪震開四）水名. → 3·1·1·1

(10) 沕（沕摩也 186上3）〔広〕千結切（清屑開四）.

(11) 榛（張揖曰殊榛異枅也 129下16）〔広〕側詵切（莊臻開二）。* 蓁〔広〕士臻切（崇臻開二）.

(12) 震（震震爚爚光明貌也 28下2）〔広〕章刃切（章震開三）.

(13) 魋（山海經曰青要之山魋武羅司之 107上17）〔広〕失人切（書真開三）。* 神. cf. 段玉裁『説文解字段氏注』.

(14) 演（説文曰…又曰演水脈 189上17）〔広〕以淺切（羊獮開四）。* 瀇〔広〕羊晉切（羊震開四）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(15) 菌（本文：崙菌蹤嶱〔注〕皆特起之貌 176上15）〔広〕渠殞切（羣軫合三）又求晚切.

(16) 菌（本文：錄質輪菌 178上18）〔広〕cf.(15).

(17) 槿（爾雅曰棘戟也言鋤柄及戟槿也 723上2）〔広〕居隱切（見隱開三）.

(18) 肸（説文曰肸蠁布也 116下20）〔広〕義乙切（曉質開三）肸蠁….

(19) 隱（服虔漢書注曰隱築也 496上9）〔広〕於謹切（影隱開三）藏也痛也…，於靳切

（影燉開三）隈隱之皃．→ 3·2·2·5·2

(20) 畢（ 揑畢謂撞拯也 46下6 ）〔広〕cf.(1).

(21) 汨（ 方言曰汨疾貌也 491下11 ）〔広〕于筆切（于質開三）説文曰水流也.

(22) 崘（ 本文：崘菌踡嵯〔注〕皆特起之貌 176上15 ）〔広〕盧昆切（来魂合一）.

(23) 崒（ 爾雅曰崒者厓巖也 27下17 ）〔広〕昨没切（從没合一）。* 崒〔広〕慈卹切（從術合四）. cf.『字彙』.

(24) 怵（ 孟康曰怵爲利所誘怵也 204上12 ）〔広〕丑律切（徹術合三）。* 訹〔広〕辛聿切（心術合四）. cf.『集韻』.

(25) 峋（ 埤蒼曰岭嶙峋深無厓之貌 118下7 ）〔広〕相倫切（心諄合四）.嶙峋.

(26) 窀（ 杜預曰窀厚也穿夜也厚夜長夜謂葬埋也 813下17 ）〔広〕陟綸切（知諄合三）.

(27) 菌（ 本文：瞋菌碨抉〔注〕皆衆聲鬱積競出之貌 257下8 ）〔広〕cf.(15).

(28) 麕（ 杜預麕群也 296下3 ）〔広〕居筠切（見真合三）.

(29) 獗（ 獗狂惡戾之鬼也 64下5 ）〔広〕沉必切（曉質開四）狂也.

(30) 顓（ 説文曰顓頭落也 255下10 ）〔広〕居筠切（見真合三）又於倫切.

(31) 欻（ 欻之言忽也 49上11 ）〔広〕許勿切（曉物合三）.

山　　摂

	仙開	獮開	線開	薛開
幫甲 滂甲	必緜　扁[1] 音篇　扁2 {扁鳥}		○広韻「擊」に作る	裨列　憋 疋設　擊[2] 匹列　°撇[3] 孚説　瞥
並甲乙 明甲乙	鼻緜　楩 音緜　°瞵	扶緬　扁 ○広韻「瞵」に作る 音免　俛	音卞　抃	
来	音連　△鏈			音列　蛚

知	知連 鱣 張連 邅	張輦 展		竹劣 啜 陟劣 畷 豬劣 掇
徹		恥輦 寘[4]		敕列 哲
澄	除連 °廛 音°纏 澶	°広韻「廛」に作る °広韻「纏」に作る		
娘		女展 °蹍 2 輾[5] 女善 °赧[6]	°広韻「趁」に作る °広韻「赧」に作る	
精	音煎 湔	子踐 鑽[7] 音俴 淺[8]		
心	°胥連 △鱻 音仙 私	°広韻「胥」に作る	°広韻「緤」に作る	息列 △渫 音薛 °絏
崇		鐉勉 僝[9]		
生				山列 鎩[10]
章	之然 鸇			音折 浙
昌	昌延 燀			
書	舒連 挻 失然 埏 2 式延 {烻} 尸然 △羶		音扇 △煽	

常	市音 延音 鋋	時音 闡善 鱓	七 戰 衍[13] 4 延[14] 羨[15] 2 {烻}		
羊	音 延 狿	以 善 衍			
見 甲 乙	吉 然 甄			甄居丘丘巨渠音 熱竭列別列列竭 子偈[16] 甄[17] △揭揭揭揭揭[18]	
溪 甲 乙				魚 桀列 偈闌	
羣 甲 乙		牛 善 齜[19]	◦広韻「甓」に作る	魚 桀 ＊蠥	
疑 甲 乙		言 免 巘	＊胡克家『文選考異』案…當作甗…	魚 蹇 △＊巘	

匣甲 于			戶 徧 眩[20] 音 延 △涎	

	仙合	獮合	線合	霰合
幫甲 明甲		卑 緬 褊 亡 衍 緬	音 面 偭	
来	力 專 攣	音 臠 脣		
徹	敕 緣 猿 敕 員 猿 耻 傳 猿			
精 清 邪	 七 全 悛 銓 音 旋 還 運[22]	子 兖 臙 °臙 2 子 軟 僝[21] 似 兖 吮 辭 兖 吮	 °広韻「臙」に作る 徐 絢 縼	
崇 生			仕 眷 饌	所 劣 刷
章	音 專 篿			之 劣 悅

昌			齒掾 釧	穿劣 啜
				昌悅 歠 2
常	市專 △遄			
日	而緣 擩[23]	而兖 楔		
		如兖 楔		
		硬 2		
羊	音沿 允[24]		以絹 緣	音悅 說
	音緣 蝝			
溪乙	丘圓 卷[25]			
羣甲		其兖 圈		
乙	音拳 蜷	巨免 踡[26]		
	塊[27]			
	卷			
曉甲	音權 卷			
	呼緣 儇			
	翻			
影甲	音翻 嬛			
	於緣 蜎 2			
	一全 娟			
乙	於權 溱			
	於圓 嫚[28]			

(1) 扁 (楄附陽馬之短柄也 說文曰楄署也…扁與楄同 178下15)〔広〕薄泫切(並銑合四)又方典切(幫銑開四)、芳連切(滂仙開四)、符善切(並獮開四).

(2) 擊 (說文曰擊擊也 725下17)〔広〕普蔑切(滂屑開四)小擊…. → 3·2·2·6·3

(3) 撇 (張揖三蒼注曰撇拂也 116上15)〔広〕「擊」cf.(2). → 3·2·2·6·3

(4) 窴 (窴被聲緩也 258上9)〔広〕徒年切(定先開四)又堂練切.

(5) 輾 (郭璞曰…轢輾也 131上13)〔広〕女箭切(娘線開三)又知演切。*輾〔広〕尼展切(娘獮開三). cf.『集韻』.

(6) 被 (窴被聲緩也 258上9)〔広〕「被」奴板切(泥潸開二).

(7) 鑽 (本文:或鑽膚而鑽髮 111下14)〔広〕借官切(精桓合一)又子弄切。*翦〔広〕即淺切(精獮開四).

(8) 淺 (王逸曰淺淺流疾貌也 394上16)〔広〕則前切(精先開四)淺淺流疾貌也. → 3·2·2·6·3

(9) 俙 (說文曰俙具也 101上12)〔広〕士限切(崇產開二)。*僎〔広〕士免切(崇獮合二).

(10) 鏺 (說文曰鏺被有鐔也亦曰長刃矛刃之類也 752上6)〔広〕所八切(生黠開二)又所拜切. 所例切.

(11) 僤 (婉僤動貌也 128下15)〔広〕市連切(常仙開三)又徒旱切, 徒案切.

(12) 蟺 (本文:變化而蟺 203上9)〔広〕常演切(常獮開三)。*蟬. cf.『集韻』.

(13) 衍 (曼衍分布也 116下9, 司馬彪曰…宋衍衆下也 123上8, 禮記曰…曼衍邪聲也 140下15, 寨衍不平貌 263下6)〔広〕于線切(于線開三)又以淺切(羊獮開四). → 3·1·1·4 cf.『唐韻』予線切(羊線開四).

(14) 延 (本文:延曼太原 128上7)〔広〕于線切(于線開三). → 3·1·1·4 cf.『唐韻』予線切(羊線開四).

(15) 羨 (應劭曰…羨饒也 114下8, 本文:羨漫半散 135下14)〔広〕于線切(于線開三). → 3·1·1·4 cf.『唐韻』予線切(羊線開四),『広韻』羨. 以脂切. 又羊箭. 祥面二切.

(16) 偈 (韓詩曰偈桀傑也疾驅貌 270下13)〔広〕渠列切(羣薛開三)武也. → 3·1·2·1·7

(17) 甗 (爾雅曰康瓠謂之甗 848下16)〔広〕去例切(溪祭開三)爾雅曰康瓠謂之甗…, 又五計切.

(18) 場 (廣雅曰堰潛堰也謂潛築土以壅水也一作場 442下15)〔広〕烏葛切(影曷開一).

(19) 齞 (說文曰齞張口見齒也 274下9)〔広〕研峴切(疑銑開四)開口見齒. → 3·2·2·6·3

(20) 眩 (賈逵國語注曰眩惑也 310上19)〔広〕黃練切(匣霰合四)瞑眩…. → 3·2·2·6·3

(21) 偁 (說文曰…又曰偁取也 101上12)〔広〕士山切(崇山開二)又士戀切.

(22) 運 (王逸楚詞注曰運轉也 491上2) 〔広〕王問切 (于問合三)。* 旋?

(23) 擩 (擩揉也 122下4) 〔広〕如豆切 (況候開一) 又儒隹切、而主切、而遇切.

(24) 允 (震阮水經注曰允街谷水… 299下10) 〔広〕余準切 (羊準合四).

(25) 卷 (應劭曰卷故虢國今虢亭是也 148下9) 〔広〕居倦切 (見線合三) 又居轉切、巨員切、求晩切.

(26) 踡 (本文: 崙菌踡嵯 〔注〕皆高大之貌 176上15) 〔広〕巨員切 (羣仙合三).

(27) 埘 (埘垣圜貌 118下5) 〔広〕居轉切 (見獮合四).

(28) 嫚 (郭璞曰柔橈嫚嫚皆骨體柔弱長豔貌也 132上4) 〔広〕謾晏切 (明諫合二).

效　摄

	宵	小	笑	
幫甲	必遥 標	方眇 嶠	方妙 髟[1]	
	焱			
	熛 2			
	招[2]			
	焱[3]			
	方遥 瀟			
	俾姚 颮[4]			
	卑遥 △標			
乙	彼驕 鑣			
滂甲	匹遥 漂	芳眇 篠	芳妙 僄	
	杓		漂	
	匹昭 漂		匹妙 嫖	
	匹姚 漂		剽	
			○票[5]	○広韻「輿」に作る

並乙 明甲 乙	音苗　貓	皮表　麓[6] 亡小　眇 音眇　訬 3 杪 淼	妨妙　漂 音妙　眇[7]	
来		理紹　嫽 力小　瞭[7]	力笑　獠[8]	
徹	恥驕　柖 勑驕　*柖	*胡刻本、尤本共に「柖」に作るが誤字と認め文を改む		
精 清 心	音焦　鷦 思樵　綃 音消　綃	子小　𩿧力2(41) 焦[10] 七小　湫 悄	子肖　醮 子召　趭 子曜　醮 焦曜　醮 七笑　陗 2 七肖　峭	
章 書		之紹　昭[11]	音照　炤 失照　少	

常羊	以招音遥 褕銚鐎[12]	音紹餘眇 袑渙	音劭與照 召鷂	
見甲		居兆音矯 蟜蟜嶠[13]		
乙	舉喬 鷮			
溪甲	欺譙 猇[14]			
乙	綺驕 趫			
羣甲	綺嬌 趫	巨繞 虭[15]		
乙		其夭 蟜[16]	其廟 嶠	
疑乙		巨表 蟜[17]		
曉甲	呼朝 歊	魚夭 蓼[18]		
	許朝 °囂	°宏韻「蹻」に作る		
乙	許喬 獢			
	枵			
	許妖 藨			
	熇[19]			
影甲	於遥 么[20]		於妙 要	

			一笑 幼[21]	
			音要 幼[22]	
于	于妖 鴞			

(1) 髟 (髟長髦也 256上8) 〔広〕甫遥切 (幫宵開四) 髪長皃 …

(2) 招 (招揺猶彷徨也 118下11) 〔広〕止遥切 (章宵開三).

(3) 猋 (服虔甘泉賦注曰猋風也 226下12) 〔広〕以贍切 (羊豔開四) 又呼臭切 。 *猋 〔広〕甫遥切 (幫宵開四). cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(4) 飄 (飄飄紛紛衆多之貌也 28下9) 〔広〕匹角切 (滂覚開二) 又薄交切 (並肴開二). * 猋風 〔広〕甫遥切 (幫宵開四).

(5) 票 (票禽輕疾之禽也 141下19) 〔広〕撫招切 (滂宵開三). * 僄 〔広〕匹笑切 (滂笑開三). cf. 桂馥『説文解字義證』

(6) 蔦 (張揖曰…苞蔦也… 123上10) 〔広〕盧谷切 (来屋開一).

(7) 眇 (本文: 憎聞鄭衛幼眇之聲 140下15) 〔広〕亡沼切 (明小開四).

(8) 獠 (説文曰獠獵也 124下1) 〔広〕落蕭切 (来蕭開四) 夜獵也 … . → 3·2·2·6·4

(9) 瞭 (字林曰瞭明也 鄭玄周禮注曰瞭明目也 273下8) 〔広〕盧鳥切 (来篠開四). → 3·2·2·6·4

(10) 僬 (僬眇睢維目開合之貌 259下12) 〔広〕即消切 (精宵開四) 又子肖切 , 昨焦切 .

(11) 昭 (本文: 其光昭昭 179下7) 〔広〕止遥切 (章宵開三) 明也光也著也 …

(12) 鐎 (孟康曰以銅作鐎受一斗晝炊飲食夜擊持行名曰刁斗 311下5) 〔広〕即消切 (精宵開四) 刁斗也 … 又昨焦切 (從宵開四).

(13) 嶠 (王逸楚辭注曰嶠舉也 134上20) 〔広〕渠廟切 (羣笑開三) 又音喬 .

(14) 獟 (史記曰誅獟猘. 獟與趫同 43下9) 〔広〕五弔切 (疑嘯開四). * 趫 〔広〕起驕切 (溪宵開三).

(15) 蚪 (文字曰騰蟉蚪曲貌 174下14) 〔広〕渠幽切 (羣幽開四) 又居幽切 .

(16) 蟜 (夭蟜蠬拱長壯之貌 179上14) 〔広〕居夭切 (見小開四) 山海經云野人身有獸文…; 巨矯切 (羣宵開三) 驕也慢也 … . → 3·1·2·1·7

(17) 蟜 (夭蟜…特出之貌 174上17) 〔広〕 cf. (16). → 3·1·2·1·7

(18) 寥 (寂寥窲崢嶸皆幽深之貌 173下8) 〔広〕落蕭切 (来蕭開四) 又郎擊切 .

(19) 熇 (埤蒼曰熇熱貌 111下3) 〔広〕呼木切 (暁屋開一) 熱皃 , 又火酷切 , 呵各切 .

(20) 么 (説文曰么小也 248上6) 〔広〕於堯切 (影蕭開四) 幺麽小也 . → 3·2·2·6·4

(21) 幼（本文：憎聞鄭衛幼眇之聲 140下15）〔広〕伊謬切（影幼開四）.

(22) 幼（本文：聲幼妙而復揚 233下18）〔広〕cf. (21).

假　摂

	麻開	馬開	禡開	
精邪		子也　姐 2	辭夜　榭	
船			食夜　實	
羊	弋奢　邪 以奢　△枒[2]	弋舍　射[1]		

(1) 射（本文：其上則有…射干 123下4）〔広〕羊謝切（羊禡開四）又羊益切、神夜切、食亦切。＊野〔広〕羊者切（羊馬開四）.

(2) 枒（郭璞上林賦注曰楂枒似栟櫚椶也皮可以爲索 71上12）〔広〕五加切（疑麻開二）又吾駕切。＊蓉〔広〕以遮切（羊麻開四）.

梗　摂

	清開	靜開	勁開	昔開
幫	音并　△栟			必亦　簰 　　璧 甫亦　鰆[1] 賓亦　射[2]
滂	匹成　傳[3] 普楹　粃[4]			匹亦　辟 匹赤　僻

			○広韻「霹」に作る	敷赤 ○礔[5]
知 徹 澄	音貞 楨 池貞 {脭}			丑赤 彳
精 從	音精 婧 菁[2(A1)] 靖		才性 穽 財性 婧 音淨 靚	精亦 蹐
章 昌 書 羊	之成 鉦 餘征 桯[7] 音盈 贏 △瀛 音郢 楹		○広韻「蹐」に作る	之石 摭 蹠 音尺 斥 ○跖[6] 式亦 賜 舒亦 螫 音釋 蠚 夷石 液 音驛 澤[8]

影				音 益 嗌

	清合	静合	勁合	昔合
羊	役 瓊 營 音 營 塋			

	庚開	梗開	映開	陌開
幫 並	皮 兵 枰 馮[10] 音 平 苹	彼 皿 炳	皮 命 平[9]	
澄				馳 戟 躇[11]
見	音 京 鵾	君 影 璥	○広韻「據」に作る	京 逆 °躆[12]

	庚合	梗合	映合	陌合
羊		以 永 沇[13]		
見 影	音 英 霙	俱 永 囧 九 永 △憬		

于	音榮　瑩			

(1) 鰆（鰆鍇有横骨在鼻前如斤斧形東人謂斧斤之斤爲鰆故謂之鰆鍇魚… 86上3）〔広〕七雀切（清藥開三）魚名出東海，倉各切（清鐸開一）魚名.

(2) 射（本文：乘時射利 91上18）〔広〕羊謝切（羊禡開四）又羊益切、神夜切、食亦切.

(3) 俜（伶俜單子貌 238上18）〔広〕匹正切（滂勁開四）伶俜.

(4) 䏼（本文：容貌儡以頓顙今左右悽其相慼 240上1）〔広〕普丁切（滂青開四）.縹色.
→ 3·2·2·6·5

(5) 礔（本文：礔礰激而增響 49上9）〔広〕「霹」普擊切（滂錫開四）.霹靂 → 3·2·2·6·5

(6) 跅（本文：跅弛之士 508下13）〔広〕「跅」他各切（透鐸開一）跅弛不遵禮度之士.〈『広韻』に見えない又音〉か.

(7) 桯（鄭玄曰…狀如長狀罕桯… 812上20）〔広〕他丁切（透青開四）。＊楹〔広〕以成切（羊清開四）. cf.『集韻』.

(8) 澤（文穎曰闓澤皆樂也 690上2）〔広〕場伯切（澄陌開二）.

(9) 平（本文：廷尉平 229下12）〔広〕房連切（並仙開四）又符兵切（並庚開三）.

(10) 憑（憑依託也 37上13）〔広〕扶冰切（並蒸開三）憑託.

(11) 躊（說文曰躊躇住足也 242上17）〔広〕直炙切（澄昔開三）同躑躅. → 3·2·2·5·1

(12) 躆（徐廣史記注…躆與據同謂之足戟持之 647上17）〔広〕「據」居御切（見御開三）.

(13) 沇（沇溶盛多之貌也 135下3）〔広〕以轉切（羊獮合四）.

流　　摂

	幽開	黝開	幼開	
幫 並 来	必幽　驃 扶彪　△漂 力幽　膠[1]	力糾　蟉[2]	力幼　鷚[3]	
羊			余幼　狖[4]	
見	居°虬　樛2(^1)	°広韻「蚪」に作る		

疑	居蚪 {瞰}			
	己蚪 糾[5]			
	音蚪 樛			
曉	魚幽 聲			
	香幽 贔			
影		一糾 蚴		
		於糾 黝 2		

(1) 觲（本文：玄瓚觲觲 118上10）〔広〕力求切（来尤開三）觲觲角皃. → 3·2·2·5·3

(2) 蟉（郭璞曰蚴蟉龍行貌也 128下14）〔広〕力幽切（来幽開四）又渠幽切, 渠黝切.

(3) 鷚（説文曰…又曰鷚鳥大鷄也 93下15）〔広〕力救切（来宥開三）雞子一曰鳥子.
→ 3·2·2·5·3

(4) 狖（本文：狖鼬猓然 88上4）〔広〕余救切（羊宥開四）獸名似猨. → 3·2·2·5·3

(5) 糾（糾繚也 261上14）〔広〕居黝切（見黝開四）.

曾　摂

	蒸開	拯開	證開	職開
滂乙	普冰 砰[1]			普逼 愊
	疋冰 淜[2]			
来	音陵 棱		力證 凌[3]	音力 劣
	△綾			
澄	直陵 懲		直證 瞪	
精				子力 △稷

崇 生				崩 力 助 轄 色 音
昌 船 常 羊	縢 △鰧 繩 音 陵 騬[4] 以		稱 證 赤 嶢 證 食	濮 卽 昌 埴 力 市
羣 甲 疑 甲 曉 甲 影 甲 乙	陵 鼓[5] 鉅 應 興 於			嶷 力 魚 絶 力 許 △臆 力 於 △檍 憶 音

				職合
曉 乙 匣 乙 于			○広韻「蜮」に作る	減 逼 況 洫 域 呼 閾[6] 洫 域 胡 戮 域 音 棫 △減 △○蜮

(1) 砰（本文：砰磅訇礞〔注〕司馬彪曰皆水聲也 127上3）〔広〕普耕切（滂耕開二）.
(2) 淜（淜滂風聲物聲 195下10）〔広〕扶冰切（並蒸開三）説文曰無舟渡河也.→3·1·2·1·2
(3) 凌（本文：魚矜鱗而并凌分 223下11）〔広〕力膺切（来蒸開三）冰凌.
(4) 騁（本文：乘鸞龜疊同罷共羅 94下12）〔広〕食陵切（船蒸開三）.
(5) 兢（服虔曰…凌兢恐懼貌也 115下2）〔広〕居陵切（見蒸開三）兢兢戒慎→3·1·2·1·7
(6) 閾（孔安國論語注曰閾門限也 25上18）〔広〕況逼切（暁職合三）門限.→3·1·2·1·8

深　　摂

	侵	寝	沁	緝
端 透 泥 来	音林　棼 {琳} 綝[6]	湯錦　錟[2] 奴錦　鉩[3] 力甚　淋[5]	丁鴆　揕[1]	乃立　𩡧[4] 音立　粒
知 徹 澄 娘	猪金　砧 音沈　湛	勑甚　踸	○広韻「𩡧」に作る	中立　°馬2 勑立　㴱 除立　堪 佇立　𧶠 女立　衲[7]
精 清 從	七林　駸 音侵　滲[8] 在鹽　燖[9]	音寝　△梫		子入　潗

邪				似立 鰣 辭立 楷
莊 初 崇 生	。広韻「參」に作る 初林 。嶜 音岑 涔 所今 參 音森 椮 {襂}	楚錦 塕	所禁 滲	側立 濈 俎立 △濈 側及 蕺 楚立 插[10] 助急 霸 所立 儭 師立 儭
章 書 常 日 羊	之林 蔵 音針 蔵 音淫 夊	式甚 寀	如蔭 妊 而甚 △袵	之十 汁 音十 什 以入 熠
見乙 溪甲 羣乙 疑乙	音今 衿 音吟 崟	欺甚 顉[11]	音禁 傑 巨蔭 噤 2	

曉乙 匣乙 影甲 乙				虛及 翕 音吸 鈒[12] 胡急 {嚏} 於入 挹 音揖 挹 於泣 挹[13]

(1) 揕 (史記曰…而右手持匕首揕之未至身… 160下20) 〔広〕知鴆切 (知沁開三) 擬 擊史記曰右手揕其胷. → 3·1·1·2·1

(2) 鍖 (鍖鉈聲不進貌 250下18) 〔広〕丑甚切 (徹寝開三) 鍖鉈. → 3·1·1·2·2

(3) 鉈 (鍖鉈聲不進貌 250下19) 〔広〕如甚切 (日寝開三) 鍖鉈, 又如林切.

(4) 𦍒 (戢𦍒衆貌 174上16) 〔広〕羊入切 (羊緝開四) 多皃, 又魚紀切.

(5) 㽞 (本文: 令人㽞悚憯悽 272下7) 〔広〕盧含切 (来覃開一). * 瘰 〔広〕力稔切 (来寝開三). cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(6) 綝 (綝纚盛貌 225上14) 〔広〕丑林切 (徹侵開三).

(7) 扲 (本文: 挹扲掀攜 〔注〕言中制也 250下2) 〔広〕内骨切 (泥没合一) 又奴困切.

(8) 滲 (滲淫小水津液也 184下7) 〔広〕所禁切 (生沁開三). * 浸 〔広〕七林切 (清侵開四). cf. 『集韻』.

(9) 熋 (晉炒曰胃脯今大官以十日作沸湯熋羊胃以未椒薑坋之訖曝使燥者也 43下4) 〔広〕徐鹽切 (邪侵開四) 説文曰湯中爓肉也. → 3·1·1·1

(10) 揷 (揷𢿱枝柯相重貌 87下14) 〔広〕楚洽切 (初洽開二).

(11) 顃 (韋昭曰曲上曰顃 643下14) 〔広〕魚檢切 (疑琰開三) 又直稔切. * 顉 〔広〕欽錦切 (溪寝開三). cf. 『集韻』.

(12) 鈒 (本文: 瓊鈒入霝雲罕晻藹 120上5) 〔広〕蘇合切 (心合開一) 又色立切. * 鬮 〔広〕許及切 (曉緝開三).

(13) 挹 (挹扲𢿱攜言中制也 250下2) 〔広〕伊入切 (影緝開四) 酌也.

咸　　摂

	塩	琰	豔	葉

来		力奄 澨 力檢 溓	呂驗 猃	音獵 擸
知 徹 娘	勑廉 覘 女廉 黏		○広韻「輒」に作る	知葉 °輙
精 清 從 心 邪	作廉 °濸 子廉 °襜[1] 字廉 涉[2] 息鹽 銛 息廉 銛 音纖 襜 詳廉 燂[5]	○広韻「濸」に作る ○広韻「襜」に作る 慈*斂 薪	七豔 漸 ＊胡刻本は「斂」に作るが尤本に従いそを改む ○広韻「薸」に作る	音捷 緝 緁[3] °巢[4]
崇 生	所炎 襜	助奄 巉[6]		所獵 淺[7]
章	之鹽 占			之涉 鷰 聶[8] 章涉 鷰 懾

昌	昌 詹 蟾[9]			
書		式冉 睒		
		失染 閃2(△1)		
		失冉 淰[10]		
常	市 瞻 棎	植琰 剡		
日		如*斂 姏	*胡刻本、尤本共に「劒」に作るが誤写と認めて改む	
羊		以冉 淡	七*斂 焱	
		△剡	音豔 爓	
羣乙	巨 炎 黔	音儉 △芡		
疑甲			魚贍 噞	
乙		牛檢 噞		
		魚檢 嶮		
匣乙		和檢 隒[11]		
影甲		於冉 厭2	於豔 猒	一涉 厭
			一豔 厭	
乙	音淹 菴	音奄 渰		
		晻[12]		
于	于拑 炎		°広韻「輒」に作る	炎°輒 雪[13]

(1) 櫼（櫼即柳也 179上13）〔広〕所咸切（生咸開二）。* 棧〔広〕子廉切（精塩開四）.

(2) 涉（爾雅曰槮謂之涉 193下4）〔広〕鉏針切（崇侵開二）.

(3) 緤（緤獵相次貌也 135上10）〔広〕七接切（清葉開四）連緤説文曰鰈衣也. →3·1·2·1·6

(4) 嶪（本文：嵯峨嶪嶫 128下20）〔広〕子入切（精緝開四）。* 嶪〔広〕疾葉切（從葉開四）. cf.『集韻』.

(5) 燂（説文曰燂火熱也 487下8）〔広〕昨鹽切（從塩開四）周禮注云炙爛也. 一 3·1·1·1

(6) 巉（本文：棧齴巉嶮 39下5）〔広〕鉏銜切（崇銜開二）又仕檻切.

(7) 漣（汎漣微小貌 252上4）〔広〕郎葉切（精葉開四）.

(8) 聶（爾雅曰楓聶 71上10）〔広〕尼輒切（娘葉開三）.

(9) 蟾（本文：蟾蜍與蠩 49上19）〔広〕職廉切（章塩開三）又視占切（常塩開三）.

(10) 淰（本文：意淰躍以振踊 144下19）〔広〕式任切（書寑開三）又乃玷切、女減切.

(11) 隒（説文曰隒厓也 39下4）〔広〕魚檢切（疑琰開三）.

(12) 晻（本文：晻藹咇茀 128上11）〔広〕於業切（影業開三）.

(13) 雪（雪煜光明之貌也 645下1）〔広〕蘇合切（心合開一）又丈甲切、之涉切、胡甲切.

Ⅲ 韻 類

通 摂

	東	董	送	屋
幫	音風 楓2		方鳳 諷	音複 蹈
			音諷 風	
滂	孚宮 鄱			
並				扶福 覆
				音伏 澓
明			莫賵 懵[1]	
			莫諷 夢	
来				音陸 蓼
				音六 陸

知徹娘		○広韻「蕩」に作る	竹仲　中 ○広韻「鮅」に作る ○広韻「肭」に作る	音竹 ○蓄[2] 丑六 躈 抽六 稻 女六 恧 2 ○衂 ○朒
精心			○広韻「蹙」に作る	子六 踧 2 子育 蹙 ○蹴 音肅 鷫 瀟 2 樛
生日	音戎 茙			霜六 謏 所六 蹜 樛[3] 式六 倏 音叔 鷫
半	音融 瀜			弋叔 煜

				由鞠 煜 音育 煜 毓 △清
見 溪 羣 疑 影			去鳳〔佃〕	九六 △鞠 巨六 鞠 牛六 砫 於六 隩 拗[4] 燠 一六 馘

	鍾	腫	用	燭
幫 滂	音蜂 丰	方奉 泛[5]		
来	音龍 蘢			音録 騄 睩[6]
知 澄 娘	逐龍 重 女龍 醲 2		竹用 湩	馳録 躅

	膿[7]			
清 心	七從 °瞬從 七容 樅	°広韻「瞬從」に作る 先壠 㩦 先勇 從 先犟 從 先拱 從 音竦 {從}		
章 昌 常 日 羊	章容 公 齒容 衝 音衝 疊 如恭 襫 而恭 茸 音容 溶[2] 音庸 °鶴 △鏞	如勇 °冗 人勇 茸[8] 餘腫 俑 余腫 溶 音勇 溶	°広韻「冗」に作る °広韻「鶴」に作る	之欲 屬[3] 音蜀 △蠋 音辱 縟
見 羣		居勇 犟 音拱 拲		居局 掲 渠足 局 音局 跼

疑	魚 凶 喁			
曉		旭 勇 洶		
		詡 鞏 洶		
影	一 龍 雍	音 擁 雍[9]		

(1) 懵（ 説文曰懵目不明也 201上16 ）〔広〕莫孔切（明董開一）.

(2) 蕓（ 薛君曰蕓綠蕓盛如積也 40上4 ）〔広〕「藩」徒沃切（定沃合一）。* 竹.

(3) 櫹（ 櫹蠹長直貌 88下5 ）〔広〕息逐切（心屋開四）又蘇彫切.

(4) 拗（ 拗猶抑也 28下4 ）〔広〕於絞切（影巧開二）.

(5) 泛（ 應劭曰泛覆也 508下13 ）〔広〕房戈切（並戈合三）又孚梵切。* 覂〔広〕方勇切（幫腫合三）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(6) 睩（ 王逸曰…睩視貌也 408上5 ）〔広〕盧谷切（来屋開一）視皃. → 3·2·1·1·1

(7) 膿（ 膿肥皃也 494下1 ）〔広〕奴冬切（泥冬合一）.

(8) 茸（ 茸推也 589下16 ）〔広〕而容切（日鍾合三）。* 搑〔広〕而隴切（日腫合三）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(9) 雍（ 晉灼曰雍祐也 114下5 ）〔広〕於容切（影鍾合三）又於用切。* 擁 cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

止　　摂

	微開	尾開	未開	
見	居 衣 機			
羣	巨 依 碕 2			
	渠 機 幾			
	巨 衣 靳[1]			
	音 祈 璣[2]			
曉	呼 衣 晞	虛 豈 稀	許 既 慨 2[3]	

			欣既欲 火既欲 於既乞[5]	
影	音衣　奇[4]			

	微合	尾合	未合	
幫	音非　裶[6]			
滂	芳非　△裶	芳尾　朏 敷尾　斐 芳匪　悱		
並	音肥　腓2		房沸　狒 扶沸　°鷿 扶味　怫 沸[7] 浮謂　糟[8]	°広韻「鷿」に作る.
明 来		亡匪　亹2(*1) 力鬼　△蕾[9]		* 胡刻本,尤本共に「真」に作るが誤写と認めこれを改む
澄			*直魏　墜[10]	
暁	音輝　徽 　　煇			
影			音尉　罻	
于	音韋　幃 °広韻「韓風」に作る	于鬼　韡 于匪　韙 音葦　°鼯	音謂　°猬 　　憒 　　彙	°広韻「蝟」に作る

		佻[11]	△渭 音渭 慣	

(1) 蘄（本文：結馬四方蘄 42上3）〔広〕渠之切（羣之開三）州名…又姓也，又居依切（見微開三）縣名…亦草名…． → 3·2·2·4·6

(2) 璣（璣小珠也 140下12）〔広〕居依切（見微開三）珠不圓也． → 3·1·2·1·7

(3) 慨（說文曰慨太息也字林曰慨壯士不得志也 196下19；字林曰慨仕不得志 229下1）〔広〕苦蓋切（溪代開一）．

(4) 奇（本文：輪囷離奇〔注〕委曲盤戾也 559下16）〔広〕居宜切（見支開三）又渠羈切。
＊倚〔広〕於義切（影寘開三）又於綺切（影紙開三）．cf.『集韻』． → 3·2·2·4·4

(5) 乭（乭費錦文貌 95上4）〔広〕於記切（影志開三）貪也又音乙． → 3·2·2·4·6

(6) 裶（郭璞曰紛紛裶裶皆衣長貌也 124上15）〔広〕芳非切（滂微合三）衣長皃． → 3·1·2·2·1

(7) 沸（佛謂不安貌 257上8）〔広〕方味切（幫未合三）。＊潰〔広〕扶沸切（並未合三）．

(8) 糟（太康記曰…此名為糟弗述…）〔広〕芳未切（滂未合三）失氣．

(9) 蕾（本文：援葛蕾之飛莖 148下20）〔広〕力軌切（來旨合三）葛蕾葉似艾…． → 3·2·2·4·5

(10) 墜（墜失也 280下4）〔広〕直類切（澄至合三）落也． → 3·2·2·4·5

(11) 佻（爾雅曰嬥嬥契契愈遐急也 111下16）〔広〕吐彫切（透蕭開四）又徒聊切．

遇　　摄

	魚	語	御	
来	力於 {臚} 音驢 △櫚	音呂 △膂		
知 澄 娘	音猪 °藷 直於 躇 女居 挐	知旅 △貯[1] 直旅 △苧 音紵 {泞}	張慮 著	

精 清 從 心 邪	且[2] 苴 葅 子余 且餘 狙 音胥 △楈	沮[2] 才與 咀 才汝 胥 先呂 諝 思與 鱮 翔與	子豫 姐[2)] 子庶 媗[3)] 七豫 狙	
初 崇 生		音楚 礎 助舉 岨[4)] 音所 精		
章 昌 船	之餘 △藷	之與 者[5)] 昌呂 馳[6)] 食與 抒	之庶 翥	
常 日 羊	市余 蜍 音餘 璵 與 音余 與	如舉 茹	讓慮 茹 音豫 與 鷺	
見	據於 椐		居預 倨	

	音居 琚2		九御 据[7]	
			音據 踞	
溪	音墟 虛			
	音祛 阹2			
羣	音渠 鑢	音巨 舁	渠庶 遽	
	遽	虞		
	°鸂	鑢	°広韻「鸂」に作る	
		△秬		
		音鉅 遽[8]		
疑	音魚 敓	魚呂 語[9]		
		音語 禦		
		音圉 △禦		
曉	音虛 噓			
影			一據 飫	
			乙據 醧	
			於庶 閼[10]	

	虞	麌	遇	
幫	方于 跗	方武 脯	音附 跗	
	音膚 扶	音府 頫		
	音夫 拊[11]	音俯 頫		
滂	芳俱 郛2		音赴 仆	

並 明	音敷 稃 音扶 °颯 無俱 薑[15]	音撫 符[12] 音父 柎[13] 扶甫 廢 無宇 廡 亡禹 △憮 音武 嫵	音附 抱[14] 武賦 霧 音務 鶩	°広韻「颯」に作る
来	力于 婁 力朱 摟	力主 僂		
知 徹 澄	音株 蛛 音誅 株 㪅珠 狙 丑于 △貙 腸誅 躕 丈禺 瓷[16]	陟羽 拄 誅僂 柱		
精 清 心	子瑜 陬 音須 麤		子喻 充[17] 七喻 趨[18] 音娶 趨[19]	
生		所柱 數	所具 數	
章			之樹 澍	

昌 日 羊	處朱 趎[20] 音樞 趎[21] 仁珠 臑 如珠 鱐 如娛 濡 以朱 媮 {瑜} 以珠 揄 庾俱 蘇[22] 音踰 褕	餘乳 竄2 音庾 竄2 以主 °猶	°広韻「貐」に作る	
見 溪 羣	居于 °𧄍 句愚 °𧄍 音俱 °𧄍 丘禺 △區 音驅 嶇 毆 求俱 句 渠俱 臞 踞[25] 巨俱 臞 巨駒 瞿 具瑜 鸜	俱羽 △蹻 °広韻「𧄍」に作る 去禹 蝸 其矩 窶	居具 戄[23] 俱具 鞻[24]	

	音匆 臞			
	△絇			
疑	五俱 鬻	牛矩 俁		
	音禺 隅	魚矩 麌		
	鰞			
暁	休于 盱	許羽 翊		
	火于 盱			
	況于 欨			
	姁			
	許于 △薑[26]			
	況俱 煦			
	音吁 盱			
	煦[27]			
影	音紆 盱[28]	郁禹 傴		
		夾矩 傴		
	○広韻「迂」に作る.	紆武 嘔[29]		
于	羽夫 °迂	音禹 {偊}	于具 雨	
	羽俱 玗	瑀		
	音于 盂			
	音盂 杅			

(1) 貯（説文曰貯積也 72上3）〔広〕丁呂切（端語開三）居也積也. → 3·1·1·2·1

(2) 姐（説文曰姐嬌也 334下9）〔広〕茲野切（精馬開四）.

(3) 嬉 (説文曰…嬉嬌也 263上20) 〔広〕子邪切 (精麻開四).
(4) 岨 (岨峿不安貌 246上12) 〔広〕七余切 (清魚開四).
(5) 者 (本文:傳聞於未聞之者 50下19) 〔広〕章也切 (章馬開三).
(6) 馳 (本文:東西南北馳騖往來 126下7) 〔広〕直離切 (澄支開三).
(7) 据 (本文:因長川之据勢 112上2) 〔広〕九魚切 (見魚開三)。* 據 〔広〕居御切 (見御開三)
(8) 遽 (飛遽天上神獸也鹿頭而龍身 130下16) 〔広〕其據切 (羣御開三).
(9) 峿 (岨峿不安貌 246上12) 〔広〕五乎切 (疑模合一).
(10) 閼 (晉灼曰閼與容貌也 136下9) 〔広〕烏前切 (影先開四) 又於乾切, 於歇切, 烏葛切.
(11) 拊 (鄭玄禮記注曰拊弓把也 730上4) 〔広〕芳武切 (滂虞合三).
(12) 符 (淮南子曰聲華嘔符樂其性仁也 515上3) 〔広〕防無切 (並虞合三).
(13) 柎 (本文:狡兎跧伏於柎側 174下17) 〔広〕甫無切 (幫虞合三).
(14) 抱 (本文:抱樸而長吟兮 250上11) 〔広〕薄浩切 (並晧開一).
(15) 菎 (爾雅曰…菎華也 87上2) 〔広〕憶俱切 (影虞合三) 又去鳩切, 烏侯切.
(16) 瓷 (字林瓷白瓶長頸 267上4) 〔広〕疾資切 (從脂開四) 瓦器.
(17) 充 (鄭玄禮記注曰充足也 376下1) 〔広〕昌終切 (昌東開三)。* 足? 〔広〕子句切 (精遇合四).
(18) 趨 (爾雅曰…門外謂之趨 648上17) 〔広〕七逾切 (清虞合四) 走也.
(19) 趨 (本文:怵迫之徒兮或趨東西 204上11) 〔広〕cf. (18).
(20) 趎 (莊子庚桑楚謂南榮趎曰… 319下3) 〔広〕直誅切 (澄虞合三).
(21) 趎 (莊子南榮趎曰… 142下11) 〔広〕cf. (20).
(22) 蘧 (郭璞曰蕍猶敷蕍亦草之貌也蘧與蕍同 87上2) 〔広〕余六切 (羊屋開四)。* 蕍 〔広〕羊朱切 (羊虞合四)
(23) 懼 (懼敬貌也 724上13) 〔広〕具籌切 (羣藥合三) 又許縛切 (曉藥合三)。* 懼 〔広〕其遇切 (羣遇合三) 怖懼. → 3·1·2·1·7
(24) 鞻 (本文:鞮鞻所掌之音 107下16) 〔広〕落侯切 (来侯開一)。* 鞻 〔広〕九遇切 (見遇合三).
(25) 跼 (聲類曰偏舉一足曰跼蹐也 191下20) 〔広〕渠玉切 (羣燭合三).
(26) 菎 (本文:甘蔗辛薑陽菎陰敷 79下7) 〔広〕去鳩切 (溪尤開三) 又烏侯切, 憶俱切, 衣遇切
(27) 煦 (本文:愉愉煦煦 〔注〕和説之貌也… 724上4) 〔広〕況羽切 (曉虞合三).
(28) 盱 (本文:昔夏禹之解陽盱 610上16) 〔広〕況于切 (曉虞合三)。* 紆.
(29) 嘔 (淮南子曰聲華嘔符之樂其性仁也 575上3) 〔広〕烏后切 (影厚開一) 吐也, 烏侯切 (影侯開一) 嘔呪小兒語也. → 3·2·1·1·3

鰲　　摂

			廢	
滂			孚廢 柿	
曉			許穢 喙	

臻　　摂

	欣	隱	焮	迄
崇	仕勤 {厰}			
見		居隱 堇		
羣			其靳 近	
疑	魚斤 圻	牛隱 听		魚乞 仡
	閒[1]			
	牛斤 齗			
曉	音欣 炘			許乞 汔
				歇[2]
				虛乞 汔
				呼乞 迄
影		於謹 磑		
		音隱 殷[3]		

	文	吻	問	物

幫	零	憤	債	紼
	氛		債	茀[4]
	云		問	物
	音		方	甫
滂	賴	粉	問	紼
	紛	渣[5]	濮	弗
並	扶	列	匹	音
	蚡			佛
	棼			佛
	蕡			佛
	汾[6]			佛
	紛			弗
	音			扶
明	蠜	吻	。広韻「嵄」に作る	茀[7]
	云	吻		物
	閩	抆		房
	亡	粉	。広韻「閩」に作る	佛
	音	粉		音
		抆		
		武		
溪				詘
				倔
				崛
				屈[8]
				崛
				欮
				丘
				渠
				其
				音
				魚
				許
疑	縕		醞	
曉				
影	於		於	
	文		問	

干	於君 蝹 於云 轀[9] 于君 箟 音雲 沄 音云 {昫}			

(1) 鬧（酷烈鬧鬧香氣盛也 233上15）〔広〕語巾切（疑真開三）和也…. → 3·2·2·5·2

(2) 歋（本文：歋歋幽藹〔注〕皆幽窪之貌 176上16）〔広〕許竭切（暁月開三）氣洩也 休息也….

(3) 殷（郭璞曰殷猶震也 130上12，本文：殷殷軫軫〔注〕殷軫盛貌也 135上12，本文：雷殷殷而響起兮 233上14）〔広〕於斤切（影欣開三）又烏閑切.

(4) 茀（毛詩曰茀厥豐草 613下2）〔広〕敷勿切（滂物合三）又方味切.

(5) 漬（本文：龍池濊瀑漬其隈 77上7）〔広〕符分切（並文合三）又普蒯切.

(6) 汾（汾沄沸渭氣盛貌也 141上4）〔広〕符分切（並文合三）。* 紛.

(7) 茀（本文：香芬茀以穹隆兮 116下18）〔広〕cf.(4).

(8) 屈（本文：充屈鬱律〔注〕皆氣聲鬱積競出之貌 257下8）〔広〕九勿切（見物合三）又區勿切（溪物合三）.

(9) 轀（應劭曰轀轀匈奴車也 141上6）〔広〕烏渾切（影魂合一）轀輬車也.

山　　摂

	元開	阮開	願開	月開
見 羣 暁 影	居言 鞬 巨言 揵[1] 許言 鶱	巨偃 揵[2]	一建 堰	

	元合	阮合	願合	月合
幫	甫表 鱕		方萬 返[3]	
滂	音番 賁[4]		匹萬 娩	
並	扶圜 瀪		◦広韻「坂」に作る	扶發 °墢
	夫表 蕃			音伐 戧
	扶表 △蘋			
	音煩 璠			
	蘋			
	△°蘩	◦広韻「雝」に作る		
明			音萬 曼	
			△槾[5]	
来		力婉 孌[6]		
見				九月 劂
				居月 蹶 2
羣				渠月 蹷
				巨月 蹷
疑	音元 杭		娛萬 愿	音刖 跀
曉	虛表 塤			
	詡表 謹			
影	於表 蜿 2	於阮 蜿	於萬 婉[7]	紇月 噦
		蜵		

于	于元 援 音垣 洹	於遠 豌		音越 △曰

(1) 揵（郭璞曰揵舉也 127上15）〔広〕渠焉切（羣仙開三）舉也，居偃切（見阮開三）難也舉也．→ 3·2·2·5·6

(2) 揵（説文曰揵堅也 225下3）〔広〕cf.(1)．→ 3·1·2·1·7

(3) 返（本文：眇不知其所返 42上8）〔広〕府遠切（幫阮合三）還也．

(4) 賁（山海經曰桂林八樹在賁隅東 169下6）〔広〕博昆切（幫魂合一）又符分切，彼義切，符非切．

(5) 槾（郭璞山海經注曰…槾荆也 71上9）〔広〕毋官切（明桓合一）．

(6) 孌（本文：然而婉孌房闥之内… 850上13）〔広〕力兖切（来獮合三）美好．→ 3·2·2·5·6

(7) 婉（嫣婉好貌 50上2）〔広〕於阮切（影阮合三）順也美也．

宕　摂

	陽開	養開	漾開	藥開
幫 明	音方 肪	方往 放 音罔 菌		
来	力強 △輬		音亮 踉	
徹 澄	音長 △萇	敞兩 昶	敞亮 暢	丑略 踢[1]
精 清	子羊 蝳 子詳 △蔣 七羊 槍[2]		七亮 蹌	

從 心	祈 將[2)] 七良 牂[3)] 才羊 檣 音牆 嬙 音墻 嬙 音襄 欀			才削 嚼 在爵 △鱳
初		楚兩 △硭		
章 昌 書 常 日 羊	 音傷 場[5)] 音當 鱵 而羊 瀼 人羊 攘 音陽 暘 音洋 湯[8)]		充何 倡 余亮 煬	之若 繳 音綽 汐[4)] 舒藥 鑠 式藥 爍 失藥 躍[6)] 舒灼 爍 市灼 勺 音弱 嫋[7)] 弋灼 爚 音藥 籥 2
見 溪	音姜 △橿 音羌 慶[9)]	九兩 △鏹		

羣	渠章	彊		噱
				略
				略
				蹻
曉		享	闢	巨
		兩	亮	其
影		許	許	許
		兩	向	音
		壤	鄉[10]	
		況		
		於		
		於		
		良		

	陽合	養合	漾合	藥合
見				居
				縛
				九
				縛
				音
				鑊
羣		狂		
		往		
		勤		
		往		
		況		
		往		
曉				呼
				縛
				許
				縛
				於
				縛
影				於
				鑊

彊	尤本「兄」に作る
享	
鞅	
梜	
梜	
闢	
亮	
向	
鄉[10]	
況	
況	
況

(1) 踢（楊雄河東賦曰河靈矍踢 38上1）〔広〕他歴切（透錫開四）.

(2) 將（本文：象積石將將 233下8）〔広〕即良切（精陽開四）又子亮切（精漾開四）.

(3) 戕（本文：人物以戕害爲藝 111下18）〔広〕在良切（從陽開四）殺也又他國臣來殺君也. → 3·1·2·1·6

(4) 汐（郭璞曰金膏其精汐也 192下7）〔広〕市若切（常藥開三）又士角切（崇覺開二）.

(5) 場（…謂之坻場浮壤之名也 120上16）〔広〕直良切（澄陽開三）。* 傷. cf.『集韻』.

(6) 躍（本文：意淫躍以振踊 144下19）〔広〕以炒切（羊藥開四）跳躍也….

(7) 嫋（姌嫋長貌 254上18）〔広〕奴鳥切（泥篠開四）長弱皃.

(8) 湯（本文：在水湯湯 253下19）〔広〕吐郎切（透唐開一）又他浪切、式羊切.

(9) 慶（本文：厥高慶而不可乎彌度 115下6）〔広〕丘敬切（溪映開三）。* 羌.

(10) 鄉（本文：殊鄉別趣 135下14）〔広〕許良切（曉陽開三）。* 向. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(11) 迋（迋迋恐懼之貌 234上8）〔広〕俱往切（見養合三）又于放切.

(12) 匡（王逸荔枝賦曰飛匡上下… 193上15）〔広〕去王切（溪陽合三）.

(13) 矍（説文曰矍驚視貌也 35上9）〔広〕居縛切（見藥合三）.

(14) 蠖（郭璞方言注曰尺蠖又呼爲步屈也 359下13）〔広〕烏郭切（影鐸合一）蚓蠖屈伸蟲名. → 3·2·2·3·2

(15) 蠖（本文：蠖略難緩〔注〕龍行之貌也 115上9）〔広〕cf.(14). → 3·2·2·3·2

流　　摂

	尤	有	宥	
幫 並 明	扶流　罘 音浮　桴 音牟　鍪	甫友　缶	莫又　袤[1]	
来	音劉　瀏 音留　飀 　　㮚	力久　瀏		

	樛[2]			
知 徹 澄 娘	張流 盩 張由 輈 音抽 紬 丈尤 籌 幬[3] 直流 籌 直由 躊 長由 鮒 直留 稠	女九 紐	音晝 咮 音胄 籀	
精 清 從	子由 湫 噍 2 且由 鰍[4] 音秋 °鶖 慈由 嶕	°広韻「鷲」に作る		
莊 生	阻留 菆 所求 搜 °颼 °溲	°広韻「颼」に作る °広韻「溲」に作る	側救 緲 所右 漱	
書			舒救 首	

常日 羊	視周 雖 酉留 楢 音猶 蕕	汝九 蹂 如酉 揉[5]	與救 狖 弋又 狖 余救 狖	
羣 曉影 于	音求 球 鮂[6] 音休 鵂 於牛 麰 音憂 耰 2 禹牛 沈 音尤 肬 杋	於酉 颼 于有 囿[7]		

(1) 袤（説文曰南北曰袤 39上2）〔広〕莫候切（明候開一）廣袤東西曰廣南北曰袤．→ 3·2·2·3·1

(2) 樛（本文：還討畦国薛洪樛尚開城就化 633上18）〔広〕居虯切（見幽開四）．

(3) 幬（爾雅曰幬謂之帳 238下20）〔広〕徒到切（定号開一）。* 幽〔広〕直由切（澄尤開三）．cf. 朱駿声『説文通訓定声』．

(4) 鰡（爾雅曰鰼鰡郭璞曰今泥鰡也 727上16）〔広〕自秋切（從尤開四）魚名二月有之．→ 3·1·2·1·6

(5) 揉（鄭玄周禮注曰揉謂以火撓也 257上1）〔広〕耳由切（日尤開三）捻也順也…．

(6) 鮂（本文：玄瓚鮂鰡 118上10）〔広〕渠幽切（羣幽開四）匕曲皃．→ 3·2·2·5·3

(7) 囿（本文：前瞻京臺囿 391下12）〔広〕于救切（于宥開三）又于六切．

咸　摂

	嚴	儼	釅	業
見				音劫　祒
				蛣[1]
羣	其嚴　鉗[2]			巨業　拾[3]
疑			○広韻「業」に作る	音業　𠸄
影		於儼　揜[4]		於劫　褱
				葉[5]
于				于怯　曄[6]

	凡	范	梵	乏
滂			敷劒　仮	
並	音凡　汎			房法　汎[7]

(1) 蛣（南越志曰石蛣形如龜脚得春雨則生花花似草華 190下9）〔広〕羌舉切（溪語開三）。* 蛣〔広〕居怯切（見業開三）.

(2) 鉗（莊子曰鉗墨翼之口 629上5）〔広〕巨淹切（羣塩開三）上同説文曰以鐵有所劫束也. → 3·2·2·5·5

(3) 拾（應劭曰拾更也 213下4）〔広〕是執切（常緝開三）.

(4) 揜（毛萇詩傳曰揜覆也 199下6）〔広〕衣儉切（影琰開三）説文曰自關以東謂取曰揜一曰覆也. → 3·2·2·5·5

(5) 葉（本文：重葩殃葉 87下13）〔広〕與涉切（羊葉開四）枝葉…. → 3·2·2·5·5

(6) 曄（害曄急疾貌 266上13）〔広〕筠輒切（于葉開三）光也…. → 3·2·2·5·5

(7) 汎（汎淫微小貌又云波急之聲 252上4）〔広〕房戎切（並東開三）又孚梵切（滂梵合三）. * 泛〔広〕房乏切（並乏合三）. cf.『集韻』.

Ⅳ 韻 類

蟹 摂

	齊開	齊開	齊開	
幫	布迷 悴		必計 箪	
	方奚 悴			
並	步迷 鞞	步米 髀		
	岷	音陛 胜[1]		
明	音迷 麑[2]			
端	丁奚 鞮2	丁禮 坻2	丁計 柢	
	都泥 鞮		音帝 蟩	
	都奚 隄		帶	
	丁兮 阺[3]		諟[4]	
透	他迷 緹		佗戾 °迭	°広韻「达」に作る
	吐雞 △鶗[5]			
定	徒奚 稊		大計 睇	
	嶋		徒計 睇	
			軑	
			鈦	
			徒帝 締	
			蹄	
			杜計 蹄	

			音遞 睼[6]	
泥	奴雞 泥	乃禮 △柅[7]		
	乃兮 △鵜[8]			
来	力奚 邈	音禮 △澧	力計 唳	
	力兮 ◦蟹	◦広韻「蛚」に作る	儷	
			悷	
			戾	
			瑂	
			零細 △沴	
			音隷 ◦緡	◦広韻「緡」に作る
			麗	
			栵	
			荔 2	
			音戾 矇[9]	
			淚[10] 2(41)	
			◦颱	◦広韻「颱」に作る
日		而體 △蘂[11]		
徹			勑計 洟[12]	
精	將雞 躋		子計 擠	
			作計 ◦鬣	◦広韻「鬣」に作る
清		且禮 泚	且計 砌	
從	在西 麠	音薺 霽[13]	才計 霽[14]	

心	在雞 齊 蘇奚 嘶 音棲 {迟}	桑禮 洒	在細 齊	
見 溪 疑 暁 匣 影	五兮 兒 五奚 猊 2 呼蹄 醯	音啓 棨	吉詣 結 15) 魚計 睨 奚計 系 音系 繫 於計 曀 烏詣 枮 音翳 殪 應	

	齊合	齊合	齊合	
見 溪	古°攜 袿 音圭 袿 苦圭 睽	°広韻「攜」に作る		
暁	呼圭 睽 16)			

匣	°蠵[17]	◦広韻「蠵」に作る		
	胡圭 {嵩}			
	音°攜 °繅	◦広韻「攜」に作る ◦広韻「繅」に作る		
	音°攜 △畦	◦広韻「攜」に作る		

(1) 肥（ 過肥也 143下6 ）〔広〕房脂切（並脂開四）。* 髀〔広〕傍禮切（並薺開四）. cf. 『集韻』.

(2) 麑（ 本文：效獲麑麋 48下3 ）〔広〕五稽切（疑齊開四）。* 麛〔広〕莫今切（明齊開四）. cf. 朱駿声『説文通訓定声』.

(3) 阺（ 説文曰秦謂陵阪曰阺 271上1 ）〔広〕直尼切（澄脂開三）字統云秦謂陵阪爲阺也. → 3·1·2·1·9, 3·2·2·6·2

(4) 諟（ 説文曰彷彿相似視不諟也…諟卽諦字 117上11 ）〔広〕承紙切（常紙開三）。* 諦〔広〕都計切（端霽開四）.

(5) 鵧（ 方言曰野鳧甚小而好没水中者南楚之外謂之鵧鶛 72上9 ）〔広〕杜奚切（定齊開四）鵧鶛鳥. → 3·1·2·1·4

(6) 睼（ 説文曰睼視也 33上1 ）〔広〕他甸切（透霰開四）又音啼。* 睇〔広〕特計切（定霽開四）. cf.『集韻』.

(7) 柅（ 柅柅蓁蓁盛茂貌也 79下13 ）〔広〕女履切（娘旨開三）給絲柎… → 3·1·2·3·1, 3·2·2·6·2

(8) 鵧（ 爾雅曰鵧洿澤也 79下16 ）〔広〕杜奚切（定齊開四）.

(9) 睽（ 蒼頡篇曰邋徐也邋與黎同曹憲曰睽眡而拜 254上20 ）〔広〕郎奚切（来齊開四）.

(10) 淚（ 本文：滲淚減汨 71下16, 本文：減汨飄淚沛以罔象兮〔注〕皆疾貌 226上20 ）〔広〕力遂切（来至合三）。* 戾？

(11) 蘂（ 王逸楚辭注曰蘂實貌也 劉淵林蜀都賦注曰蘂一曰花頭點也 71上16 ）〔広〕如累切（日紙合三）花外曰蕚花内曰蘂. → 3·2·2·6·1

(12) 洟（ 説文曰洟鼻液也 259下13 ）〔広〕他計切（透霽開四）鼻洟. → 3·1·1·2·2

(13) 霽（ 郭璞注曰今南陽人呼雨止爲霽 270下14 ）〔広〕子計切（精霽開四）雨止也. → 3·1·2·1·5

(14) 霽（ 説文曰霽雨止也 201下17 ）〔広〕cf. (13). → 3·1·2·1·5

(15) 結（ 結頭髻也 485上3 ）〔広〕古屑切（見屑開四）。* 髻〔広〕古詣切（見霽開四）.

(16) 睽（ 睽眾辱譎皆形貌 41下16 ）〔広〕苦圭切（溪齊合四）.

(17) 蠕（蠕大龜也 95上7）〔広〕「蠕」尸圭切（匣齊合四）大龜. → 3·1·2·1·8

山　摂

	先開	銑開	霰開	屑開
滂				匹結 擊
並	步先 蹁			房結 〔拠〕
	步千 胼		◦広韻「蹩」に作る	蒲結 °蹶
	駢			批[1]
	便[2]			薄結 批[3]
	步田 駢			步結 擊[4]
	蒲眠 玭			
明			莫見 溟	亡結 蔑
			冥[5]	音蔑 △瀎
端				丁結 絜[6]
透			天見 瑱	
			通見 滇	
定	徒年 瑱	徒顯 蜓	徒見 塡	徒結 迭3(41)
	徒堅 塡	徒典 *蜓	音殿 澱	跌
	音田 輪	*胡刻本、尤本共に「蜓」に作るが誤字と認め、足利本に従い之を改む	淀	墊
				大結 撻
				徒頡 垤
泥		乃顯 湣		奴結 蠥[7]

来			音練 洌	力結 戾 旅結 迯[8]
徹		勑典 倎[9] 勑顯 淟[10]		
精 清 従 心	素田 躚 音先 姍[11]		七見 綪 千見 倩 ○広韻「截」に作る ○広韻「蹔」に作る	音節 昢 粢 2 音截 ○截 2 在結 ○截 先結 楔 胥 素結 ○蹣[12]
見 溪 疑	公妍 豜 口怜 汧 音牽 汧	古典 繭 璽[13]	工練 鑒 五見 研 ○広韻「嵲」に作る	古頡 鍥 詣結 蜺 五結 霓 ○蜺 吾結 槷

曉				音齧 嶭 2
匣		賢典 峴	胡鍊 見	許結 脥[14]
影	一千 咽	烏典 蝘	於見 嬿	胡結 頡
		於典 蝘		

	先合	銑合	霰合	屑合
見	古玄 °蠲	工犬 羂 2	古縣 狷	古穴 鴶
	涓	古犬 羂		趹
	°広韻「稍」に作る	畎		音決 鈌
溪				苦穴 闋
曉	火縣 矍		呼縣 眴	呼穴 矚
			°広韻「矚」に作る	°眐
				音血 泬
				*穴[15]
			*胡刻本・尤本共に「式」に作るが今之を改む.	
匣		胡犬 贙	侯遍 眴	
		泫	音縣 眴	
		下犬 繯	袨	
			音懸 °眩	°広韻「眴」に作る
影	烏玄 悁[16]			
	於玄 悁[17]			
	音淵 {蜎}			

(1) 批（説文曰批反手擊也 262下18）〔広〕匹迷切（滂齊開四）。* 槌〔広〕蒲結切（並屑開四）.

(2) 便（郭璞曰衣服婆娑貌 132上6）〔広〕房連切（並仙開四）又婢面切。* 蹁？〔広〕部田切（並先開四）.

(3) 批（批擊也 116下20）〔広〕cf.(1)。* 槌〔広〕cf.(1).

(4) 嫳（本文：便姍嫳屑〔注〕郭璞曰衣服婆娑貌 132上6）〔広〕普蔑切（滂屑開四）.

(5) 冥（冥眴昏亂之貌 115下17）〔広〕莫經切（明青開四）。* 瞑〔広〕莫甸切（明霰開四）.

(6) 絜（司馬彪曰絜帀也 723上7）〔広〕古屑切（見屑開四）又胡黠切（匣屑開四）.

(7) 薾（司馬彪曰薾極貌也 385下18）〔広〕奴禮切（泥薺開四）.

(8) 迾（鄭玄禮記注曰迾遮也 46上12）〔広〕良薛切（来薛開四）遮遏. → 3·2·2·6·3

(9) 㸃（揚雄方言曰慙也荆揚之間曰㸃 112上19）〔広〕他典切（透銑開四）説文曰青徐謂慙曰㸃. → 3·1·1·2·2

(10) 淟（王逸楚詞注曰淟垢濁也 491下17）〔広〕他典切（透銑開四）淟涊熱風. → 3·1·1·2·2

(11) 姍（本文：便姍嫳屑與俗殊服 132上6）〔広〕蘇干切（心寒開一）.

(12) 蹣（本文：翹遥遷延蹣蹣蹣蹣 73下10）〔広〕桑割切（心曷開一）。* 蹣〔広〕先結切（心屑開四）、cf.『集韻』.

(13) 黧（説文曰黧黑皯也 581下16）〔広〕胡典切（匣銑開四）黑皃.

(14) 脇（本文：雉脇肩而旋踵 145上3）〔広〕謙琰切（溪琰開四）.

(15) 穴（本文：虎豹穴 486上14）〔広〕胡決切（匣屑開四）窟也鼻穴…. → 3·1·2·1·8

(16) 悁（字林曰悁忿恨也 226下8）〔広〕於緣切（影仙合四）悁憂悒也. → 3·2·2·6·3

(17) 悁（説文曰憂煩悁邑憂貌字林曰悁含怒也 251上14）〔広〕cf.(16). → 3·2·2·6·3

效　　摂

	蕭	篠	嘯	
幫	俾堯 熛[1]			
	方料 髟[2]			
滂	孚堯 鏢[3]			
端	音彫 刁			

	音周 刁			
透	他堯 銚	他鳥 眇[4]	*土弔 超[5]	* 胡刻本は「士」に作るが尤本・足利本に従いこれを改む
	佗堯 挑		他弔 佻	
			窕 2	
			覿	
定	徒周 蜩	大鳥 朓[6]	徒釣 掉 2	
	大聊 髫 2	徒了 莤[7]	荼弔 挑[8]	
	徒彫 跳			
	達彫 跳			
泥		奴鳥 嫋		
		奴了 °嬲	°広韻「嬲」に作る	
来	力彫 廖	力鳥 蓼		
	°嶚	蟉[9]	°広韻「蟉」に作る	
	音遼 鷚	繚		
	力周 °飂[10]	音了 憭	°広韻「飂」に作る	
	音聊 漻	漻[11]		
	音僚 寥	△憀[12]		
	音料 {嶚}			
微	勿聊 佻[13]			
精		祖了 潗[14]		
從	兹堯 嶕[15]			

心	先聊 蹐 音簫 °橾 箭 2	◦広韻「橾」に作る		
見	古堯 澆 2(*1) 僥 16) 工聊 梟			
疑			五叫 澆	
匣		胡了 皜 2(*1)		
影	烏堯 要 17) 於堯 △葽	烏鳥 窈 於鳥 窅	烏弔 窕 一弔 窕 2	

(1) 熛 (説文曰熛火飛也 195下10) 〔広〕甫遥切 (幫宵開四) 飛火. → 3·2·2·6·4

(2) 髟 (服虔通俗文曰髮垂而髟… 195下15) 〔広〕甫遥切 (幫宵開四) 髮長皃… → 3·2·2·6·4

(3) 彯 (劉兆曰摽辟也 449下10) 〔広〕撫招切 (滂宵開三) 彯彯長組之皃. → 3·2·2·6·4

(4) 眇 (飄眇聲清長貌 268下6) 〔広〕亡沼切 (明小開四)。* 眺 〔広〕他弔切 (透嘯開四)

(5) 超 (本文:騰趙飛超 88上4) 〔広〕敕宵切 (徹宵開三) 説文曰跳也… → 3·1·1·2·2, 3·2·2·6·4

(6) 朓 (説文曰…朓晦而月見西方也 201下10) 〔広〕土了切 (透篠開四) 月行疾出西方. → 3·1·2·1·4

(7) 苕 (111下16) 〔広〕徒聊切 (定蕭開四). < 『広韻』に見えない又音 >.

(8) 挑 (説文曰挑相呼也李奇曰挑身獨戰不須衆 589上4) 〔広〕吐彫切 (透蕭開四) 挑撥, 徒了切 (定篠開四) 挑戰亦弄也輕也.

(9) 蟉 (文字曰騰蟉虯曲貌 174下14) 〔広〕力幽切 (来幽開四) 蟉蟉…又渠幽切 渠黝切

(10) 飂 (本文:戚汨飂淡沛以罔象兮 〔注〕皆疾貌 226上20) 〔広〕力求切 (来尤開三) 又力救切 (来宥開三). 「飂」

(11) 漻 (漻澥小水別名 48上19) 〔広〕落蕭切 (来蕭開四)

(12) 憀 (本文:憀慄兮若在遠行 197上8) 〔広〕落蕭切 (来蕭開四) 又力求切

(13) 佻（字書曰佻輕也 628上11）〔広〕吐彫切（透蕭開四）輕佻…. → 3·1·1·2·2

(14) 潗（潗湖在居巢 192下2）〔広〕子小切（精小開四）水名. → 3·2·2·6·4

(15) 嶕（廣雅曰嶕嶢高也 27上13）〔広〕昨焦切（從宵開四）嶕嶢. → 3·2·2·6·4

(16) 僥（本文：庶劉僥倖保卒餘年 534下7）〔広〕五聊切（疑蕭開四）。＊徼〔広〕古堯切（見蕭開四）.

(17) 要（本文：要義門乎天路 42下13）〔広〕於霄切（影宵開四）俗言要𠜱…，又於笑切.
→ 3·2·2·6·4

梗　摂

	青開	迥開	徑開	錫開
幫 滂 並 明	普丁　頩 匹零　頩 莫經　{帲} 莫泠　△溟	莫泠　茗		音壁　檗 普覓　△鏃 步覓　△礪 亡狄　覛 音覓　幎 △汨 △蓂 {煠}
端			都定　錠 ○広韻「芍」に作る	都狄　約[1] 音的　○葯 罗 靮 鍉[2]

透	汀 冷 吐 町 冷 庭		他定 廷[3] 吐定 湳[5] ○広韻「瞕」に作る	他歴 摘 俶[4] 土狄 摘 他狄 °瞕 掊[6]
定	筵 △椁 廷 亭 音 音	鋌 挺 町 鼎 鼎 挺 冷 徒 鼎 挺 冷 達 音 奴	○広韻「篷」に作る 奴定 淳	音敵 °篷 音翟 〔曜〕 乃的 赻 奴的 惕 来的 櫪 音歴 櫟 礫 °攫 音礫 櫟
泥 来	鸮 丁 乃 丁 力 經 力 廷 力 零 音	櫺 伶 玲 軨 軨[3(△1)] 岭 聆	○広韻「擽」に作る	
清 心				且歴 磧[7] 音戚 碏 音錫 析[2(△1)] 音析 △菥

見		姑鼎 剄 公冷 °烱[9]	°広韻「烱」に作る	音激 檄[8] 五激 鶂 呼狄 殺[10]
疑				
曉				
匣	胡庭 陘 音刑 陘 姪	音脛 婞		

	青合	迥合	徑合	錫合
見	古熒 扃 2(a1)	古並 獷[11] 瓜並 礦[12] 古迥 耿[13]		
匣	音熒 {嶸} 滎[14]			

(1) 約（字書曰約亦的字也…的琴徽也 488下10）〔広〕於略切（影藥開三）又於笑切。
＊的〔広〕都歷切（端錫開四）.

(2) 鍉（如淳曰鍉箭足也鄧展曰鍉是扞頭鐵也 722下2）〔広〕都奚切（端齊開四）。
＊鏑〔広〕都歷切（端錫開四）.

(3) 廷（寄篠徑廷過度之意也 42上8）〔広〕徒徑切（定徑開四）朝廷…又特丁切（定青開四）. → 3·1·2·1·4

(4) 倏（郭璞曰倏儻猶非常也 125下7）〔広〕昌六切（昌屋開三）。＊倜〔広〕他歷切（透錫開四）.

(5) 湑（湑潑小水貌也 117下15）〔広〕都挺切（端迥開四）湑淳水皃.

(6) 揥（説文曰揥取也 247下10）〔広〕都奚切（端齊開四）又丈例切（徹祭開三）.

(7) 磧（説文曰磧水渚有石也 84下15）〔広〕七迹切（清昔開四）砂磧. → 3·2·2·6·5

(8) 檄（檄鑊疾貌 266上11）〔広〕胡狄切（匣錫開四）.

(9) 烱（本文：目烱烱而不寢 239下15）〔広〕「烱」古迥切（見迥合四）火明皃. → 3·2·2·7

(10) 殺（廣雅曰殺矛也 92下13）〔広〕呼臭切（曉錫合四）矛也. → 3·2·2·7

(11) 獷（薛君曰獷覺寤之貌 837下9）〔広〕居往切（見養合三）又古猛切（見梗合二）.

(12) 礦（説文曰鑛銅鐵璞也 726下7）〔広〕古猛切（見梗合二）.

(13) 耿（蒼頡篇曰烱明也…王逸曰耿光也…耿與烱同 391下17）〔広〕古幸切（見耿開二）.
＊炅〔広〕古迥切（見迥合四）. cf.『集韻』.

(14) 溟（濛溟小水貌也 117下15）〔広〕烏迥切（影迥合四）。＊滎〔広〕戶扃切（匣青合四）.
cf.『集韻』.

咸　　摂

	添	忝	桥	帖
端				丁篋 聶 都牒 跕 丁牒 △涉
透	他兼 °酟	°広韻「沾」に作る 吐玷 舔[1]		吐協 帖
定	音恬 淟 徒兼 △甜			徒協 蹀 徒類 蹀 °楪 躡[2] △諜
			°広韻「楪」に作る	
泥	奴謙 鮎			奴類 攝 奴協 {攝} {攝}
来	理兼 °慊[3]			

精 心				祖牒 浹 蘇協 蹀[4]
羊			塩念 焱[5]	
溪	苦兼 嗛[6]	口簟 慊2(*1)		起頰 梴 口頰 箧 苦協 岌[7]
影			。広韻「厭」に作る	於頰 °掀 厭[8] 烏牒 厭[9]

(1) 舌 (舌談吐舌貌 174下18) 〔広〕他酣切 (透談開一) 吐舌也 , 又 汝鹽切.

(2) 躡 (説文曰躡蹈也 73下7) 〔広〕尼輒切 (娘葉開三) 蹈也… .

(3) 慊 (鄭玄周禮注曰慊絶也… 233上5) 〔広〕苦簟切 (溪忝開四)。* 嫌 〔広〕勒兼切 (来添開四).

(4) 蹀 (本文 : 躡蹀 73下7) 〔広〕徒協切 (定怗開四).

(5) 焱 (説文曰焱火華也 576上18) 〔広〕以贍切 (羊豔開四) 火華也 . → 3·2·2·6·6

(6) 嗛 (本文 : 敬慎無怠思嗛約兮 149下5) 〔広〕苦簟切 (溪忝開四)。* 謙 〔広〕苦兼切 (溪添開四).

(7) 岌 (言音如靁之叩鍛岌咨爲聲也 257下2) 〔広〕魚及切 (疑緝開三).

(8) 厭 (厭猶捻也 265下11) 〔広〕於葉切 (影葉開四) 厭伏… . → 3·2·2·6·6

(9) 厭 (説文曰厭一指按也 73上12) 〔広〕於葉切 (影葉開四) 指也指按也 . → 3·2·2·6·6